




パフォーマンスシリーズ **HQA** デジタルビデオレコーダー




HRHQ104* HRHQ1040L
HRHQ108* HRHQ1080L
HRHQ116*

ユーザーガイド

ユーザーガイド

注意及び警告

	注意 感電の危険 開けないでください		 この記号は感電の危険がある危険な電圧が装置内部にあることを表します。
注意:感電の危険を軽減するためカバーを取外さないでください。内部にユーザーが保守可能な部品はありません。保守は有資格整備人員に依頼してください。		 この記号は重要な取扱・メンテナンス説明書が本装置に付属していることを表します。	

- 
警告 付属の電源アダプタのみを使用してください。イーサネット接続は、公開されたネットワーク（屋外施設等）に接続することを目的としていません。
- 
注意 バッテリーを誤ったタイプに交換すると、爆発の危険性があります。使用済みのバッテリーは自治体の法律に従って処分してください。
- 
注意 すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。

規制に関する声明

FCC遵守声明

使用者のための情報：この装置は、FCC ルールのPart 15に従って、クラス B デジタル・デバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの規制は、住宅地で設置した場合に有害な干渉が起きないようにするために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを発生及び使用し、場合によっては放射する可能性があります。指示に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては干渉を起こさないという保証はありません。

本装置により有害な無線干渉または映像の受信障害が起きた場合（装置の電源を オン、オフに切り替えると判断できる場合があります）、以下の方法を試して干渉を避けてください。

- 受信アンテナの向きや置き場所を変更する。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本装置を接続する。
- 取扱店または信頼できる無線/映像技術者に問い合わせる。

注 法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本製品を使用する権利を剥奪されることがあります。

遵守声明 (カナダ)

このクラスBデジタル・デバイスはカナダのICES-003に準拠しています。
このクラスBデジタル・デバイスはカナダのNMB-003に準拠しています。

安全の手引き

北米

このガイドが付属する装置は、UL 60950-1およびCSA C22.2 No. 60950-1に準拠しています。

欧州

製造業者は、供給された装置が、電気・電子機器における特定有害物資の使用制限に関する欧州議会・理事会指令(2011/65/EU)、低電圧指令(2014/35/EU)、EMC指令の必須要求事項(2014/30/EU)に準拠し、排出ガスについてはEN 55032規格、イミュニティについてはEN 50130-4、電気機器の安全性についてはEN 60950-1の要件に適合していることを宣言します。

これはクラスB製品です。本製品は、家庭環境では、電波干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な処置を講ずる必要があります。

保障とサービス



本製品の正しい処分(個別の回収システムを適用しているEUと他のヨーロッパ諸国にも該当)。

この製品は、該当する地域の法律、規制、および手順に従って、耐用年数終了後に処分する必要があります。

安全の手引き

ユニットを操作または設置する前に、すべての指示を読んで従ってください。設置後は、後で参照できるように、安全および操作説明書を保管してください。

1. **ご注意ください** - 本機および取扱説明書に記載されている警告にすべて従ってください。
2. **インストール**
 - 製造元の指示に従って取り付けてください。
 - すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。
 - 極端に暑いところや湿度の高い場所、ほこりや機械的な振動のある場所には設置しないでください。本機は防水設計されていません。本機は雨や水に濡れると破損することがあります。
 - 製品の壁または天井に取り付ける場合は、製造元の指示に従い、製造元が承認または推奨する取り付けキットを使用する必要があります。
3. **電源** - 本製品は、マーキングラベルに記載されている種類の電源からのみ操作してください。お客様の施設に供給されている電力の種類が不明な場合は、製品販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。

4. **熱** - ラジエータ、ヒーター、コンロ、またはその他の、熱を発生する、または熱源である製品（アンプを含む）の近くには置かないでください。
5. **水と湿気** - 水辺や保護されていない屋外施設の近く、または湿った場所の近くでは、本機を使用しないでください。
6. **取り付けシステム** - 製造元が推奨する取り付けシステムを使用するか、製品とともに購入した取り付けシステムのみを使用してください。
7. **付属品** - 製品の製造元が推奨しない付属品を使用しないでください。火災、感電、人身傷害の危険があります。
8. **付属品** - 製造元が指定した付属品のみを使用してください。
9. **清掃** - 液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。清掃には湿った布を使用してください。
10. **修理** - 本機をお客様自身で修理しようとししないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。修理の際は必ず資格のある保守担当者に依頼してください。
11. **交換部品** - 交換部品が必要な場合は、修理技術者が、製造元が指定した交換部品、または元の部品と同じ特性を持っている交換部品を使用していることを確認してください。許可されていない部品で代用すると、火災、感電、その他の危険をもたらす可能性があります。
12. **修理を必要とする破損** - 下記の場合は、コンセントから装置のプラグを抜き、資格のある保守担当者に修理を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが破損した場合。
 - 本機に液体をこぼした場合、または本体の中に異物が入ってしまった場合。
 - 本機が雨や水にさらされた場合。
 - 取扱説明書に従っても本体が正常に動作しない場合。取扱説明書に書かれているコントローラのみを調整してください。他のコントローラを不適切に調整すると、損傷が発生し、正常の動作に戻すために認定技術者による大規模な作業が必要になることがあります。
 - 本機を落としたり、外装が破損した場合。
 - 本機の性能が著しく変化した場合には修理が必要です。
13. **安全確認** - 本機の修理またはサービスが完了したときは、修理技術者に安全確認を依頼して、本機が正常に作動していることを確認してください。

保証とサービス

製品保証に記載されている条件に従って、保証期間中、Honeywell は、単独裁量により、送料前払いで返品された不良品を無料で修理または交換します。

Honeywell製品に問題がある場合は、カスタマーサービスまでご連絡(1.800.323.4576)いただき、サポートを依頼するか、**返品保証 (RMA)** 番号をリクエストしてください。テクニカルサービス担当者にご連絡の際は、問題の内容に加えて、モデル番号、シリアル番号を必ずご確認ください。

すべての返品、交換、または返金については事前の承認が必要です。**明確に識別された返品保証 (RMA) 番号を添付することなく Honeywell に製品を発送すると、拒否される場合があります。**

記号の一覧

以下は、DVRに表示される可能性のある記号の一覧です。

記号	詳細
	<p>WEEE記号</p> <p>この記号は、エンドユーザーがこの製品を廃棄する場合、回収およびリサイクルのために別の回収施設に送付する必要があることを示しています。この製品を他の家庭用廃棄物と分別することにより、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が減り、天然資源が保護されます。</p>
	<p>UL適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品がテストされ、UL（旧Underwriters Laboratories）によってリストされていることを示します。</p>
	<p>FCC適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品が連邦通信委員会の適合基準に準拠していることを示しています。</p>
	<p>直流記号</p> <p>この記号は、製品の電源入出力が直流であることを示します。</p>
	<p>交流記号</p> <p>この記号は、製品の電源入出力が交流であることを示します。</p>
	<p>RCM適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品がオーストラリアのRCMガイドラインに適合していることを示しています。</p>
	<p>CE適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品が関連する欧州連合の調和された法令のガイドライン/規格に適合していることを示しています。</p>
	<p>注意記号</p> <p>この記号は重要な情報を示します。</p>
	<p>保護接地（アース）記号</p> <p>この記号は、マークされた端子が保護接地/接地線への接続を意図していることを示しています。</p>

コンテンツ

この文書について	13
この文書の概要	13
関連文書	14
1 はじめに	15
前面パネルと後面パネルのレイアウト	15
4チャンネルDVR前面パネル	15
4チャンネルDVR後面パネル	16
8/16チャンネルDVR前面パネル	17
8/16チャンネルDVR後面パネル	18
マウスの操作	19
オンスクリーンキーボードの使用	19
2 お使いになる前に	21
DVRの開梱	21
外部デバイスの接続	22
DVRの一般的な設置	23
DVRの起動	24
スタートアップウィザードを使ったDVRの設定	24
DVRの終了	30
3 ライブビデオの表示	31
ライブビューについて	31
ライブビューの設定	34
スクリーンレイアウトの設定	34
モニター画像の設定	35
PTZカメラの制御	36
PTZ接続設定の構成	36
PTZ制御パネルの操作	37
PTZ機能の設定	39
プリセット、ツアー、パターンの呼び出し	43
4 動画の再生	45
動画の検索と再生	46
スマート検索を使った動画の再生	47
動画のマーキング	48
スプライス再生	50
スナップショットの再生	51
動画とスナップショットのバックアップ	52
5 カメラ設定の構成	57
画像設定の構成	58
エンコード設定の構成	59
スナップショット設定の構成	60
プライバシーマスク設定の構成	61
テキストオーバーレイの構成	62
カメラ名の変更	63

チャンネルタイプの変更	64
IPチャンネルの指定	64
IPカメラの追加	65
6 ネットワーク設定の構成	67
TCP/IP 設定の構成	68
ポート設定の構成	69
ワイヤレス接続設定の構成	70
高度なネットワーク設定の構成	72
PPPoE設定の構成	72
DDNS設定の構成	73
IPフィルター設定の構成	74
電子メール設定の構成	75
FTP設定の構成	76
UPnP設定の構成	77
SNMP設定の構成	78
マルチキャスト設定の構成	79
DVRへの遠隔接続	80
7 ネットワークイベント設定の構成	81
モーション検出設定の構成	82
ビデオロス設定の構成	87
ビデオタンパリング設定の構成	89
診断設定の構成	91
顔検出設定の構成	93
アラームの設定	94
ローカルアラームの設定	95
ネットワークアラームの設定	97
IPカメラ外部アラームの設定	99
IPカメラオフラインアラームの設定	101
リモートアラームの設定	103
システムイベント設定の構成	104
HDDイベント設定の構成	105
ネットワークイベント設定の構成	106
ユーザーイベント設定の構成	107
アラーム出力設定の構成	108
8 ストレージ設定の構成	109
録画スケジュールの構成	109
HDD設定の構成	111
録画設定の構成	112
HDD診断設定の構成	113
9 システム設定の構成	117
システム一般設定の構成	118
デバイス設定の構成	118
日付&時刻設定の構成	119
休日設定の構成	120
表示設定の構成	123
表示設定の構成	123
ツアー設定の構成	124
ゼロチャンネル設定の構成	125
パン/チルト/ズーム設定の構成	126
ATM/POS (カードオーバーレイ) 設定の構成	126
ネット設定の構成	126
ボイス設定の構成	128
ボイスファイル設定の構成	128
ボイススケジュールの構成	129
アカウント設定の構成	130
ユーザーの構成	130

グループの構成.....	133
セキュリティ質問の構成.....	135
自動メンテナンス設定の構成.....	136
システム構成のエクスポートとインポート.....	137
出荷時設定の復元.....	139
DVRのアップグレード.....	140
10 情報表示.....	141
システム情報の表示.....	141
HDD情報表示.....	141
イベント情報の表示.....	148
ネットワーク情報の表示.....	148
オンラインユーザーの表示.....	148
ネットワークロード情報の表示.....	150
ネットワークテスト情報の表示.....	151
ログ情報の表示.....	152
付録 A アラーム入出力の接続.....	155
アラーム入出力を接続する前に.....	155
アラーム入出力後部パネル接続.....	155
アラーム入力ポート接続ガイドライン.....	156
アラーム出力ポート接続ガイドライン.....	156
付録 B ハードドライブの取り付け.....	157
ハードドライブの取り付け.....	157
互換性のあるSATA HDDのリスト.....	158

この文書について

この文書は、Honeywell HRHQ DVR のシステムインストールの担当者、管理者、および操作者を対象としています。

この文書の概要

この文書には、以下の章と付録が含まれています。

- **第 1 章はじめには**、前面パネルと後面パネルのレイアウトと、マウスの機能について説明します。
- **第 2 章お使いになる前には**、DVR を接続してユーザインタフェースにログインする方法を説明します。
- **第 3 章ライブビデオの表示**は、PTZ カメラ（接続されている場合）の制御を含めて、DVR のリアルタイム監視モードと関連する DVR 操作を説明します。
- **第 4 章動画の再生**は、記録された動画とスナップショットを再生及び書き出す方法について説明します。
- **第 5 章カメラ設定の構成**は、カメラ画像設定、エンコーダー設定、スナップショット設定、プライバシーマスク設定、カメラ名設定、およびチャンネルタイプ設定を構成する方法について説明します。
- **第 6 章ネットワーク設定の構成**は、接続設定、電子メール設定、FTP 設定、登録設定、アラームセンターの設定などの、DVR のネットワーク設定を構成する方法を説明します。
- **第 7 章ネットワークイベント設定の構成**は、モーション検出、ビデオロス、カメラタンパリング、システムイベントに対する設定などの、DVR のアラーム設定を構成する方法を説明します。
- **第 8 章ストレージ設定の構成**は、レコード設定や HDD 管理設定などの、DVR のストレージ設定を構成する方法について説明します。
- **第 9 章システム設定の構成**は、DVR システム設定、ディスプレイ設定、およびユーザーアカウントの設定を構成する方法について説明し、他の DVR との間との構成設定のエクスポートとインポート、さらにデフォルト設定の復元、システムファームウェアのアップグレードについても説明します。
- **第 10 章情報表示**は、システム、イベント、ネットワーク、およびログ情報を表示する方法について説明します。
- **付録 A、アラーム入出力の接続**は、アラーム入出力を接続するためのガイドラインを提供します。
- **付録 B、ハードドライブの取り付け**は、HDD 取り付け手順を説明します。

関連文書

DVR には、以下の関連文書が付属しています。

- パフォーマンス シリーズ HQA DVR クイック ネットワーキング ガイド(800-23284)
- パフォーマンス シリーズ HQA DVR クイック インストール ガイド(800-23285) または
パフォーマンス シリーズ HQA DVR クイック インストール ガイド(800-23288)

これらの文書をオンラインで表示するには、下記のパフォーマンス シリーズ HQA DVR 製品
ページを参照してください：

www.honeywellvideo.com/products/video-systems/recording-devices/index.html.

1

はじめに

この章は以下の項で構成されています。

- [前面パネルと後面パネルのレイアウト](#)、ページ 15
- [マウスの操作](#)、ページ 19

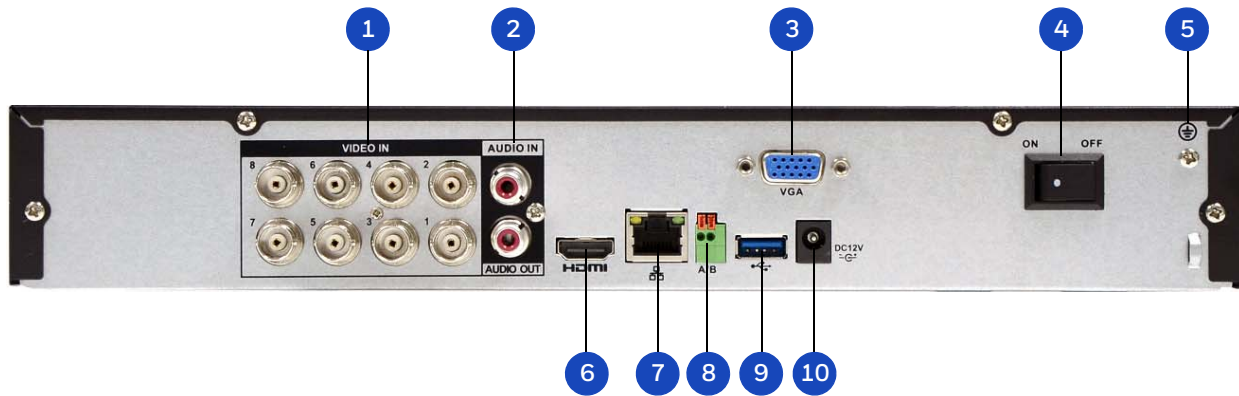
前面パネルと後面パネルのレイアウト

4 チャンネル DVR 前面パネル



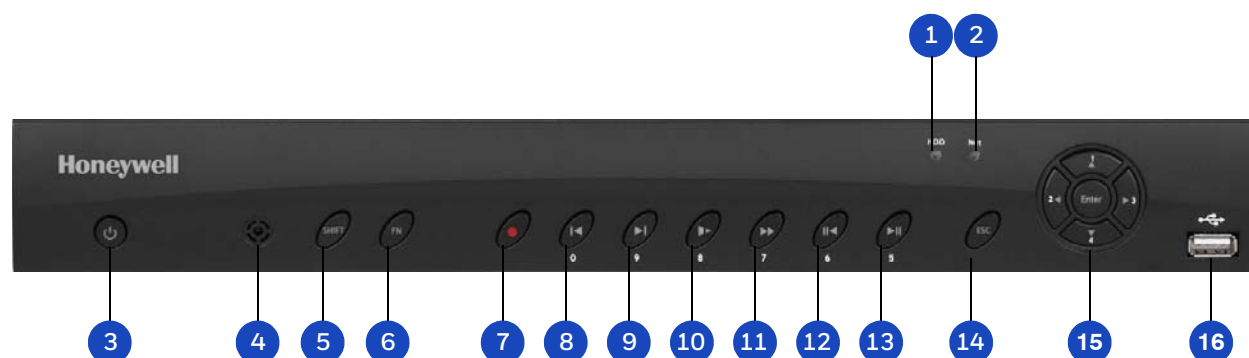
名前	機能
1 HDD インジケータ	HDD エラーが発生したとき、または HDD 容量が指定した閾値を下回ったときに赤色に点灯します。
2 NET インジケータ	ネットワークエラーが発生したとき、またはネットワークに接続されていないときに赤色に点灯します。
3 POWER インジケータ	DVR に電源が供給されているときに青色に点灯します。
4 USB 2.0 ポート	USB デバイス (USB フラッシュドライブ、マウス) を接続します。

4 チャンネル DVR 後面パネル



名前	機能
1 ビデオ入力	HD-over-coax / CVBS ビデオ入力用 BNC コネクタ
2 オーディオ入力 / 出力ポート	オーディオ入力 (マイク) 用 RCA コネクタとオーディオ出力 (スピーカー、ヘッドフォン) 用の RCA コネクタ
3 VGA ポート	アナログビデオ出力用の VGA コネクタ
4 電源スイッチ	DVR をオンまたはオフにするためのスイッチ
5 アース	アース端子
6 HDMI ポート	ハイディフィニションオーディオ及びビデオ出力を伝送するための HDMI インターフェース
7 ネットワークポート	ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続するための RJ45 100M イーサネットインターフェース
8 RS485 ポート	RS485 デバイス (PTZ カメラ) に接続するための RS485 インターフェース
9 USB 2.0 ポート	USB デバイス (マウス、USB フラッシュドライブ、ポータブル HDD) に接続するための USB 2.0 インターフェース
10 電源入力	12 VDC 電源入力

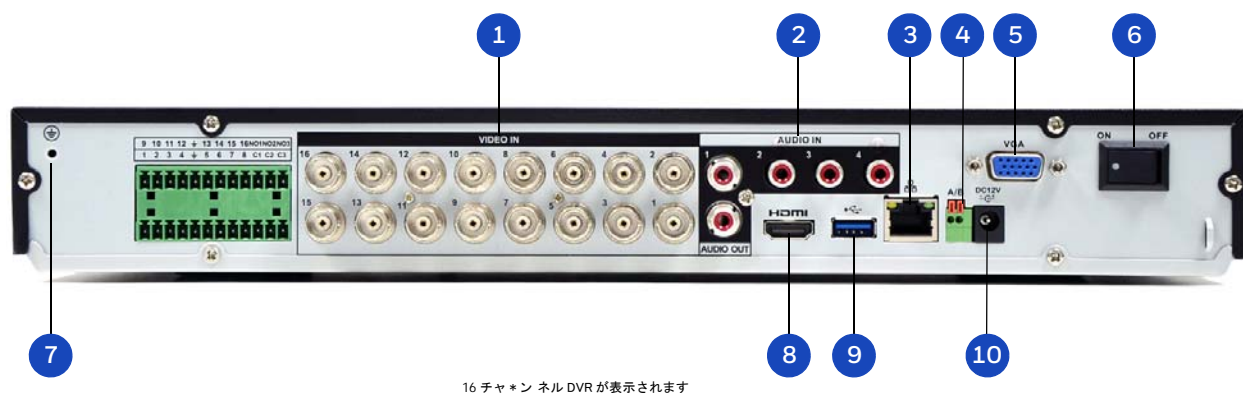
8/16 チャンネル DVR 前面パネル



名称	機能
1 HDD インジケータ	HDD エラーが発生したとき、または HDD 容量が指定した閾値を下回ったときに 赤色 に点灯します。
2 NET インジケータ	ネットワークエラーが発生したとき、またはネットワークに接続されていないときに 赤色 に点灯します。
3 電源スイッチ	DVR の電源をオンまたはオフにします。
4 IR 受信機	リモコンから赤外線信号を受信します。
5 SHIFT	テキストモード ：大文字に切り替えます。
6 FN	FN 入力と数字または文字入力を切り替えます。 シングルウィンドウライブビューモード：アシスタント機能を表示するか、画像の色を設定します。 テキストモード：1.5 秒間長押しすると最後に入力した文字を削除します。 HDD 管理 HDD 録画情報を切り替えます。
7 録画ボタン	ライブビューモード ：録画を開始 / 停止します。
8 「1 つ前を再生」ボタン / 0	再生モード ：1 つ前の動画を再生します。 テキストモード ：数字の 0 を入力します。
9 「次を再生」ボタン / 9	再生モード ：次の動画を再生します。 テキストモード ：数字の 9 を入力します。
10 低速再生ボタン / 8	再生モード ：動画をさまざまな速度で再生します。 テキストモード ：数字の 8 または文字 T、U、または V を入力します。
11 早送りボタン / 7	再生モード ：動画をさまざまな速度で再生します。 テキストモード ：数字の 7 または文字 P、Q、R、または S を入力します。
12 逆方向 / 一時停止ボタン / 6	再生モード ：動画を逆方向に再生し、再生を一時停止します。 テキストモード ：数字の 6 を入力します。
13 再生 / 一時停止ボタン / 5	再生モード ：動画を再生し、再生を一時停止します。 テキストモード ：数字の 5 または文字 J、K、または L を入力します。

名称	機能
14 ESC[エスケープ]	ライブビューモード ：前のメニューに戻るか、現在の操作をキャンセルします。 再生 ：ライブビューモードに戻ります。
15 方向キー (▲◀▶▼) / 1、2、3、4	メニューの設定 ：上下に移動し、数字を増減します。 PTZモード PTZメニューのアシスタント機能呼び出します。 テキストモード ：数字の1、2、3または4または文字A、B、C、D、E、F、G、H、またはIを入力します。
入	メニューの設定 ：選択を確定します。 デフォルトに移動します。 メニューに移動します。

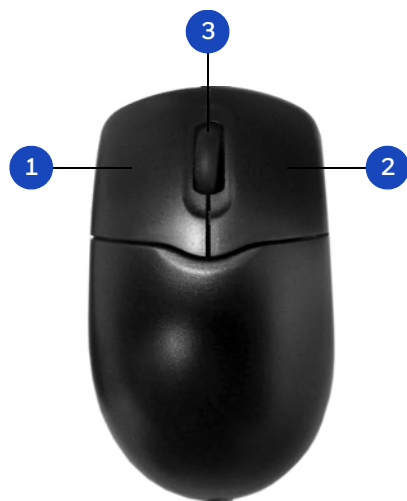
8/16 チャンネル DVR 後面パネル



名称	機能
1 ビデオ入力	HD-over-coax [同軸 HD] / CVBS ビデオ入力用 BNC コネクタ
2 オーディオ入 / 出力	オーディオ入力 (マイク) 用の RCA コネクタとオーディオ出力 (スピーカー、ヘッドフォン) 用の RCA コネクタ
3 ネットワークポート	ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続するための RJ45 100M イーサネットインターフェイス
4 RS485 ポート	RS485 デバイス (PTZ カメラ) に接続するための RS485 インターフェイス
5 VGA ポート	アナログビデオ出力用の VGA コネクタ
6 電源スイッチ	DVR をオン / オフするためのスイッチ
7 アース	アース端子
8 HDMI ポート	ハイディフィニションオーディオ及びビデオ出力を伝送するための HDMI インターフェイス
9 USB 2.0 ポート	USB デバイス (マウス、USB フラッシュドライブ、ポータブル HDD) に接続するための USB 2.0 インターフェイス
10 電源入力	12 V DC 電源入力

マウスの操作

パフォーマンス シリーズ HQA DVR は、マウスの操作のために最適化されています。DVR を設定するには付属のマウスを使用してください。



ボタン	アクション
1 左	<ul style="list-style-type: none"> メニューオプションをクリックして選択します。 テキストフィールドをクリックしてオンスクリーンキーボードを表示します。 画面上のキーボードをクリックして文字 / 数字を入力します。 マルチスクリーン表示では、ダブルクリックするとチャンネルが全画面に表示されます。全画面モードを終了するにはもう一度ダブルクリックします。 動画ファイル名をダブルクリックして動画を再生します。
2 右	<ul style="list-style-type: none"> 変更を保存せずにメニューウィンドウを閉じるにはクリックします。 メインメニューを終了してライブビュー画面に戻るにはクリックします。 ライブビュー画面からショートカットメニューを開くにはクリックします。
3 ホイール	<ul style="list-style-type: none"> 上下にスクロールします。

オンスクリーンキーボードの使用

1. オンスクリーンキーボードを表示するには、テキストボックスの内側をクリックします。キーボードがテキストボックスのすぐ下に表示されます。



2. テキストボックスに入力する文字 / 数字 / 特殊文字に対応するキーをクリックします。
 - 小文字と大文字を切り替えるには **Shift** をクリックします。
 - 前の文字を削除するには、**←** キーをクリックします。
 - スペースを挿入するには、**␣** キーをクリックします。
3. オンスクリーンキーボードを閉じるには **Enter** をクリックします。

2

お使いになる前に

この章は以下の項で構成されています。

- [DVR の開梱、ページ21](#)
- [外部デバイスの接続、ページ22](#)
- [DVR の起動、ページ24](#)
- [スタートアップウィザードを使った DVR の設定、ページ24](#)

DVR の開梱

DVR を設定する前に、梱包品として次の付属品がすべて入っているかを確認してください。

- クイック インストール ガイド
- クイック ネットワーク ガイド
- 証明書インストール ガイド
- ソフトウェア CD
- 電源アダプタとケーブル
- マウス
- シリアル ATA (SATA) ケーブル
(4 チャンネル用 ×1、8 チャンネル /
16 チャンネル用 ×2)
- CAT5e ネットワークケーブル
- 端子台コネクタ (×2、HRHQ1040L、
HRHQ1080L を除く)
- ネジ (4 チャンネル ×4、8 チャンネル /
16 チャンネル ×10)
- 電源ケーブル

上記の付属品のいずれかが不足または損傷している場合は、すぐに Honeywell 販売店にご連絡ください。

外部デバイスの接続

ステップ 1: カメラを接続します

カメラと同軸ケーブルを VIDEO IN コネクタ (1 Vp-p, 75 Ω) に接続します。

ステップ 2: モニターを接続します

VGA ケーブル (別売) を VGA インターフェースへ、および / または HDMI ケーブル (別売) を HDMI インターフェースに接続します。もう片方の端をモニターに接続します (テレビは使用しないでください)。VGA と HDMI の同時出力がサポートされています。

ステップ 3: マウスを接続します

付属の USB マウスを USB 2.0 インターフェースに接続します。

ステップ 4: イーサネットケーブルを接続します

付属の CAT5e イーサネットケーブルをネットワークポートに接続します。もう片方の端をネットワークのルータに接続します。

ステップ 5: オーディオデバイスを接続します (該当する場合)

オーディオを録音するには、オーディオ源を AUDIO IN [オーディオ入力] コネクタに接続します。オーディオを再生するには、オーディオ出力デバイス (低インピーダンスのヘッドフォン、スピーカ、またはアンプ) を AUDIO OUT [オーディオ出力] コネクタ (200 mV / 1 キロオーム) に接続します。

ステップ 6: PTZ カメラを接続します (該当する場合)

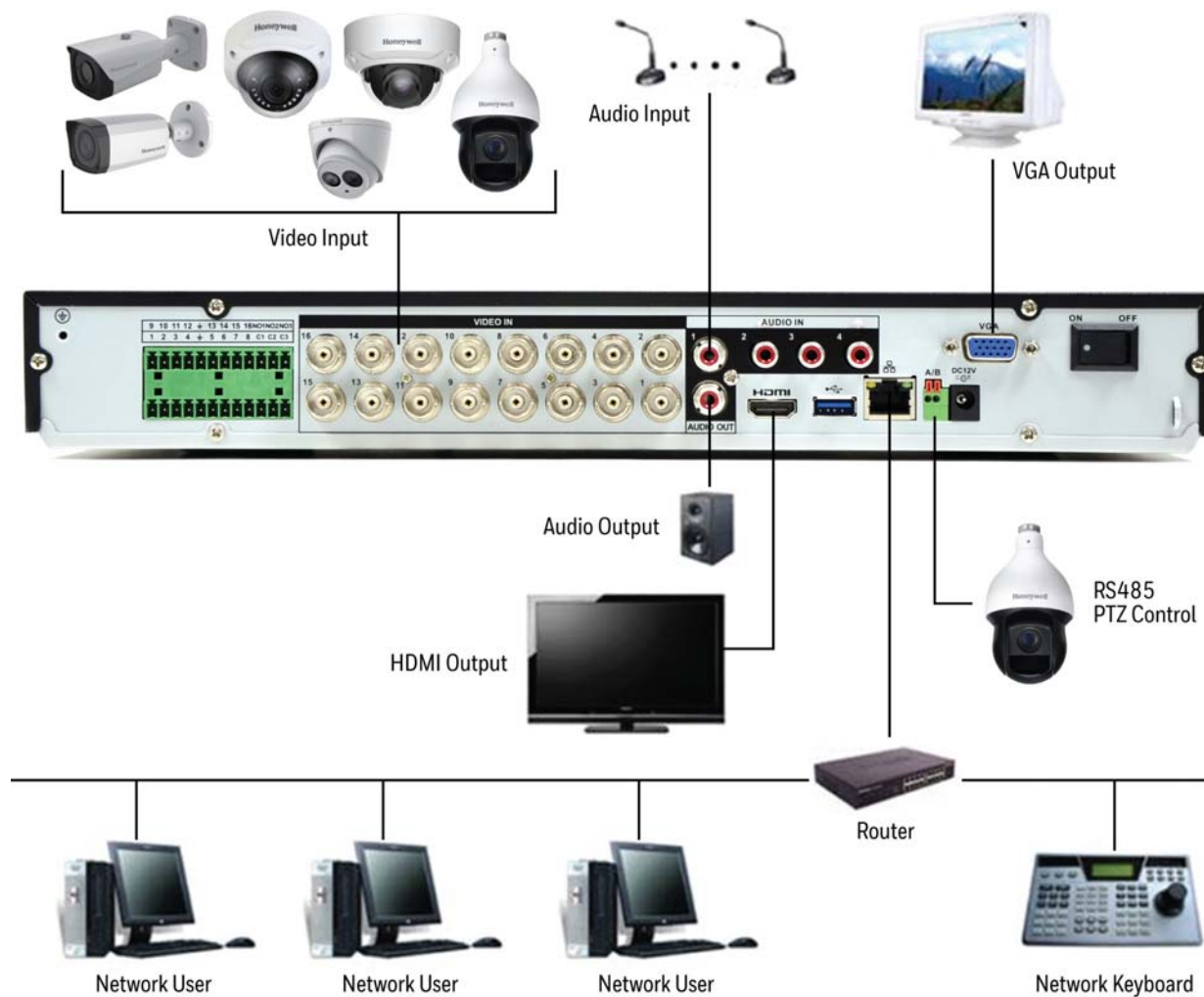
PTZ カメラと通信するには、RS485A および B 入力に接続します。シールドされたツイストペアケーブルを使用して、シールド層をアースに接続することが推奨されます。接地は DVR の場合と同じでなければならず、A と B の配線間の電圧は 5 V 未満でなければなりません。

ステップ 7: 電源ケーブルを接続します

付属の 12VDC 電源アダプタを電源入力に接続します。UPS (無停電電源装置) の使用が強く推奨されます。

DVR の一般的な設置

次の図は、一般的な DVR の設置を示しています。



DVR の起動

1. DVR が適切な電源に接続されていることを確認します。
2. 後面パネルの電源スイッチをオンにして DVR を起動します。

注 起動時のブープ音は正常です。

スタートアップウィザードを使った DVR の設定

スタートアップウィザードは、DVR の電源を入れると、デフォルトで開きます。



ウィザードでは下記が可能です。

- 一般設定（デバイス名、番号、言語、ビデオ規格の設定）。
- 日付と時刻の設定。
- ネットワーク設定。
- HonView Touch スマートフォンアプリを DVR にリンクします。
- 動画エンコード設定をします。
- 録画スケジュールを設定します。

注 ウィザードを起動しないで直接ライブビューにする場合は、**Cancel [キャンセル]** をクリックします。
次回の DVR 起動時にスタートアップウィザードが起動しないようにするには、**Startup [スタートアップ]** ボックスのチェックを外します。

スタートアップウィザードの使用

1. **Next Step [次のステップ]** をクリックして **System Login [システムログイン]** ウィンドウに移動します。

2. **Password [パスワード]** ボックスの内側をクリックしてオンスクリーンキーボードを表示し、そこで **1**、**2**、**3**、及び **4** の数字をクリックし（デフォルト管理者パスワードは **1234**）、**Enter** をクリックします。
3. **OK** をクリックして **General [一般]** ウィンドウに戻ります。

General [一般] ウィンドウでの設定方法の詳細は [システム一般設定の構成](#) ページ 118。

4. **Next Step [次のステップ]** をクリックして **Network [ネットワーク]** ウィンドウに移動します。

NETWORK Honeywell

IP Version: IPv4

MAC Address: 3C:EF:8C:13:9B:3C

Mode: STATIC DHCP

IP Address: 172 . 8 . 1 . 33 Test

Subnet Mask: 255 . 255 . 0 . 0

Default Gateway: 172 . 8 . 0 . 1

Preferred DNS: 8 . 8 . 8 . 8

Alternate DNS: 8 . 8 . 4 . 4

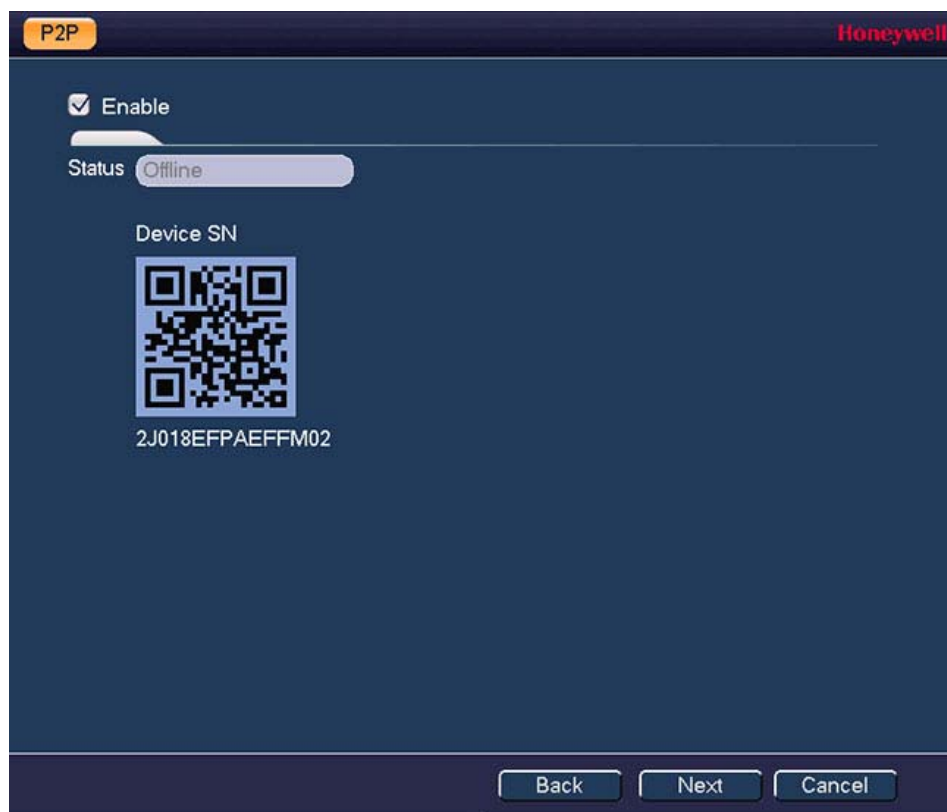
MTU: 1500

LAN Download

Default Back Next Cancel

Network [ネットワーク] ウィンドウでの設定の詳細は [TCP/IP 設定の構成](#) ページ 68。

5. **Next Step** [次のステップ] をクリックして **P2P** ウィンドウに移動します。



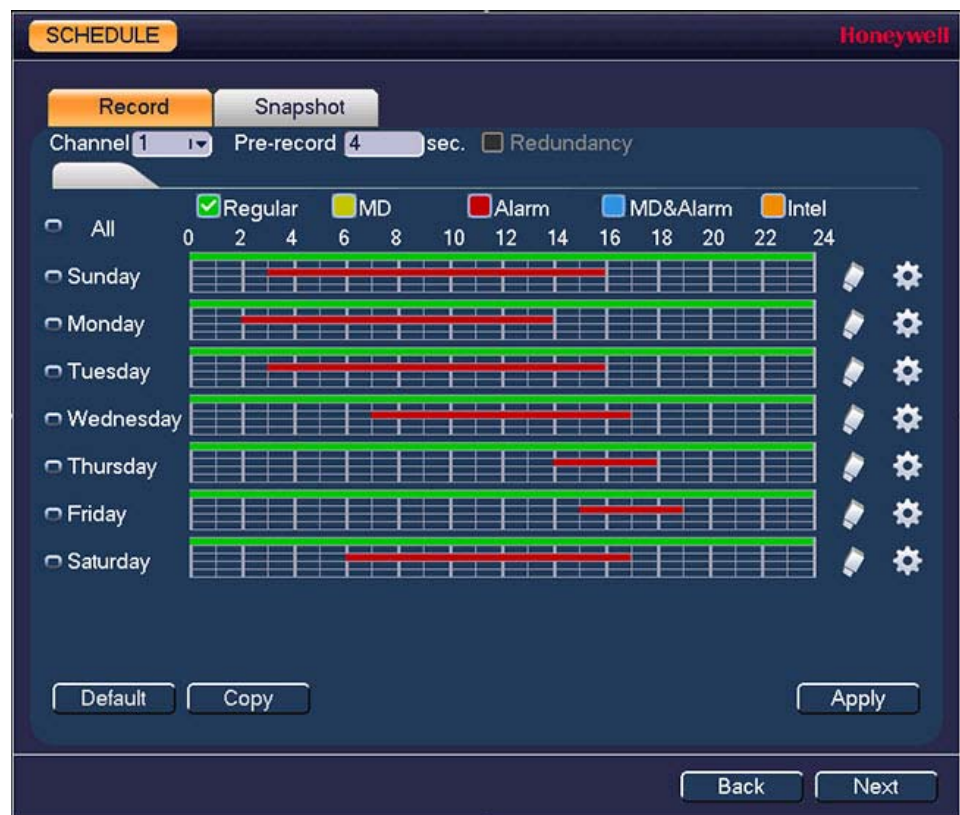
P2Pの詳細は [DVR への遠隔接続](#) ページ 80。

6. **Next Step [次のステップ]** をクリックして **Encode [エンコード]** ウィンドウに移動します。

Parameter	Value	Value
Channel	1	
Type	Regular	Sub Stream1
Compression	H.264H	H.264H
Smart Codec	Stop	
Resolution	960*576(960H)	352*288(CIF)
Frame Rate(FPS)	25	15
Bit Rate Type	CBR	CBR
I Frame Interval	1 S	1 S
Bit Rate(Kb/S)	1024	320
Reference Bit Rate	256-3072Kb/S	32-640Kb/S
Audio/Video	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Audio Format	G711a	Audio Source LOCAL

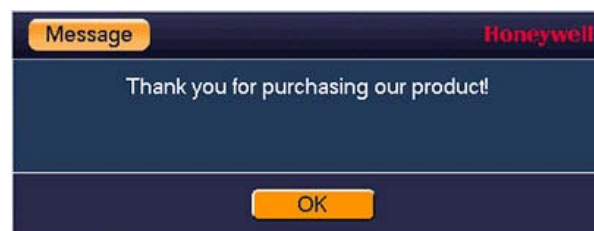
Encode[エンコード] ウィンドウでの設定の詳細は [エンコード設定の構成](#) ページ 59。

7. **Next Step [次のステップ]**をクリックして **Schedule [スケジュール]** ウィンドウに移動します。



Schedule [スケジュール] ウィンドウでの設定の詳細は [動画の録画スケジュールの設定 \(47 ページ\)](#) を参照してください。

8. **Next [次]** をクリックします。Thank you メッセージが表示されます。



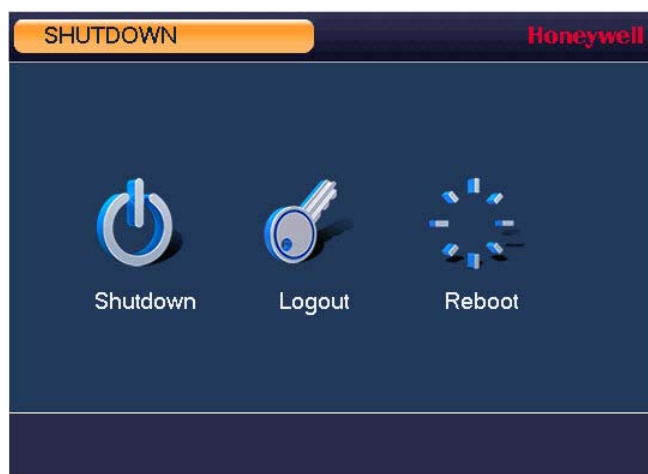
9. **OK** をクリックしてウィザードを閉じます。

DVRの終了

注 DVRをシャットダウンするには、管理者ユーザとしてログインするか、シャットダウン特権が割り当てられている必要があります。[アカウント設定の構成](#) ページ 130。

ハードドライブの損傷を防ぐには、次の手順で DVR をシャットダウンします。

1. ライブビューモードでは、画面の任意の場所をクリックしてショートカットメニューを表示し、**メインメニュー**をクリックします。
2. **メインメニュー** ウィンドウで **Shutdown [シャットダウン]** をクリックします。**Shutdown [シャットダウン]** ウィンドウが開きます。



3. **Shutdown [シャットダウン]** または **Reboot [リブート]** をクリックします。

3

ライブビデオの表示

この章は以下の項で構成されています。

- [ライブビューについて、ページ31](#)
- [ライブビューの設定、ページ34](#)
- [PTZカメラの制御、ページ36](#)

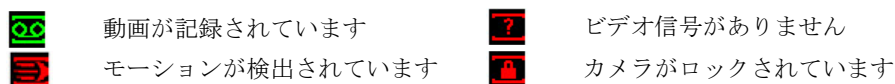
ライブビューについて

ライブビューは、DVRのデフォルトモードです。DVRを起動すると、接続されたカメラからのライブビデオがマルチチャンネルレイアウトで画面に表示されます（表示されるチャンネルの数は、4チャンネル、8チャンネル、または16チャンネルのどのDVRを使用しているかによって異なります）。



カメラステータス

カメラステータスアイコンは、チャンネルウィンドウの下部に表示されます。



カメラツールバー

カメラツールバーは、各チャンネルウィンドウの上部にあります。ツールバーを表示するには、マウスポインタをチャンネルウィンドウの上部に移動します。



	Instant Play [インスタントプレイ]	録画した動画の前の5分～60分の部分を再生します。 注 再生時間はデフォルトで5分に設定されています。この設定は メインメニュー > Setting [設定] > System [システム] > General [一般] > General [一般] > Instant Play [インスタントプレイ]で変更できます。
	Zoom [ズーム]	クリックしてデジタルズームを有効にし、拡大したい領域の上にマウスをドラッグします。右クリックすると、デジタルズームが取り消されます。
	Realtime Backup [リアルタイムバックアップ]	クリックすると、接続されたUSBストレージデバイスへの動画の録画が開始されます。もう一度クリックすると録画が停止します。 ビデオクリップを表示するには、 メインメニュー > Operate [操作] > Search [検索]に移動し、 From I/O Device [I/Oデバイスから]を選択して、ファイルをダブルクリックします。
	Manual Snap [マニュアルスナップ]	クリックすると、接続されたUSBストレージデバイスに動画の静止画像が保存されます。キャプチャした画像を表示するには、 メインメニュー > Operate [操作] > Search [検索]に移動し、 File List [ファイルリスト] ボタンをクリックします。
	Mute [消音]	クリックすると動画の音声が消音されます（該当する場合）。再度クリックすると消音が解除されます。 注 消音はシングルチャンネル表示でのみ機能します。

ライブビューツールバー

ライブビューツールバーが有効にされていると、ライブビュー画面の下部に表示されます。

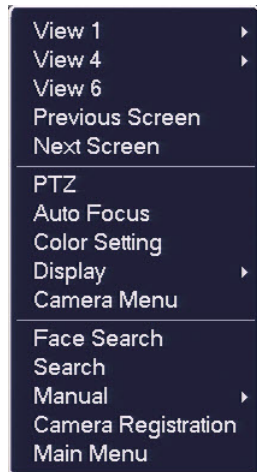


ツールバーはデフォルトで無効になっています。有効にするには、右クリックして **メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > General[一般] > General[一般]** に移動し、**Navigation Bar[ナビゲーションバー]** ボックスにチェックを入れます。ライブビュー画面に戻るには、2回右クリックしてください。画面上の任意の場所をクリックすると、ツールバーが表示されます。

	メインメニュー	メインメニューを開きます。
	ツールバーの展開/折りたたみ	
	Screen Layout[画面レイアウト]	画面レイアウトをシングルチャンネルまたはマルチチャンネル表示用に設定します。
	Previous/Next Screen [前/次の画面]	前または次の画面/チャンネルに移動します。
	Tour Switch [ツアー切替]	チャンネル表示による自動サイクリングを可能にします。 ツアー設定の構成 ページ 124
	Favorites [お気に入り]	お気に入りを追加/編集します。お気に入りの画面レイアウトを設定して保存し、すばやくアクセスできるようにすることができます。
	Channel[チャンネル]	クリックしてチャンネルを選択します。
	Pan/Tilt/Zoom[パン/チルト/ズーム]	PTZ コントロールパネルを開きます。 PTZ カメラの制御 ページ 36 を参照してください。
	Color[色]	色設定 ウィンドウを開きます。 モニター画像の設定 ページ 35 を参照してください。
	Search[検索]	再生インターフェイスを開きます。 動画の再生 ページ 45
	Event[イベント]	Event[イベント] 情報ウィンドウを開きます。
	Channel Info [チャンネル情報]	Channel Info[チャンネル情報] ウィンドウを開きます。
	Network [ネットワーク]	Network[ネットワーク] ウィンドウを開きます。 TCP/IP 設定の構成 ページ 68 を参照してください。
	HDD Manage [HDD管理]	HDD Manage[HDD 管理] ウィンドウを開きます。 HDD 設定の構成 ページ 111 を参照してください。
	USB Manager [USBマネージャー]	USB Manager[USBマネージャー] ウィンドウを開きます。

ショートカットメニュー

ショートカットメニューは、ライブビューモードで画面上の任意の場所を右クリックすると表示されます。



ライブビューの設定

スクリーンレイアウトの設定

ライブビューインターフェースは、シングルチャンネルまたはマルチチャンネルの表示用に設定できます。

ショートカットメニューを使用して画面の表示形式を変更するには、下記に従ってください。

1. 画面上の任意の場所を右クリックしてショートカットメニューを表示します。
2. 必要なビュー (**View 1** はシングルチャンネルレイアウト、残りはマルチチャンネルレイアウト) をポイントし、表示したいチャンネルをクリックします。

ライブビューツールバーを使用して画面の表示形式を変更するには、下記に従ってください。

- ライブビューツールバーの画面レイアウトボタンをクリックします。

マウスを使用して画面の表示形式を変更するには、下記に従ってください。

- マウスホイールボタンを回転させます。

チャンネルをマルチチャンネルグリッド内の別の場所に移動するには、下記に従ってください。

- チャンネルをマルチチャンネルグリッド内の別の場所にドラッグします。
たとえば、チャンネル2をチャンネル1の左上の位置に移動するには、チャンネル2をクリックしてチャンネル1の位置にドラッグし、マウスボタンを離します。

モニター画像の設定

変化する照明条件に対応するために、1日において2期間まで、異なるモニター画像設定をすることができます。

モニター画像設定を設定するには下記に従ってください。

1. 画面上の任意の場所を右クリックしてショートカットメニューを表示します。
2. **Color Setting[色設定]**をクリックします。**Color[色]** ウィンドウが開きます。



3. **Effective Time[有効時間]** ボックスに、設定が適用される時間範囲を入力します（たとえば、昼光条件が07:00~19:00）。
4. In the **Color Mode[カラーモード]** ボックスで、事前設定されたモード（**Standard[標準]**、**Soft[ソフト]**、**Bright[鮮明]**、**Colorful[カラフル]**、**Bank[バンク]**、または **Customized 1-4[カスタマイズ1-4]**）を選択するか、独自の設定をカスタマイズします。

独自の設定をカスタマイズするには、**Customized[カスタマイズ]** をクリックして下記の設定を定義します。

- **Sharpness[鮮明度]** (0-15)
 - **Hue[色調]** (0-100)
 - **Brightness[輝度]** (0-100)
 - **Contrast[コントラスト]** (0-100)
 - **Saturation[彩度]** (0-100)
5. 残り時間の設定を行うには、**Period[期間]** ボックスで **Time Period 2[期間2]** を選択し、**Effective Time[有効時間]** を入力して **Color Mode[カラーモード]** を選択するか、手動で設定を調整します。
 6. **OK** をクリックして設定を保存します。

PTZカメラの制御

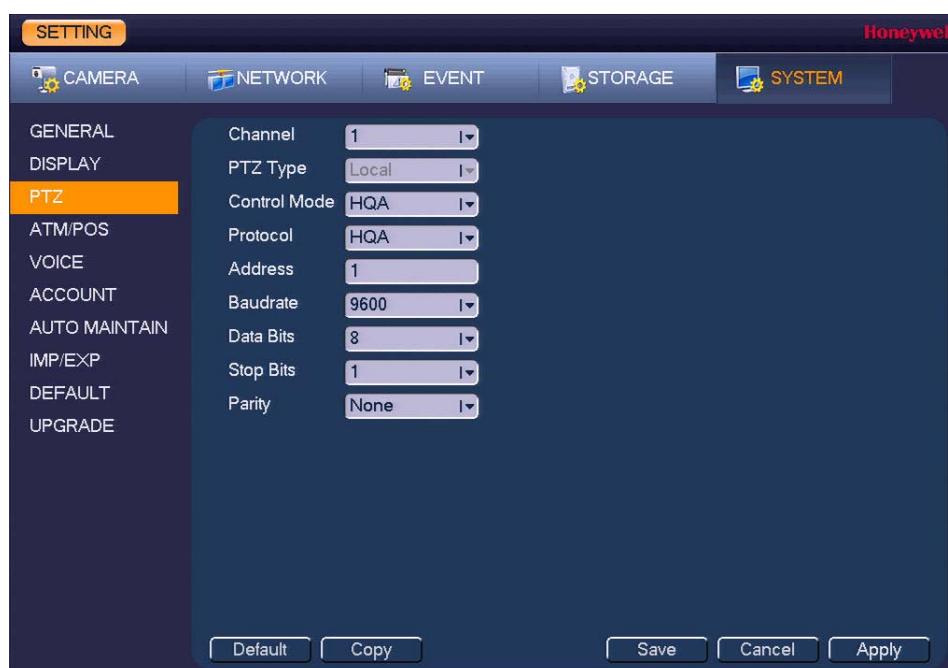
このセクションでは、PTZ接続の設定方法、PTZコントロールパネルへのアクセス方法、PTZプリセット、ツアー、パターンの設定と呼び出し方法について説明します。

PTZ接続設定の構成

DVRでPTZカメラを制御する前に、接続設定を行う必要があります。DVRの設定は、PTZの設定と一致する必要があります。

PTZ接続設定をするには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting[設定]** > **System[システム]** > に移動します。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、**PTZ**をクリックします。

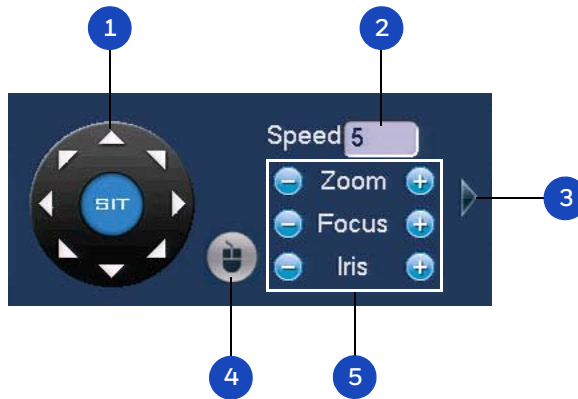


3. 以下の設定を行います。
 - **Channel[チャンネル]** PTZを設定するチャンネル（カメラ）を選択します。
 - **Control Model[制御モード]** RS485シリアル通信でPTZカメラを制御する場合は、**Serial[シリアル]**を選択します。その他の場合は**HQA**のままにします。
 - **Protocol[プロトコル]** PTZカメラで使用するプロトコルを選択します。
 - **Address[アドレス]** 複数のPTZカメラがある場合は、PTZカメラのアドレス（ID）を入力します。
 - **Baudrate[ボーレート]** 1200～115200の値を選択します。デフォルト設定は9600です。
 - **Data Bits[データビット]** 5～8の値を選択します。デフォルト設定は8です。
 - **Stop Bits[ストップビット]** 1、1.5、または2を選択します。デフォルト設定は1です。
 - **Parity[パリティ]** None[なし]、Odd[奇数]、Even[偶数]、Mark[マーク]、またはSpace[スペース]を選択します。
4. **Apply[適用]**をクリックしてから**Save[保存]**をクリックして設定を保存して終了します。

PTZ制御パネルの操作

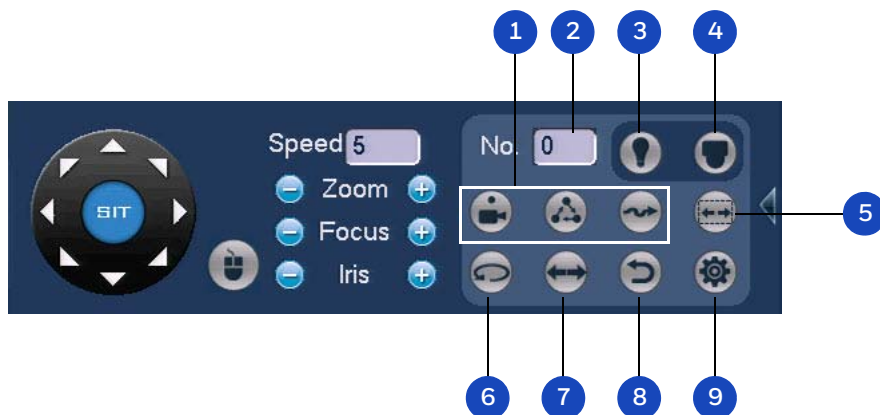
オンスクリーンPTZ制御パネルを使用して、DVRのRS485シリアルポートに接続されたPTZカメラを制御することができます。

PTZ制御パネル（基本）



#	名前	機能
1	方向キー	カメラの動きを指示します。
2	Speed[速度]	カメラの速度を調整します。1～8の値を選択します。
3	矢印の展開	制御パネルを展開し、追加のオプションを表示します。
4	PTZトレース	マウスをドラッグしてカメラの動きを指示します。ホイールボタンを回してズームイン/ズームアウトします。
5	Zoom、Focus、Iris	カメラのズーム、フォーカス、および絞りの設定を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> ズームアウト(-)、ズームイン(+) フォーカス近接(-)、フォーカス 遠景(+) 絞り 閉(-)、絞り 開(+)

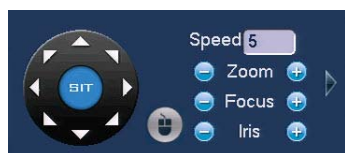
PTZ制御パネル（拡張）



#	名前	機能
1	プリセット、ツアー、パターン	PTZ機能を構成/呼び出します。
2	番号	呼び出すPTZ機能の番号を入力します。
3	AUX	補助的機能を呼び出します。
4	開始メニュー	非PTZカメラのup-the-coax OSDメニュー設定を有効にします。
5	オートスキャン	カメラを定義した2つのポイント間で継続的にパンします。
6	オートパン	カメラを360度連続して回転させます。
7	フリップ	カメラを180度回転させます。
8	リセット	出荷時設定を復元します。
9	AUX設定	補助設定を構成するためのメニューを開きます。

PTZ制御パネルを表示するには下記に従ってください。

1. 画面上の任意の場所を右クリックしてショートカットメニューを表示します。
2. **Pan/Tilt/Zoom**[パン/チルト/ズーム]をクリックします。PTZ制御パネルを開きます。



3. PTZ制御パネルを拡張するには、パネルの右側にある矢印をクリックします。



PTZ機能の設定

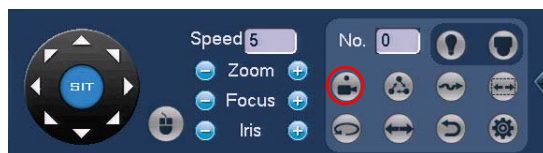
プリセット、ツアー、パターン、および境界は、PTZ制御パネルで設定できます。

PTZプリセットの設定

PTZカメラのプリセット位置をプログラムすることができます。たとえば、アラームイベントが発生した時に、カメラを出入口などの特定の場所に向けることができます。

プリセットをプログラムするには下記に従ってください。

1. PTZ制御パネル（拡張）で、**Preset[プリセット]** ボタンをクリックします。



2. 方向矢印を使用して、プリセットとして設定するカメラをポイントし、**Set[設定]** をクリックします。



3. **Preset[プリセット]** ボックスにプリセットの番号を入力し、**Set[設定]** をクリックして設定を保存します。
- 追加のプリセットをプログラムするには、手順1～3を繰り返します。
 - プリセットを削除するには、**Preset[プリセット]** ボックスに削除するプリセットの番号を入力し、**Del Preset[プリセットを削除]** をクリックします。

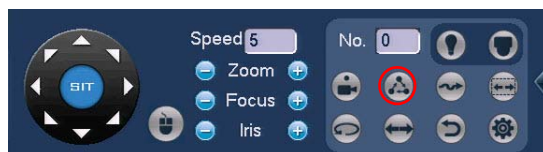
注 Del Preset[プリセットを削除] 機能は一部のプロトコルではサポートされていません。

PTZツアーの設定

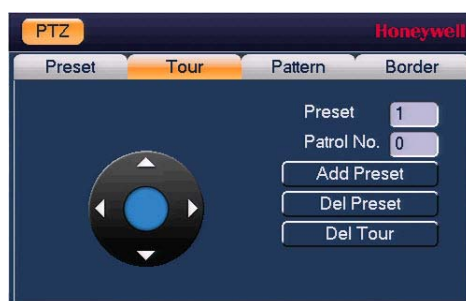
PTZカメラは、プリセットからプリセットまで特定の順序で進むように設定することができます。

ツアーをプログラムするには下記に従ってください。

1. PTZ制御パネル（拡張）で、**Tour[ツアー]** ボタンをクリックします。



2. **Preset[プリセット]**ボックスに、ツアーに追加する最初のプリセットの番号を入力します。



3. **Patrol No.[パトロール番号]** ボックスに、ツアーの番号を入力します。
4. **Add Preset[プリセットを追加]** をクリックして、ツアーにプリセットを追加します。
5. 手順1～5を繰り返してツアーにプリセットを追加します。
 - プリセットを削除するには、**Preset[プリセット]** ボックスに削除するプリセットの番号を入力し、**Del Preset[プリセットを削除]** をクリックします。
 - ツアーを削除するには、**Patrol No.[パトロール番号]** ボックスに削除するツアーの番号を入力し、**Del Tour[ツアーを削除]** をクリックします。

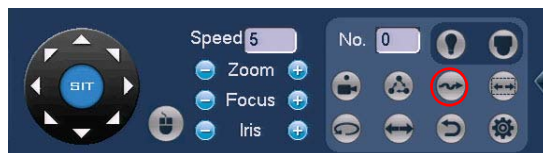
注 **Del Preset[プリセットを削除]**機能は一部のプロトコルではサポートされていません。

PTZパターンの設定

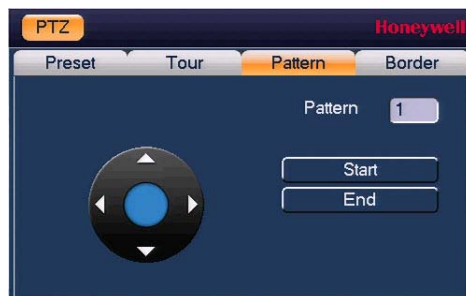
一連のPTZムーブメントをパターンとして記録することができます。ライブビューモードでパターンを呼び出すと、PTZカメラは定義したパスに沿って自動的に移動します。

パターンをプログラムするには下記に従ってください。

1. PTZ制御パネル（拡張）で、**Pattern[パターン]** ボタンをクリックします。



2. **Pattern[パターン]** ボックスに、パターンの番号を入力します。



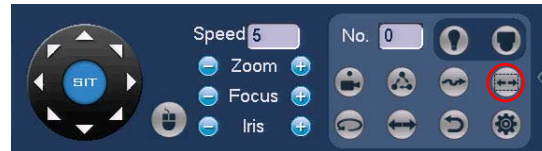
3. **Start[開始]** をクリックし、方向矢印を使用してカメラの向きを設定します。
4. カメラの向きの設定が終わったら、**End[終了]** をクリックします。

PTZ境界の設定

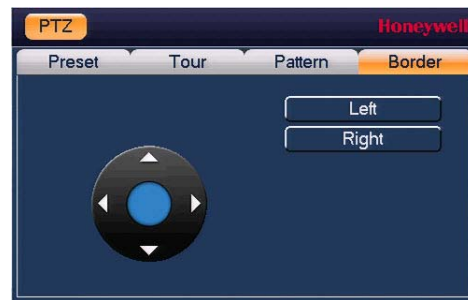
PTZカメラのパンの動きの左右の境界を定義することができます。

スキャンをプログラムするには下記に従ってください。

1. PTZ制御パネル（拡張）で、**AutoScan[自動スキャン]** ボタンをクリックします。



2. 方向矢印を使用してカメラの左端の制限を設定し、次に **Left[左]** をクリックします。

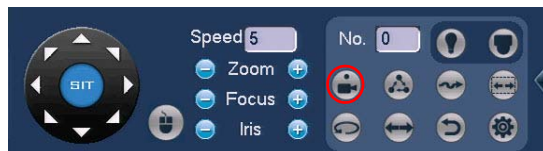


3. 方向矢印を使用してカメラの右端の制限を設定し、次に **Right[右]** をクリックします。

プリセット、ツアー、パターンの呼び出し

プリセットを呼び出すには下記に従ってください。

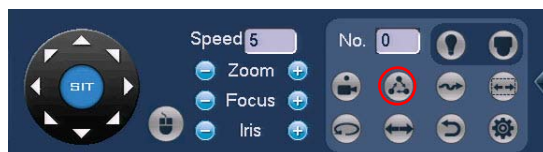
1. PTZ制御パネル（拡張）の **No.[番号]** ボックスに、呼び出すプリセットの番号を入力し、**Preset[プリセット]** ボタンをクリックします。



2. **Preset[プリセット]** ボタンをもう一度クリックすると、プリセットの呼び出しが停止します。

ツアーを呼び出すには下記に従ってください。

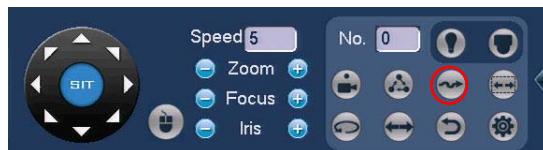
1. PTZ制御パネル（拡張）の **No.[番号]** ボックスに、呼び出すプリセットの番号を入力し、**Tour[ツアー]** ボタンをクリックします。



2. **Tour[ツアー]** ボタンをもう一度クリックすると、ツアーの呼び出しが停止します。

パターンを呼び出すには下記に従ってください。

1. PTZ制御パネル（拡張）の **No.[番号]** ボックスに、呼び出すプリセットの番号を入力し、**Pattern[パターン]** ボタンをクリックします。



2. **Pattern[パターン]** ボタンをもう一度クリックすると、パターンの呼び出しが停止します。

4

動画の再生

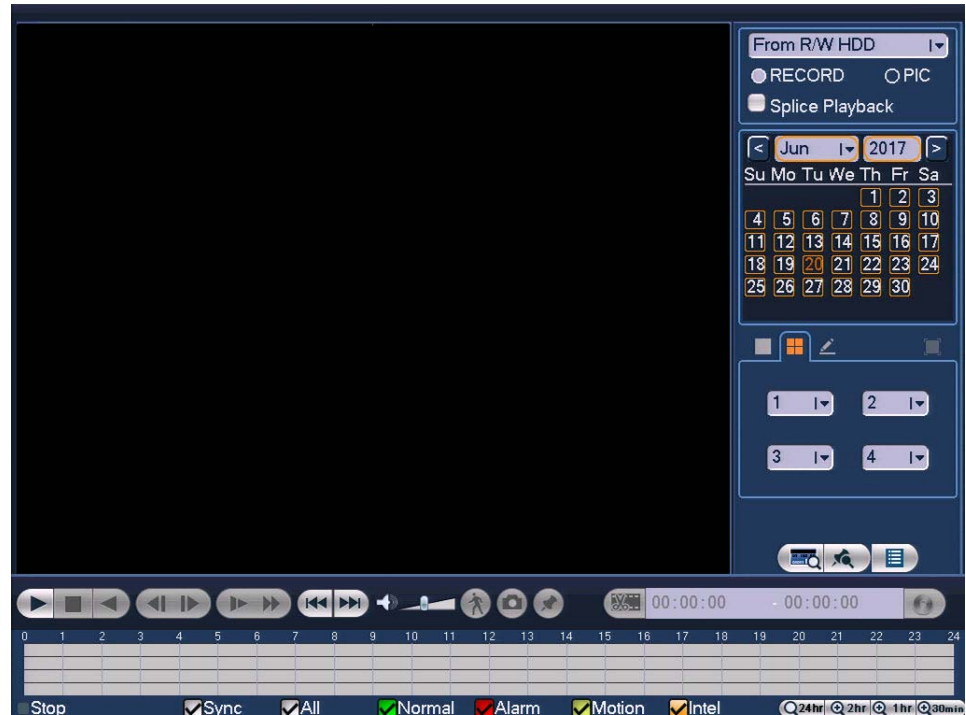
この章は以下の項で構成されています。


- [動画の検索と再生、ページ46](#)
- [スマート検索を使った動画の再生、ページ47](#)
- [動画のマーキング、ページ48](#)
- [スプライス再生、ページ50](#)
- [スナップショットの再生、ページ51](#)
- [動画とスナップショットのバックアップ、ページ52](#)

動画の検索と再生

録画された動画を日付によって検索して再生するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Operate [操作] > Search [検索] に移動します。再生インターフェースが開きます。

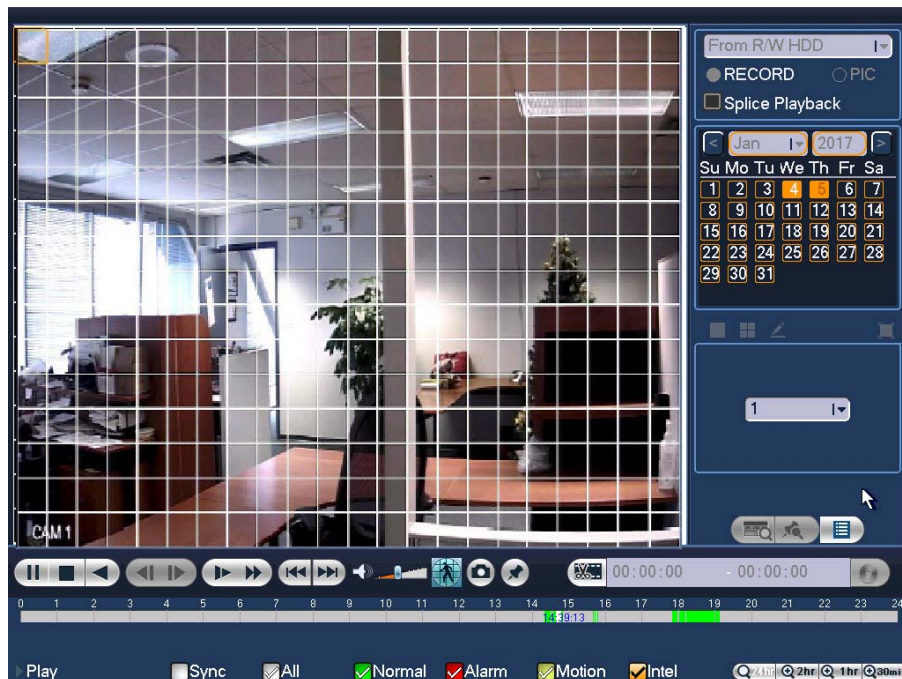


2. 再生インターフェースの右パネルのカレンダー領域で、検索する日付をクリックします。動画が録画された日付はオレンジ色で表示されます。
3. カレンダーの下で、使用する画面レイアウトを選択し、検索するチャンネルを選択します。
4. 画面の下部で、検索する録画タイプ (**Normal**[通常]、**Alarm**[アラーム]、**Motion**[モーション]、**Intel**[スマート]) を選択します。すべての録画タイプを検索するには **All**[全て] を選択します。
5. **File List**[ファイルリスト]  ボタンをクリックして 検索結果を表示します。
6. 検索結果の一覧から、再生する録画済み動画ファイルをダブルクリックします。再生ウィンドウで動画の再生が開始されます。
7. 再生を制御するには、画面下部の再生コントロールを使用します。再生モードには、スロー再生、早送り、逆再生、フレーム単位再生があります。
8. 動画内を前後に移動するには、タイムライン上で希望の時刻をクリックします。タイムラインを拡大または縮小するには、画面の右下にある選択肢から 1 つクリックします。24 h [時間]、12 h [時間]、1 h [時間]、30 min [分]。

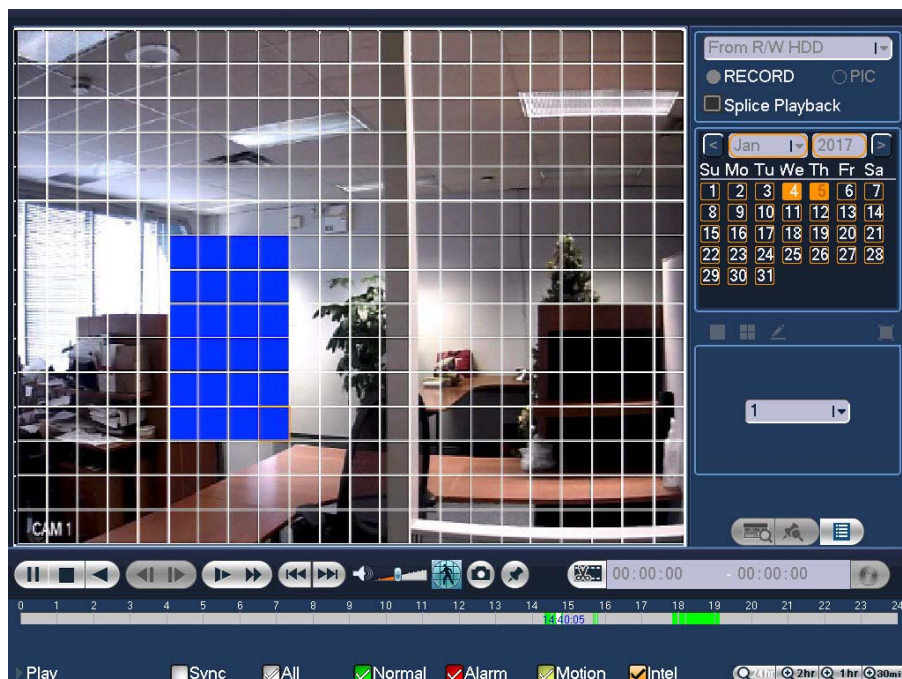
スマート検索を使った動画の再生

スマート検索を使用してアクティビティをすばやく検索するには下記に従ってください。

1. 動画の再生中に **Smart Search**[スマート検索] ボタンをクリックします。再生ウィンドウにグリッドが重ねられます。



2. アクティビティを検索する領域の上にマウスをドラッグします。



3. **Smart Search**[**スマート検索**] ボタンを再度クリックします。再生は、その領域でアクティビティがあるビデオのすべての部分にジャンプします。




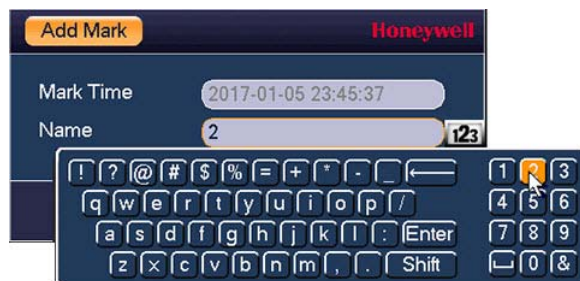
4. スマート検索を終了するには、**Smart Search**[**スマート検索**] ボタンを再度クリックします。確認メッセージが表示されます。**OK** をクリックして続行します。

動画のマーキング



動画の再生中に何か重要なことが起こったときには動画にマークを付けることができます。

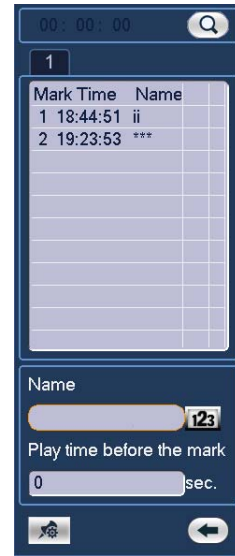
動画にマークを付けるには下記に従ってください。

1. **Add Mark** [**マークを追加**]  ボタンをクリックします。**Add Mark**[**マークを追加**] ウィンドウが開きます。
2. **Name**[**名前**] フィールドに識別名または説明を入力し、**OK** をクリックします。




マークされた動画を表示するには下記に従ってください。

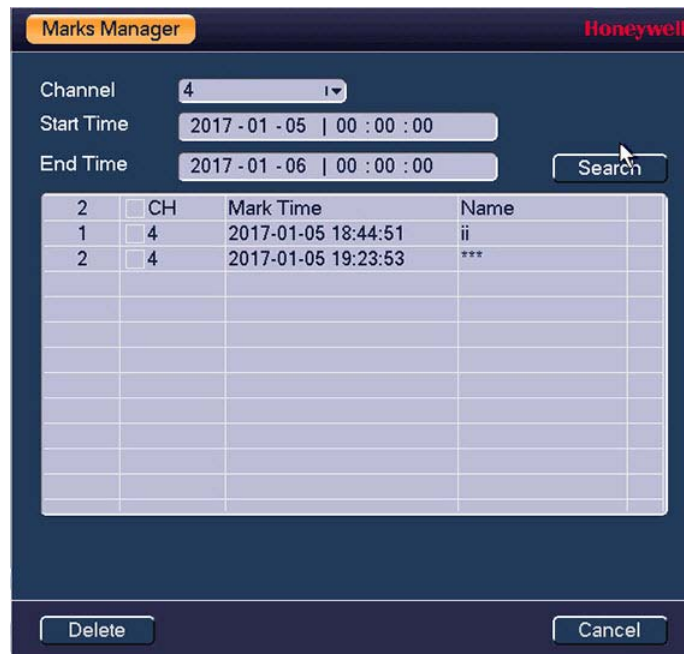
1. **Mark List[マークリスト]** ボタンをクリックします 。マークされた動画ファイルのリストが時刻と名前と並べ替えて表示されます。
2. リストは時刻や名前で検索することができます。
 - 時刻で検索するには、リストの上にある検索ボックスに時刻を入力し、**Search[検索]** ボタンをクリックします 。
 - 名前で検索するには、**Name[名前]** フィールドに名前を入力します。
3. マークされた時刻より前に再生を開始するには、**Play time before the mark[マーク前の時間を再生]** フィールドに秒単位のリードイン時間を入力します。
4. マークされた動画ファイルをダブルクリックして再生を開始します。



注 マークされたファイルのリストにアクセスするには、シングルチャンネルレイアウトモードにする必要があります。

マークされた動画ファイルを管理するには下記に従ってください。

1. マークされた動画ファイルのリストの下にある **Marks Manager[マークマネージャ]** ボタンをクリックします 。Marks Manager[マークマネージャ] ウィンドウが開きます。



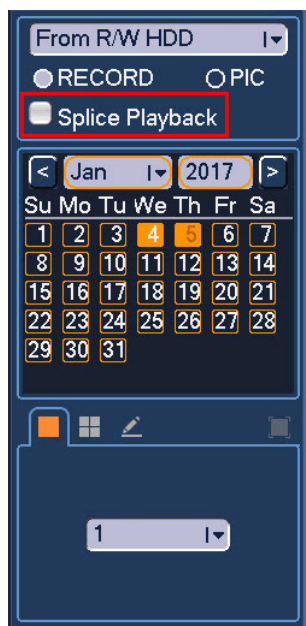
2. マークされた動画ファイルの名前を編集するには、ダブルクリックして新しい名前を入力して **OK** をクリックします。
3. マークされた動画ファイルを削除するには、ファイルを選択して **Delete[削除]** をクリックします。

スプライス再生

スプライス再生機能を使用すると、同じ動画ファイルの異なるセクションを同時に再生できます。

録画済み動画ファイルの複数のセクションを同時に表示するには下記に従ってください。

1. 再生インターフェースで、**Splice Playback** [スプライス再生] ボックスにチェックを入れます。



2. 表示する録画済み動画を選択します。
タイムラインに三角形が表示され、ファイルの各セクションがマークされます。



3. **Play** [再生] をクリックしてファイルを表示します。

注 各セクションの最短期間は5分です。録画時間が20分未満の場合は、4チャンネル表示モードを選択します。

スナップショットの再生

スナップショット画像を日付によって検索して再生するには下記に従ってください。

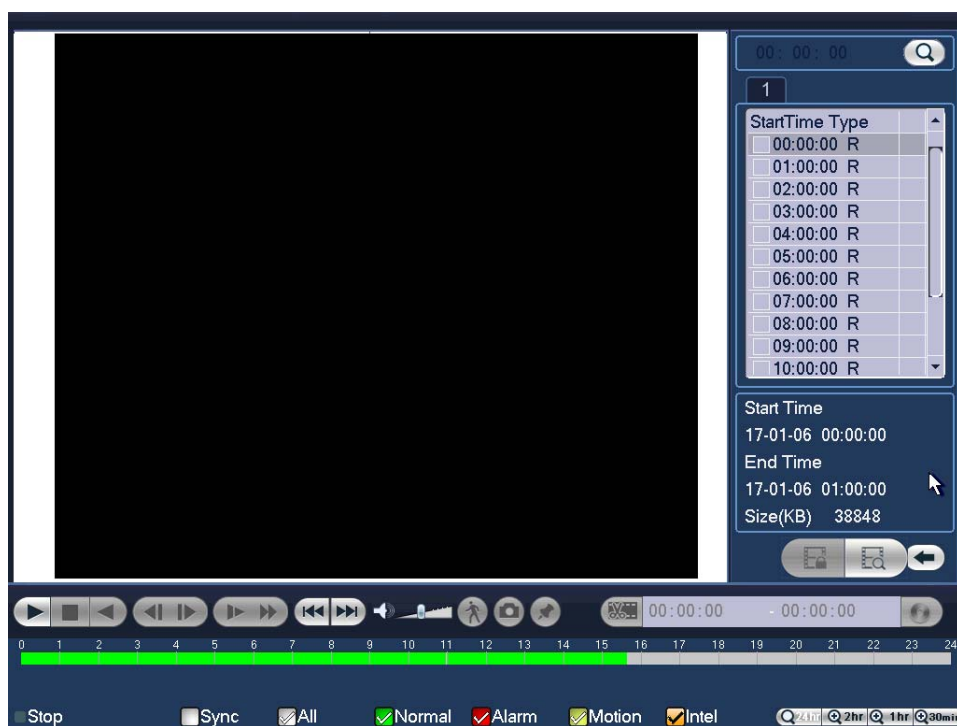
1. メインメニュー > Operate[操作] > Search[検索] に移動します。再生インターフェースが開きます。
2. 右パネルの上部にある検索タイプボックスの下で、PIC を選択します。
3. Interval[間隔] ボックスで秒単位の再生間隔を入力します。1 ~ 60 秒の値を入力します。デフォルト設定は 1 秒です。
4. カレンダー領域で、検索する日付をクリックします。スナップショットが保存された日付はオレンジ色で表示されます。
5. カレンダーの下で、使用する画面レイアウトを選択し、検索するチャンネルを選択します。
6. File List[ファイルリスト] ボタンをクリックして検索結果を表示します。
7. 検索結果の一覧から、再生するスナップショットファイルをダブルクリックします。再生ウィンドウにスナップショットが表示されます。
8. Interval[間隔] ボックスで指定した間隔でファイルリスト内のすべてのスナップショットファイルの再生が繰り返されます。再生を一時停止するには、再生ウィンドウの下にあるコントロールパネルの Pause[一時停止] ボタンをクリックします。次のスナップショットに移動するには、Next Frame[次のフレーム] ボタンをクリックします。前のスナップショットに移動するには、Prev Frame[前のフレーム] ボタンをクリックします。

注 スナップショット再生インターフェースの緑色のタイムバーには、スナップショットがいつごろ撮られたかだけが表示されます。正確な検索を行うには File List[ファイルリスト] をクリックします。

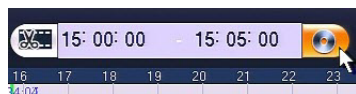
動画とスナップショットのバックアップ

再生インターフェース内からバックアップするには下記に従ってください。

1. USB ストレージデバイス（USB フラッシュメモリなど）を DVR の USB ポートの 1 つに挿入します。
2. バックアップする録画済みの動画またはスナップショットファイルを検索します（[動画の検索と再生](#) ページ 46 および [スナップショットの再生](#) ページ 51 を参照）。
3. **File List**[ファイルリスト] ボタンをクリックして検索結果を表示します。
4. 検索結果の一覧で、バックアップするファイルのボックスにチェックを入れます。



または、動画の再生中に、動画クリップの時間フィールドに開始時間と終了時間を入力して、**Backup**[バックアップ] ボタンをクリックします。

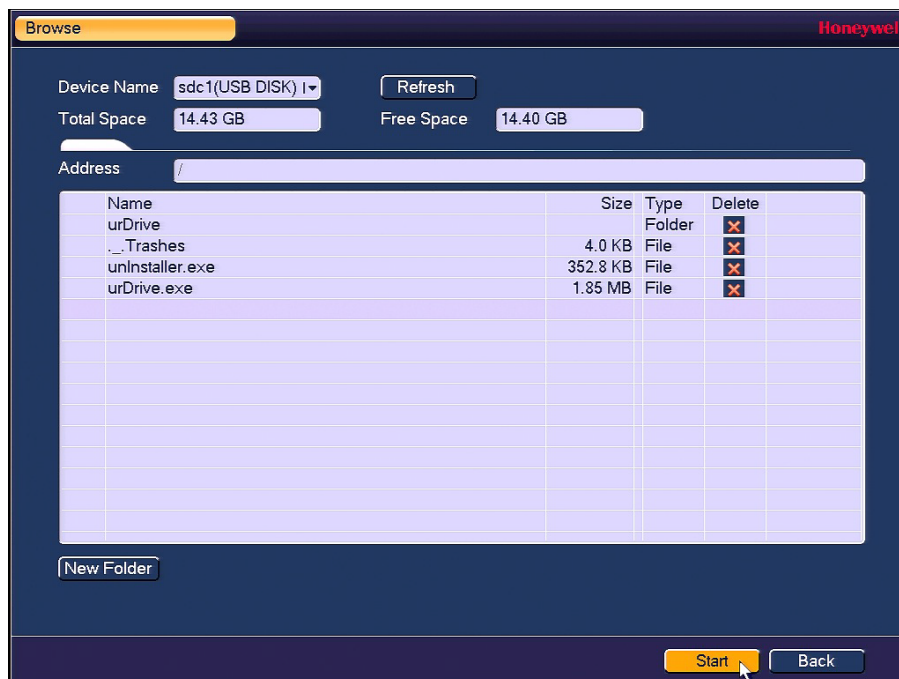


Backup[バックアップ] ウィンドウが表示され、選択した動画ファイル/クリップが表示されます。

5. **Backup[バックアップ]** ウィンドウで **Backup[バックアップ]** をクリックします。



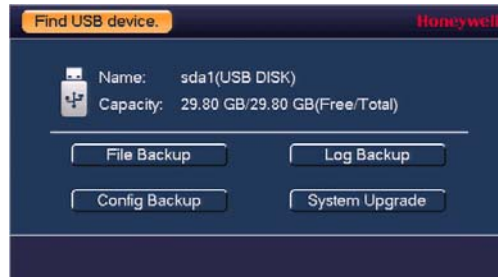
USB ストレージデバイスの **Browse[ブラウズ]** ウィンドウが開きます。



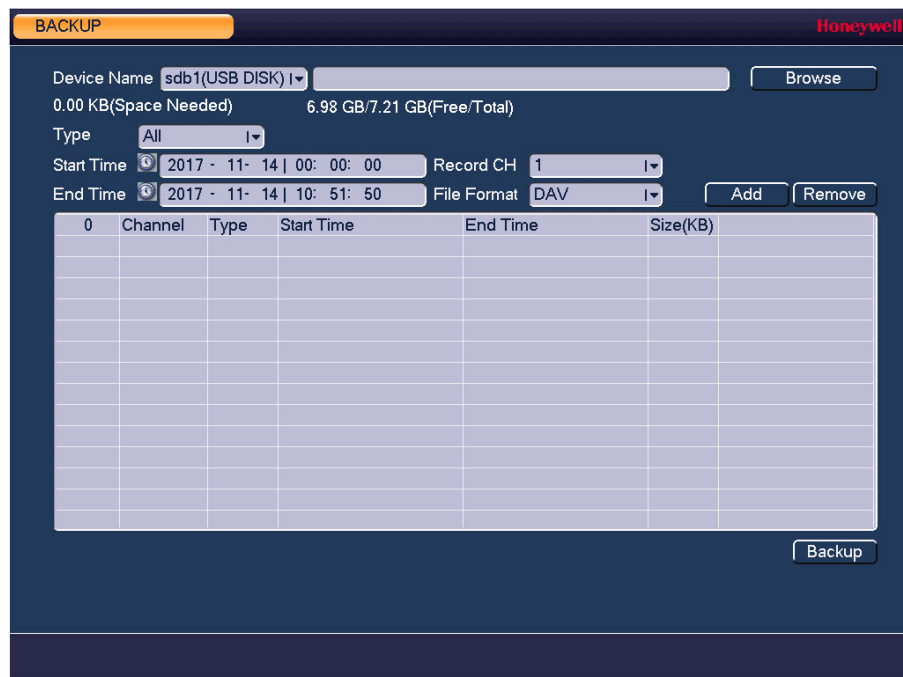
6. **Start[開始]** をクリックしてファイルをバックアップします。バックアップが成功すると "Backup finished" (バックアップが終了しました) というメッセージが表示されます。

再生インターフェース外からバックアップするには下記に従ってください。

1. USBストレージデバイス(USBフラッシュメモリなど)をDVRのUSBポートの1つに挿入します。**Find USB device[USB デバイスを検出]**ウィンドウが開きます。



2. **Find USB device[USB デバイスを検出]** ウィンドウで **Backup[バックアップ]** をクリックします。



3. **Backup[バックアップ]** ウィンドウで、下記の設定をします。
 - **Type[タイプ]** 検索するファイルの種類を選択します。
注 スナップショットを検索するには、**PIC** を選択します。
All[全て] は、(スナップショット以外の) 全動画ファイルを意味します。
 - **開始時刻** 検索の開始時刻を指定します。
 - **終了時刻** 検索の終了時刻を指定します。
 - **録画 CH** 検索する特定のチャンネルを選択してください。または、全てのチャンネルを検索するには **All[全て]** を選択してください。
 - **ファイルフォーマット** 動画ファイルフォーマットとして **DAV** または **ASF** を選択します。
4. **Add[追加]** をクリックして検索結果をファイルリストに表示します。

注 選択した時間内にファイルが多すぎる場合は、検索期間内の最初の 1024 ファイルだけが表示されます。**Start Time[開始時刻]**と**End Time[終了時刻]**を調整して、バックアップするファイルを探します。

5. バックアップしたいファイルのボックスにチェックを入れ、**Backup[バックアップ]**をクリックします。USB ストレージデバイスの **Browse[ブラウズ]** ウィンドウが開きます。
6. **OK** をクリックしてファイルをバックアップします。

5

カメラ設定の構成

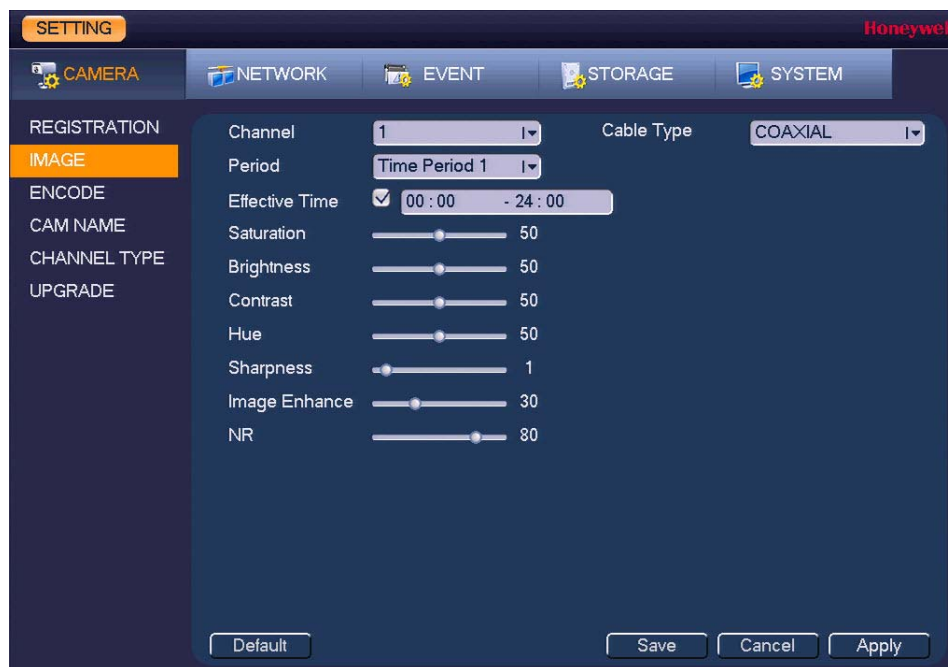
この章は以下の項で構成されています。

- [画像設定の構成、ページ58](#)
- [エンコード設定の構成、ページ59](#)
- [スナップショット設定の構成、ページ60](#)
- [プライバシーマスク設定の構成、ページ61](#)
- [テキストオーバーレイの構成、ページ62](#)
- [カメラ名の変更、ページ63](#)
- [チャンネルタイプの変更、ページ64](#)
- [IP カメラの追加、ページ65](#)

画像設定の構成

カメラの画像設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Image [画像] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、設定したいカメラを選択します。
3. アナログカメラの場合は **Cable Type [ケーブルの種類]** ボックスで、カメラケーブルの種類を選択します (**Coaxial [同軸]** または **UTP**)。
4. **Period [期間]** ボックスで画像設定の時間を選択します。画像の設定はこの期間中のみ使用されます。
5. **Effective Time [有効時間]** ボックスをクリックして、選択した期間の開始時間と終了時間を入力します。
6. スライダーを目標値に移動して、画像の彩度、輝度、コントラスト、色相、鮮明度、強調、ノイズ低減の設定を行います。
 - **Saturation [彩度]** 0 ~ 100。の値を選択します。デフォルト設定は 50 です。
 - **Brightness [輝度]** 0 ~ 100。の値を選択します。デフォルト設定は 50 です。
 - **Contrast [コントラスト]** 0 ~ 100。の値を選択します。デフォルト設定は 50 です。
 - **Hue [色相]** 0 ~ 100。の値を選択します。デフォルト設定は 50 です。
 - **鮮明度** 0 ~ 15。の値を選択します。デフォルト設定は 1 です。
 - **画像強調** 0 ~ 100。の値を選択します。デフォルト設定は 30 です。
 - **NR** 0 ~ 100。の値を選択します。デフォルト設定は 50 です。
7. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

エンコード設定の構成

カメラのビデオとオーディオのエンコード設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー> Setting [設定] > Camera [カメラ] > Encode [エンコード]。に移動します。



2. **Encode [エンコード]** タブの **Channel [チャンネル]** ボックスで、設定したいカメラを選択します。
3. プライマリストリームとセカンダリストリームの次の設定を構成します。

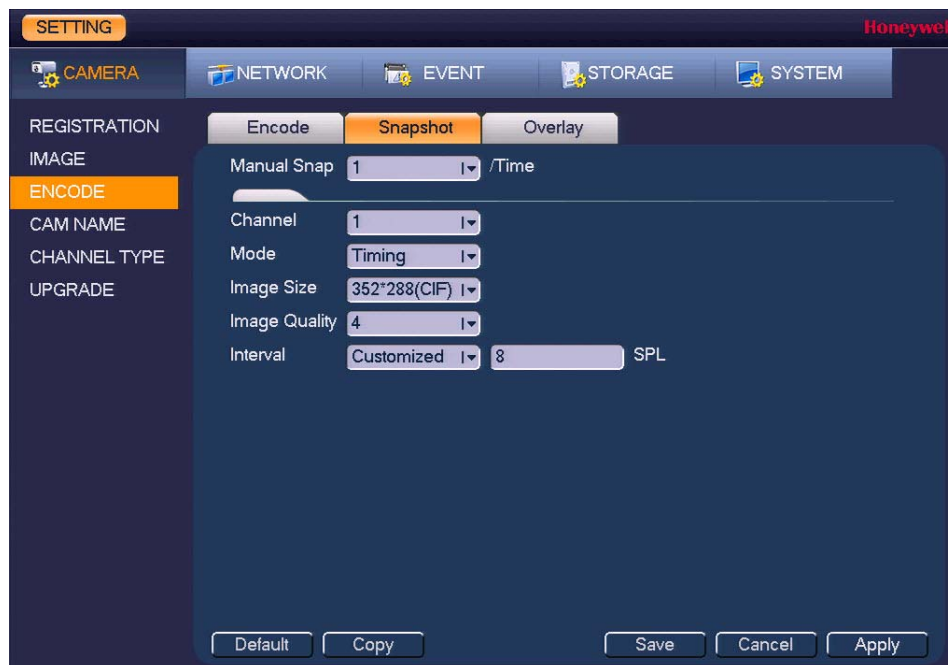
- **Type [タイプ]** プライマリストリームタイプを **Regular [通常]**、**MD** (モーション検出)、または **Alarm [アラーム]** に設定します。セカンダリストリームは設定できません。
- **圧縮** リストから圧縮規格を選択します。
- **スマートコーデック** 重要でない録画の動画ビットストリームを削減し、ストレージスペースを最大化します。機能を有効化するには **Start [開始]** を選択します。
- **Resolution [解像度]** リストから解像度を選択します。
- **フレームレート** リストからフレームレートを選択します (NTSC では **1-30**、PAL では **1-25**)。
- **ビットレートタイプ** **CBR** (固定ビットレート) か **VBR** (可変ビットレート) に設定します。
- **Quality [品質]** ビットレートを **VBR** に設定した場合は、**1** (最低画質) ~ **6** (最高画質) の値を選択します。
- **Iフレームインターバル** **1S** か **2S** (デフォルト) に設定します。
- **ビットレート** リストからビットレートを選択するか **Customized [カスタマイズ]** をクリックして別のビットレートを入力します。
- **オーディオ/ビデオ** オーディオ/ビデオを有効/無効にするには、チェックボックスをオン/オフにします。

- オーディオフォーマット **G711a**、PCM、または **G711u**(=G711μ) に設定します。
 - オーディオソース **Local** [ローカル] に設定します。
4. **Apply** [適用] をクリックして設定を保存します。
 5. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy** [複製] をクリックし、設定をコピーするカメラをクリックして、**OK** をクリックします。

スナップショット設定の構成

カメラのスナップショット設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting** [設定] > **Camera** [カメラ] > **Encode** [エンコード] > **Snapshot** [スナップショット] に移動します。

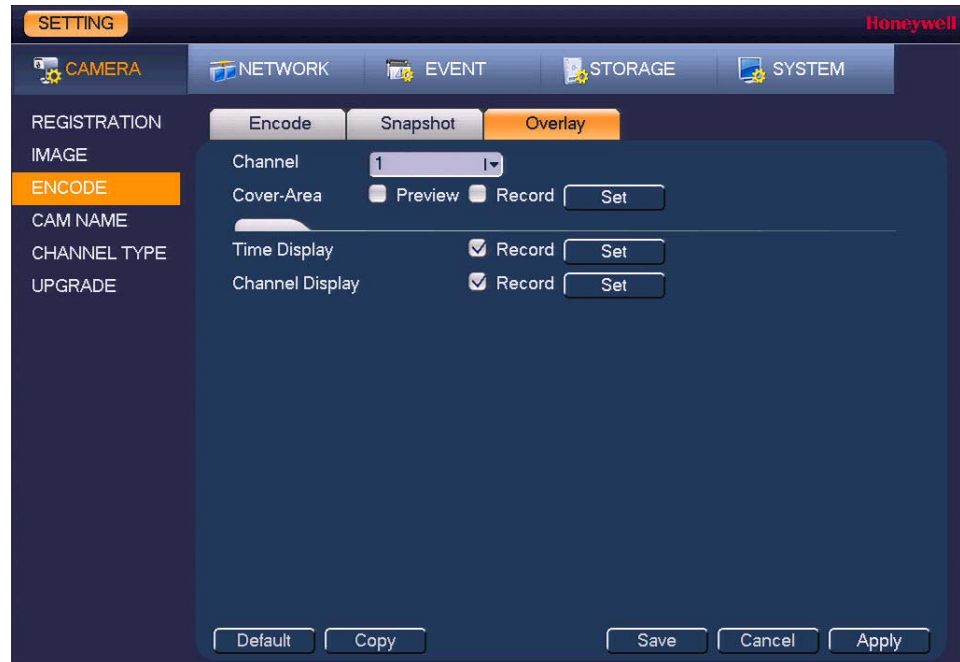


2. **Channel** [チャンネル] ボックスで、設定したいカメラを選択します。
3. **Mode** [モード] を **Timing** [タイミング] か **Trigger** [トリガー] に設定します。
 - **タイミング** スケジュール設定されたスナップショットには、この設定を使用します。
 - **トリガー** モーション、ビデオロス、ビデオタンパリング、またはアラームイベントによってトリガーされたスナップショットには、この設定を使用します。
4. **Image Quality** [画質] を **1** (最低画質) ~ **6** (最高画質) に設定します。
5. **Interval** [間隔] を **1 SPL** (最短) ~ **7 SPL** (最長) に設定します。これは、DVR が各スナップショットの間に待機する時間 (秒) です。
6. **Apply** [適用] をクリックして設定を保存します。
7. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy** [複製] をクリックし、設定をコピーするカメラをクリックして、**OK** をクリックします。

プライバシーマスク設定の構成

カメラのプライバシーマスク設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Encode [エンコード] > Overlay [オーバーレイ] に移動します。

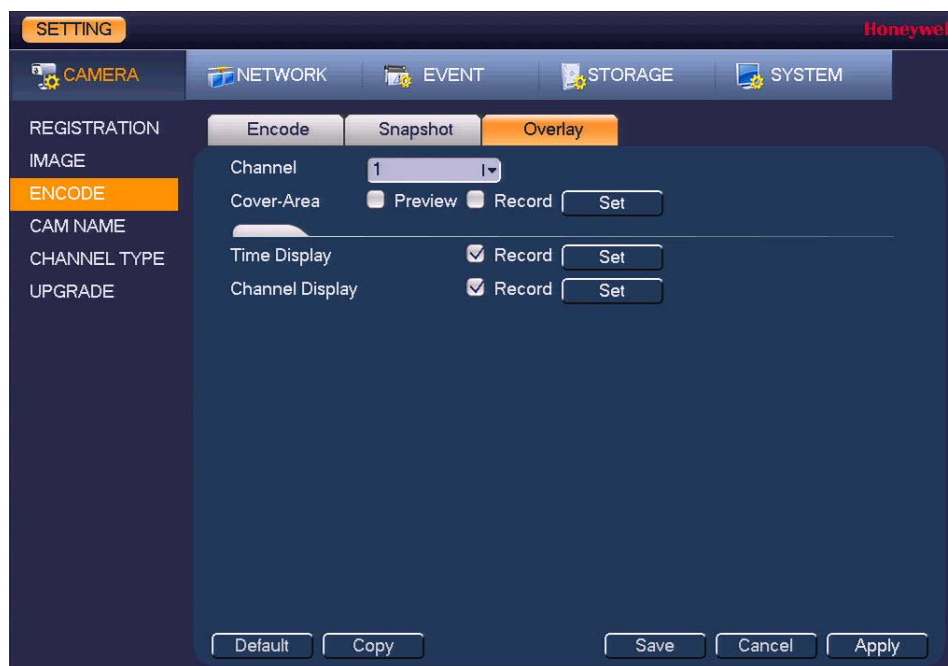


2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、プライバシーマスクを設定したいカメラを選択します。
3. **Cover-Area [カバーエリア]** の横で、以下のオプションのいずれかまたは両方を選択します。
 - **プレビュー** ライブビューモードでプライバシーマスクを適用するには、この設定を使用します。
 - **録画** 録画モードでプライバシーマスクを適用するには、この設定を使用します。
4. 番号の付いたチェックボックスを選択して、適用するプライバシーマスクの数を選択します。1つのプライバシーマスクのみを適用するには、チェックボックスの1つだけを選択します。4つのプライバシーマスクのみを適用するには、チェックボックスをすべて選択します。
5. **Set [設定]** をクリックします。プライバシーマスクが画面に表示されます。
6. プライバシーマスクの位置とサイズを設定します。
 - プライバシーマスクの位置を変更するには、マウスポインタをマスクの中心に置きます。輪郭が緑色に変わり、ポインタが四方矢印に変わったら、マスクを画面上の目的の位置にドラッグします。
 - プライバシーマスクのサイズ/形状を変更するには、マウスポインタをマスクの端または角の上に置きます。輪郭が緑色に変わり、ポインタが二重矢印に変わったら、必要に応じて端または角をドラッグします。
7. 右クリックして前の設定ページに戻り、**Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
8. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定をコピーするカメラをクリックして、**OK** をクリックします。

テキストオーバーレイの構成

カメラのテキストオーバーレイ設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Encode [エンコード] > Overlay [オーバーレイ] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、テキストオーバーレイ設定を構成したいカメラを選択します。
3. 時間および / またはチャンネル表示の設定 :
 - 時間表示を設定するには、**Time Display [時間表示]** の横にある **Record [レコード]** チェックボックスをオンにして **Set [設定]** をクリックします。時間表示を画面上の目的の位置にドラッグし、右クリックして、**Apply [適用]** をクリックします。
 - チャンネル表示を設定するには、**Channel Display [チャンネル表示]** の横にある **Record [レコード]** チェックボックスをオンにして **Set [設定]** をクリックします。チャンネル表示を画面上の目的の位置にドラッグし、右クリックして、**Apply [適用]** をクリックします。
4. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定をコピーするカメラをクリックして、**OK** をクリックします。

カメラ名の変更

カメラ名はデフォルトでは「CAM 1」、「CAM 2」、「CAM 3」などとなっていますが、各カメラには、お客様の必要に応じてわかりやすい固有の名前（「正面入り口」など）を割り当てることができます。

カメラ名を変更するには下記に従ってください。

1. メインメニュー> Setting [設定] > Camera [カメラ] > Cam Name [カメラ名]に移動します。



2. 名前を変更するカメラのテキストボックスをクリックし、新しい名前を入力します。
3. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

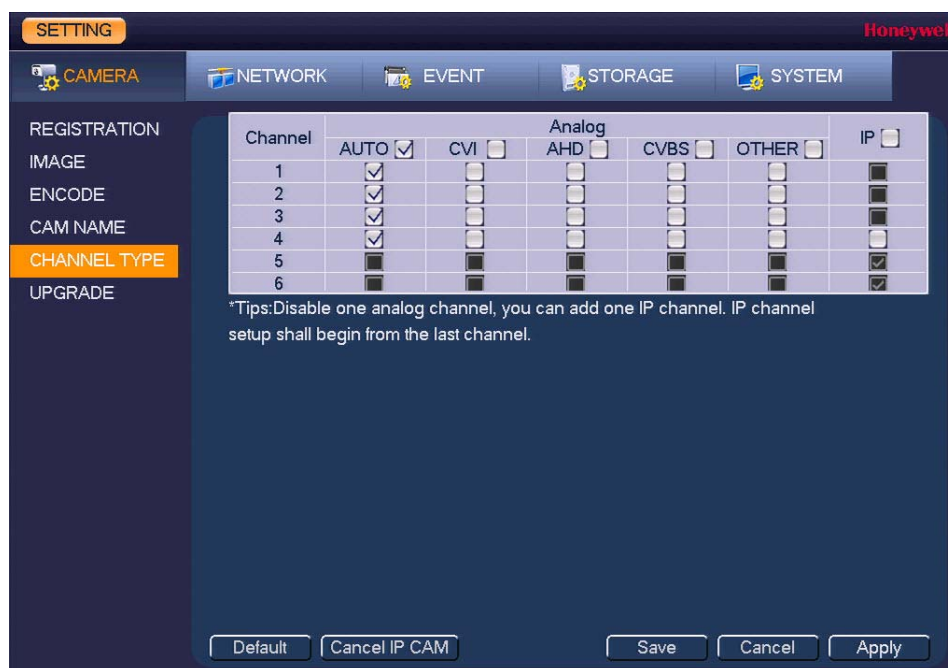
チャンネルタイプの変更

4チャンネル DVR (写真) は、最大 4つのアナログチャンネルと 2つの IP チャンネルをサポートします。8チャンネル DVR は、最大 8つのアナログチャンネルと 4つの IP チャンネルをサポートします。16チャンネル DVR は、最大 16つのアナログチャンネルと 8つの IP チャンネルをサポートします。

チャンネルタイプはデフォルトでは **Auto [自動]** に設定されています。他のアナログオプションは **CVI、AHD、CVBS**、または **Other [その他]** です。IP カメラ用の 2つ以上のチャンネルを指定することもできます。

チャンネルタイプを変更するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Camera [カメラ]** > **Channel Type [チャンネルタイプ]** に移動します。



2. 目的のチャンネルタイプのチェックボックスをオンにします。
3. **Apply [適用]** をクリックしてから **Save [保存]** をクリックして設定を保存します。

IP チャンネルの指定

IP チャンネルは、DVR によって自動で指定することも、手動で指定することもできます。デフォルトの数 (お客様の DVR モデルに応じて、2、4、または 8) より多くの IP チャンネルを追加する場合は、手動でアナログチャンネルを IP チャンネルとして指定できます。

IP チャンネルを自動的に指定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Camera [カメラ]** > **Channel Type [チャンネルタイプ]** に移動します。
2. **Add IP CAM [IP CAM を追加]** をクリックします。
3. DVR の再起動を促すメッセージが表示されます。 **OK** をクリックして続行します。

DVR が再起動すると、新しい IP チャンネルがチャンネルリストに追加されます。4チャンネル DVR では、チャンネル 5 と 6 がデフォルトの IP チャンネルです。8チャンネル DVR では、チャンネル 9 ~ 12 がデフォルトの IP チャンネルです。16チャンネル DVR では、チャンネル 17 ~ 24 がデフォルトの IP チャンネルです。

IP チャンネルを手動で指定するには下記に従ってください。

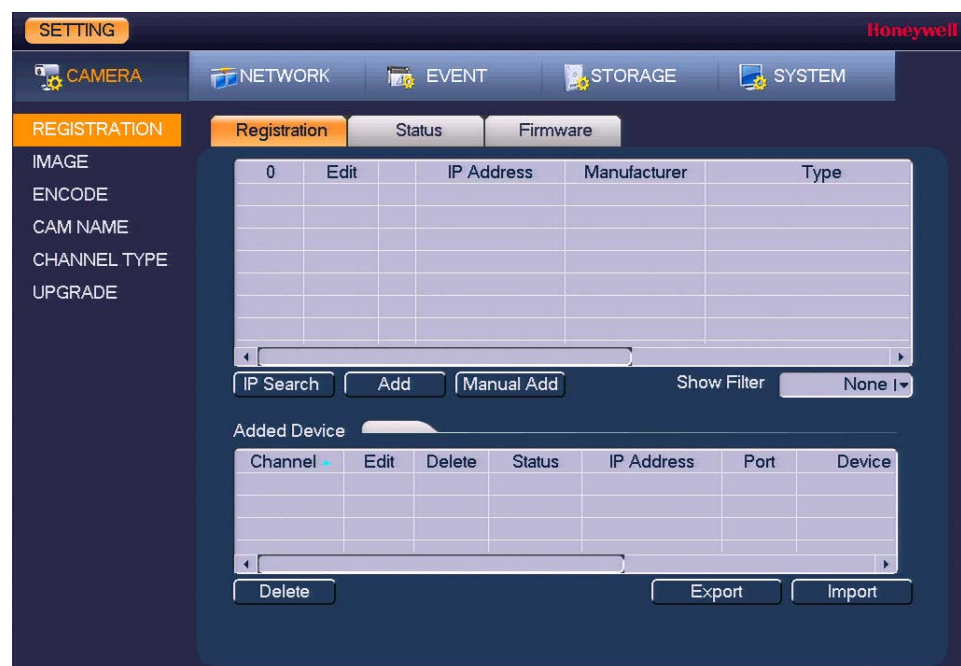
1. メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Channel Type [チャンネルタイプ] に移動します。
2. IP 列の使用可能なボックスの 1 つ以上にチェックを入れるか、IP ボックスにチェックを入れてすべてのチャンネルを IP として指定します。
3. Apply [適用] をクリックします。
4. DVR の再起動を促すメッセージが表示されます。OK をクリックして続行します。
これで、指定したチャンネルに IP カメラを追加する準備が整いました。

IP カメラの追加

Registration [登録] タブが表示される前に、まず IP チャンネルを指定して DVR を再起動する必要があります。IP チャンネルの指定 ページ 64 を参照してください。

IP カメラを DVR に追加するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Registration [登録] に移動します。



2. IP Search [IP 検索] をクリックしてネットワーク上の任意の IP カメラを検出します。検出されたすべてのカメラがトップリストに表示されます。
3. 検出されたカメラを追加するには、カメラを選択して Add [追加] をクリックします。または、必要に応じて Manual Add [手動追加] をクリックして、手動でプロファイルを作成します。カメラが Added Device [追加されたデバイス] リストに追加されます。

注 IP カメラのオフラインアラーム機能を設定する場合 ([IP カメラオフラインアラームの設定](#) ページ 101 参照) は、カメラを手動で追加する必要があります。

追加した IP カメラの設定を編集するには下記に従ってください。

1. **Added Device [追加されたデバイス]** リストで、設定を編集するカメラを選択して **Edit [編集]** をクリックします。
2. 下記の設定が編集できます。
 - **チャンネル** リストからチャンネルを選択します。
 - **メーカー** リストからメーカーを選択します。
 - **IP アドレス** カメラの IP アドレスを入力します。
 - **TCP ポート** カメラの TCP ポートを入力します (オプション)。
 - **User Name [ユーザー名]** ユーザー名を入力します。
 - **Password [パスワード]** カメラの管理者のユーザーパスワードを入力します。
 - **リモートチャンネル** 表示するビデオストリームを選択します。
 - **デコーダバッファ** ドロップダウンリストからデコーダバッファを選択します。 **Default [デフォルト]**、**Realtime [リアルタイム]**、**Fluent [スムーズ]**。
3. **OK** をクリックして設定を保存します。IP カメラの設定を接続された USB ストレージデバイスにエクスポートする場合は **Export [エクスポート]** をクリックします。

以前に保存した IP カメラ設定をインポートするには下記に従ってください。

1. 設定ファイル (RemoteConfig_YYYYMMDDXXXXX.csv) を含む USB ストレージドライブを接続します。
2. **メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Registration [登録]** ページで **Import [インポート]** をクリックします。
3. 構成ファイルを選択し、**OK** をクリックします。

IP カメラを DVR から削除するには下記に従ってください。

- **メインメニュー > Setting [設定] > Camera [カメラ] > Registration [登録]** ページの **Added Device [追加されたデバイス]** リストで、削除したいカメラを選択して **Delete [削除]** をクリックします。

6

ネットワーク設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

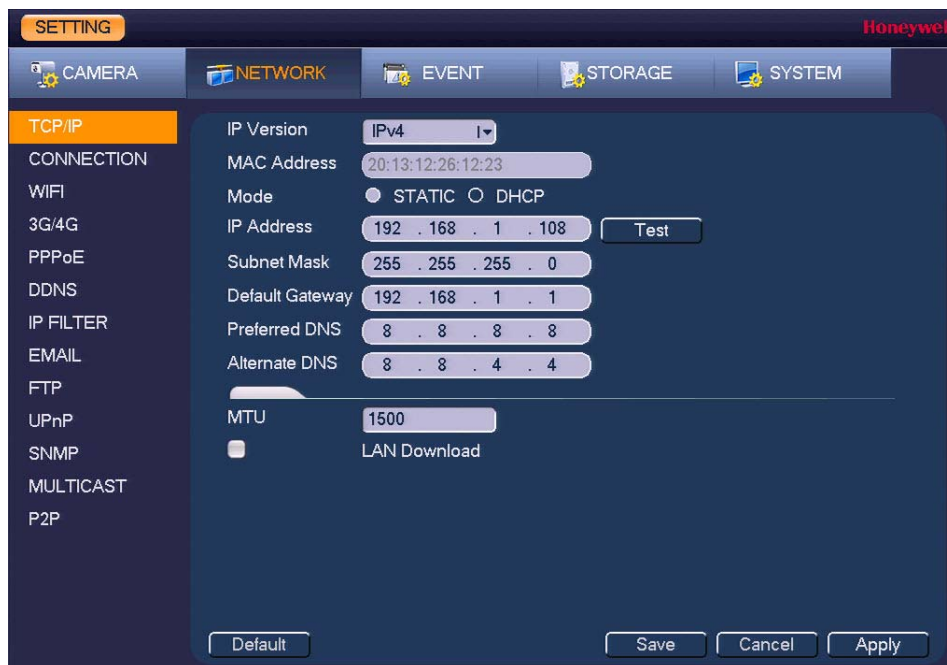
- [TCP/IP 設定の構成、ページ 68](#)
- [ポート設定の構成、ページ 69](#)
- [ワイヤレス接続設定の構成、ページ 70](#)
- [高度なネットワーク設定の構成、ページ 72](#)
- [DVRへの遠隔接続、ページ 80](#)

TCP/IP 設定の構成

TCP/IPページでは、IPプロトコルのバージョンを設定し、静的または動的IPアドレスを設定できます。デフォルトでは、DVRには次の静的IPアドレスが割り当てられています。**192.168.1.108**。ほとんどの場合、動的アドレスに切り替える必要があります。

TCP/IP設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > TCP/IPに移動します。



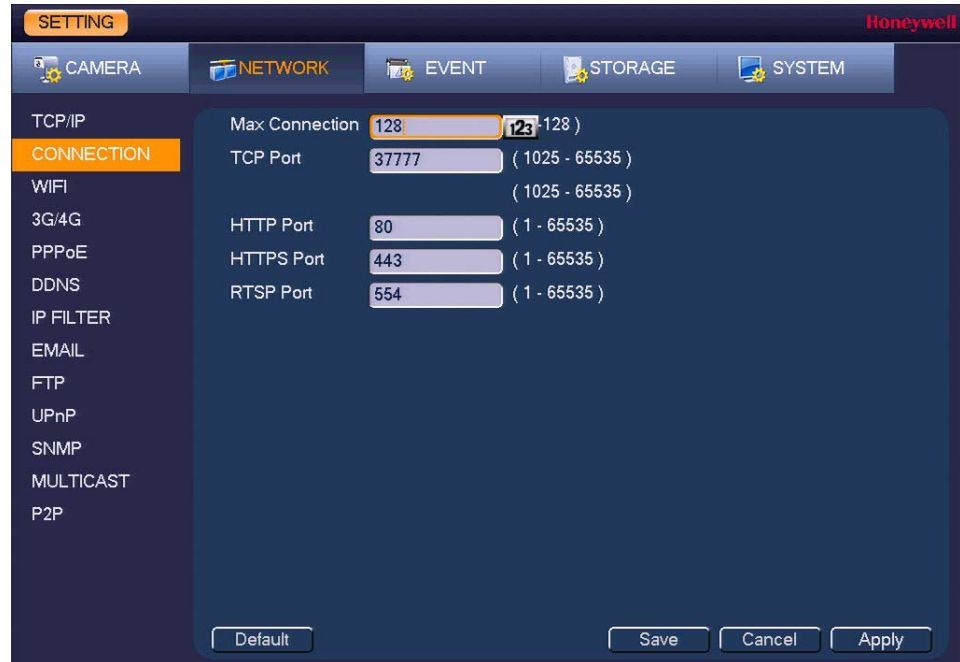
2. **IP Version [IPバージョン]**ボックスで、使用するインターネットプロトコルによってIPv4かIPv6を選択します。
3. デフォルトでは **Mode [モード]**は **Static [静的]**に設定されています。動的IPアドレスを構成するには、**DHCP**を選択し、**Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックします。**Network [ネットワーク]**画面に再び入ります。**IP Address [IPアドレス]**、**Subnet Mask [サブネットマスク]**、及び**Default Gateway [デフォルトゲートウェイ]**フィールドは新しい設定が自動入力されています。**Test [テスト]**をクリックして新しいIPアドレスが機能することを確認めます。
4. **Mode [モード]**が **Static [静的]**に設定されている場合、**IP Address [IPアドレス]**、**Subnet Mask [サブネットマスク]**、及び**Default Gateway [デフォルトゲートウェイ]**の情報は手動で入力できます。**Test [テスト]**をクリックして新しいIPアドレスが機能することを確認めます。
5. 必要に応じて、**Preferred DNS [優先DNS]**及び**Alternate DNS [代替DNS]**アドレスを入力します。
6. デフォルトでは**MTU**の値は**1500**バイトに設定されています。MTU値とは、単一のネットワークパケットが転送できるデータの最大量を意味します。この値は必要に応じて変更することができます。
7. ローカルエリアネットワーク (LAN) を介してダウンロード速度を上げるには、**LAN Download [LANダウンロード]**ボックスにチェックを入れます。データは通常よりも1.5倍から2倍速くダウンロードされます。
8. **Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックして設定を保存します。

ポート設定の構成

Connection [接続] ページでは、同時ユーザーの最大数を設定し、ポート情報を表示及び編集できます。ISPの多くはデフォルトのHTTPポートであるポート80をブロックするので、HTTP接続を介してDVRに遠隔ログインする場合は、それ以外のポート番号（37776など）に変更することができます。

ポート設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー>Setting [設定]>Network [ネットワーク]>Connection [接続]に移動します。



2. 下記の設定が構成できます。
 - **最大接続** 0～128の値を選択します。デフォルト設定は128です。
 - **TCPポート** 1025～65535の値を選択します。デフォルト設定は37777です。
 - **HTTPポート** 0～65535の値を選択します。デフォルト設定は80です。
 - **HTTPSポート** 0～65535の値を選択します。デフォルト設定は443です。
 - **RTSPポート** 0～65535の値を選択します。デフォルト設定は554です。
3. **Apply [適用]** をクリックします。
4. DVRを再起動するように促されます。**OK** をクリックして続行します。DVRが再起動したら、**Connection [接続]** ページに戻り、ポート設定が変更されたことを確認します。

注 ポートの設定が互いに競合していないこと、及びポートが開いていることを確認します。ポートが開いているか閉じているかは、www.canyouseeme.orgで確認できます。ポートが開いていない場合は、ルータでポート転送を設定できます。

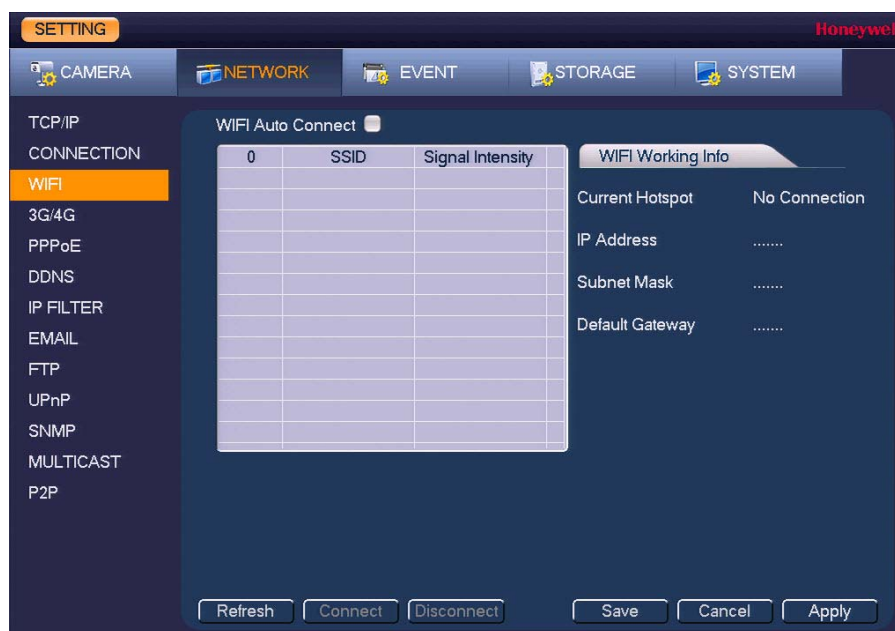
ワイヤレス接続設定の構成

DVRのワイヤレス機能にアクセスするには、ワイヤレスUSBアダプタをDVRのUSBポートの1つに接続する必要があります。テストされたモデルには以下が含まれます。

メーカー	モデル	詳細
HuaWei	E1550	CDMA 3G/4Gモバイルブロードバンドネットワークにアクセスするための3G USBモデム
	EC122	CDMA 3G/4Gモバイルブロードバンドネットワークにアクセスするための3G USBモデム
Zone Bridge	ZBL-RT3070-3	802.11b/g/nワイヤレスネットワークにアクセスするためのWi-Fi USBアダプタ

Wi-Fi接続を管理するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > WiFiに移動します。

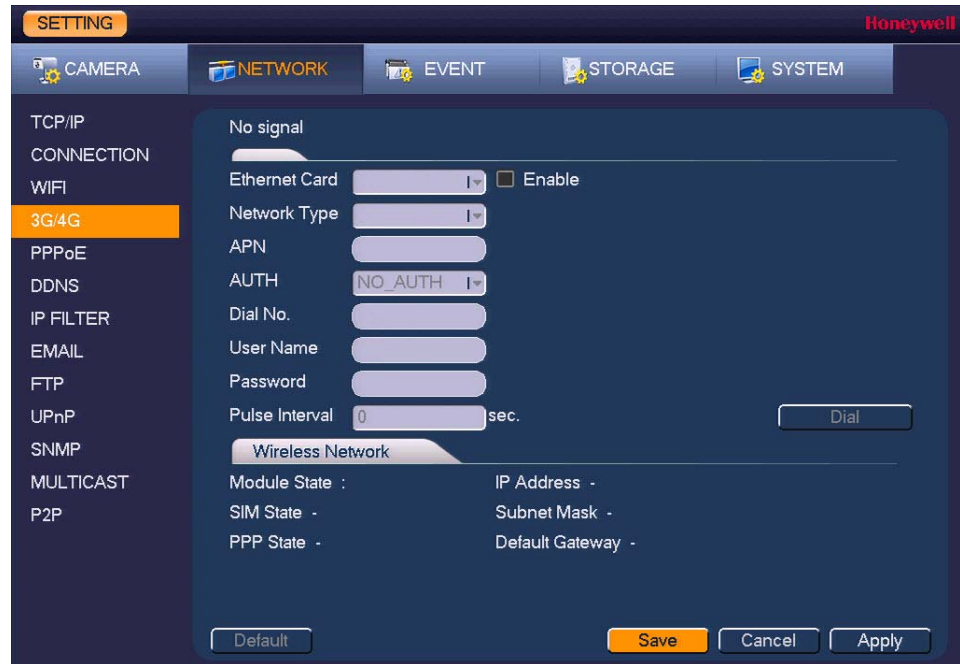


2. Wi-Fiホットスポットへの自動接続を有効にするには、**WIFI Auto Connect [自動接続]** [WIFI自動接続]ボックスにチェックを入れて、**Apply [適用]**をクリックします。Wi-Fiホットスポットへの自動接続を無効にするには、**WIFI Auto Connect [WIFI自動接続]**ボックスのチェックを外し、**Apply [適用]**をクリックします。
3. Wi-Fiホットスポットを検索するには、**Refresh [リフレッシュ]**をクリックします。
4. Wi-Fiホットスポットに手で接続するには、**Connect [接続]**をクリックします。Wi-Fiホットスポットから切断するには、**Disconnect [切断]**をクリックします。
Wi-Fi接続が正常に確立されると、Wi-Fiホットスポットの名前と接続の詳細が**WIFI Working Info [WIFI動作情報]**領域に表示されます。
5. **OK**をクリックして設定を保存します。

注 システムは、WPA及びWPA 2検証タイプをサポートしていません。

3G/4Gワイヤレス接続を設定するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > 3G/4Gに移動します。



2. 下記の設定が構成できます。

- **イーサネットカード** アダプタ名を選択します。
- **Enable [有効化]** 3G/4G接続を有効/無効にするには、このボックスにチェックを入れるか、またはこのボックスのチェックを外します。
- **ネットワークタイプ** 使っている3G/4Gネットワークの種類を選択します (例: WCDMA、CDMA2000)
- **APN** 3G/4Gサービスのアクセスポイント名 (APN) を入力します。この情報は、モバイルブロードバンドサービスプロバイダから入手できます。
- **AUTH** 使用する認証の種類を**PAP**、**CHAP**、または**NO AUTH** (認証タイプなし) から選択します。
- **Dial Number [ダイヤル番号]** 3G/4Gサービスのダイヤル (またはアクセス) 番号を入力します。この情報は、モバイルブロードバンドサービスプロバイダから入手できます。
- **User Name [ユーザー名]**
Password [パスワード] **AUTH** が**PAP**か**CHAP**に設定されている場合、3G/4Gサービスにログインするために必要なユーザー名とパスワードを入力します。この情報は、モバイルブロードバンドサービスプロバイダから入手できます。
- **Pulse Interval [パルス間隔]** セカンダリストリームが閉じられた後に3G/4G接続を継続する時間を秒単位で入力します。パルス間隔が0に設定されている場合、セカンダリストリームが閉じられても3G/4G接続は終了しません。

3. **Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックして設定を保存します。

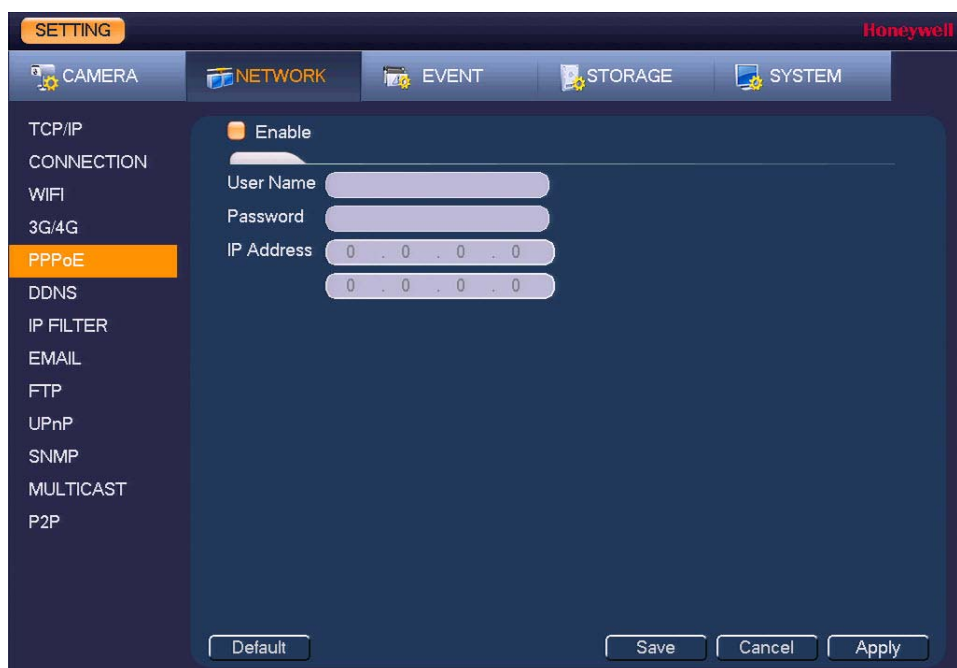
高度なネットワーク設定の構成

この節では、PPPoE、DDNS、IPフィルタ、電子メール、FTP、UPnP、SNMP、及びマルチキャスト設定の構成の仕方について説明します。

PPPoE設定の構成

PPPoE (Point-to-Point Protocol over Ethernet) ネットワーク接続を設定するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > PPPoEに移動します。



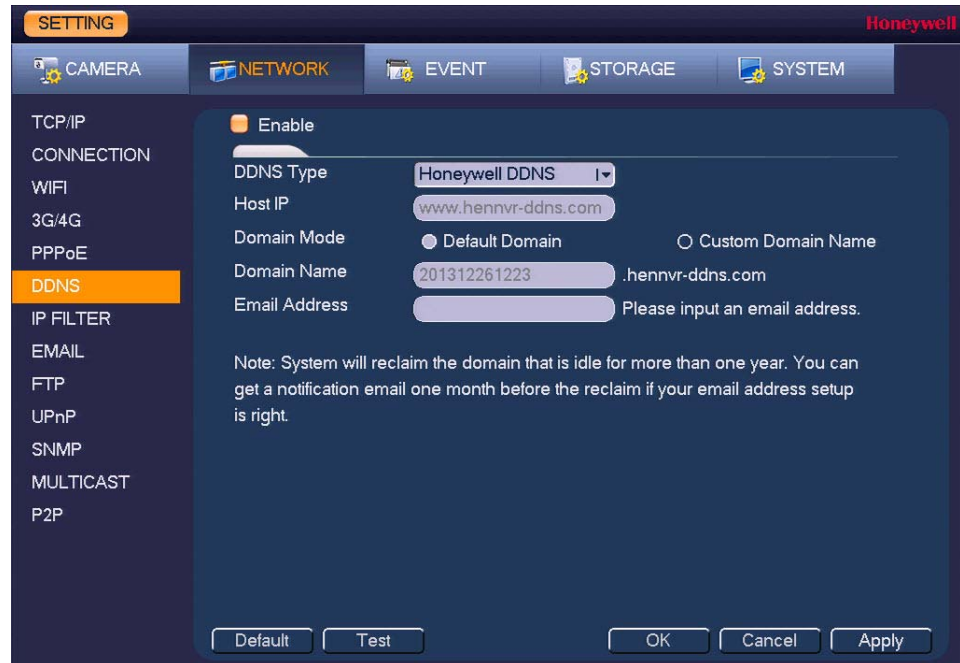
2. PPPoEネットワーク接続を有効化するには、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **User Name [ユーザー名]**ボックスと**Password [パスワード]**ボックスに、PPPoEアクセスのためにインターネットサービスプロバイダから提供されたユーザー名とパスワードを入力します。
4. **Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックして設定を保存します。
5. 新しいネットワーク接続設定を有効にするには、DVRを再起動します。**メインメニュー > Operate [操作] > Shutdown [シャットダウン] > Reboot [リブート]**に移動します。

PPPoEページにDVRの新しいIPアドレスが表示されます。このアドレスは、DVRに遠隔アクセスするときに使用します。

DDNS設定の構成

ダイナミックDNS (DDNS) ネットワーク接続を設定するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > DDNSに移動します。



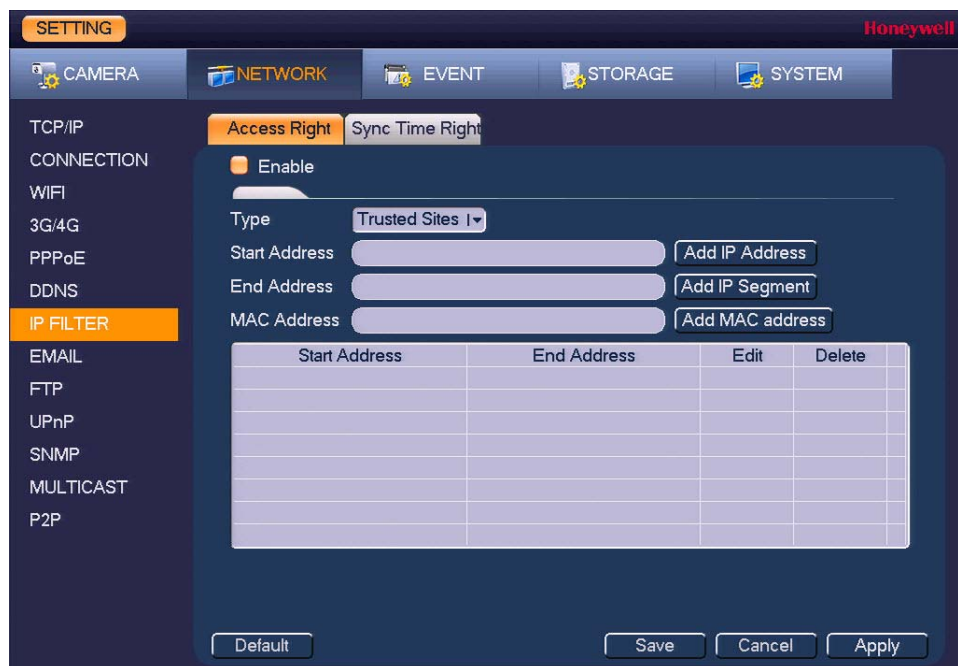
2. DDNSネットワーク接続を有効化するには、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **DDNS Type [DDNSの種類]**ボックスで、使用したいDDNSサービスを選択します。
4. 選択したサービスによっては、以下の詳細を入力する必要があります。
 - **Host IP [ホストIP]** **DDNS Type [DDNSの種類]**が**Private DDNS [プライベートDDNS]**に設定されていない場合、アドレスが自動的に表示されます。その場合は、DDNSサービスプロバイダのサーバのIPアドレスを入力します。
 - **Domain Mode [ドメインモード]** **DDNS Type [DDNSの種類]**が**Honeywell DDNS**に設定されている場合は、**Default Domain [DDNSの種類]**をクリックしてデフォルトドメイン名を使うか、**Custom Domain Name [カスタムドメイン名]**をクリックして独自のドメイン名を作成します。
 - **Domain Name [ドメイン名]** ドメイン名を入力します (デフォルトのドメイン名を使用していない場合)。この情報は、DDNSサービスプロバイダから入手できます。
 - **User Name [ユーザー名]**
Password [パスワード] 該当する場合は、DDNSサービスにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
 - **Email Address [Eメールアドレス]** 未使用のHoneywellDDNSドメイン名は、1年後に失効します。未使用のドメイン名が再利用される前に通知を受け取るには、メールアドレスを入力してください。
5. **Apply [適用]**をクリックし、**OK**をクリックします。
6. 新しいネットワーク接続設定を有効にするには、DVRを再起動します。**メインメニュー > Operate [操作] > Shutdown [シャットダウン] > Reboot [リブート]**に移動します。
7. 設定をテストするには、**DDNS**ページで、**Test**をクリックします。

IPフィルター設定の構成

Access Right [アクセス権] タブでは、DVRにアクセスすることが許可されているか、許可されていないかを示すIPアドレスのリストを作成できます。**Sync Time Right [時刻同期権]** タブでは、DVRとの時刻同期が許可されているサイト（信頼済みサイト）か、許可されていないサイト（ブロックされたサイト）であるかを示すIPアドレスのリストを作成できます。

特定のサイトがDVRにアクセスできるようにするには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > IP Filter [IPフィルタ] に移動します。



2. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れて、その横にある **Trusted Sites [信頼済みサイト]** をクリックします。
3. **Type [種類]** ボックスで **Trusted Sites [信頼済みサイト]** を選択します。
4. 単一のIPアドレスを追加するには、**Start Address [開始アドレス]** ボックスに許可するサイトのIPアドレスを入力し、**Add IP Address [IPアドレスの追加]** をクリックします。IPアドレスの範囲を追加するには、**Start Address [開始アドレス]** に開始アドレスを入力し、**End Address [終了アドレス]** に終了アドレスを入力し、**Add IP Segment [IPセグメントを追加]** をクリックします。IPv4とIPv6の両方のアドレスがサポートされています。
5. IPアドレスをリストに追加したら、**Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

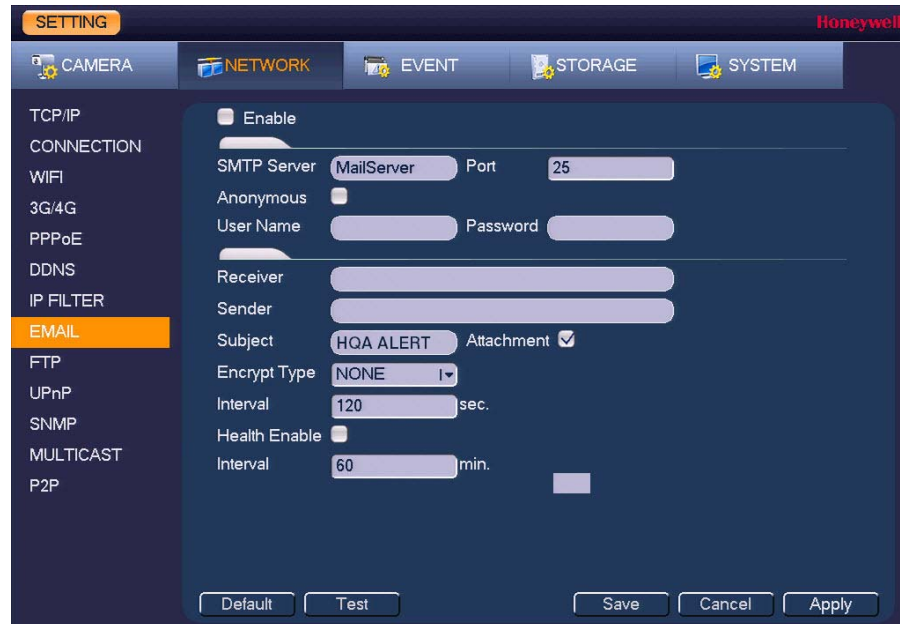
特定のサイトがDVRにアクセスできないようにするには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > IP Filter [IPフィルタ] に移動します。
2. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れて、その横で **Blocked Sites [ブロックするサイト]** をクリックします。
3. **Type [種類]** ボックスで **Blocked Sites [ブロックするサイト]** を選択します。
4. 単一のIPアドレスを追加するには、**Start Address [開始アドレス]** ボックスに許可するサイトのIPアドレスを入力し、**Add IP Address [IPアドレスの追加]** をクリックします。IPアドレスの範囲を追加するには、**Start Address [開始アドレス]** に開始アドレスを入力し、**End Address [終了アドレス]** に終了アドレスを入力し、**Add IP Segment [IPセグメントを追加]** をクリックします。IPv4とIPv6の両方のアドレスがサポートされています。
5. IPアドレスをリストに追加したら、**Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

電子メール設定の構成

電子メール通知を設定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー>Setting [設定]>Network[ネットワーク]>Email[電子メール]に移動します。



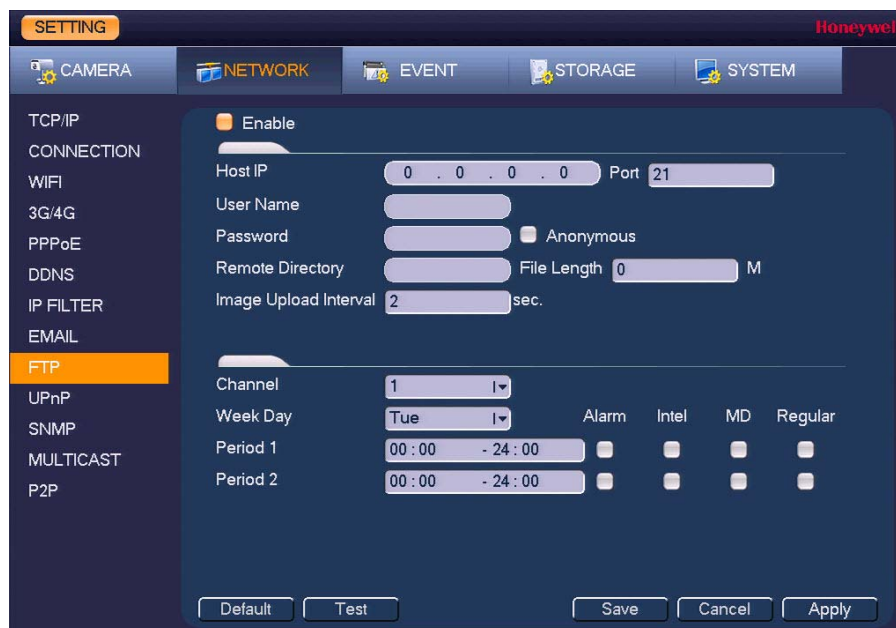
2. 電子メール通知を有効化するには、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. 以下の設定を行います。
 - **SMTP Server [SMTPサーバー]** 送信者の電子メールアカウントのSMTPサーバーアドレスを入力します。
 - **Port [ポート]** SMTPに使用されるデフォルトのポートは25です。
 - **Anonymous [匿名]** ボックスにチェックを入れると、送信される電子メールで送信者アドレスを非表示にします。
 - **User Name [ユーザー名]** 送信者の電子メールアカウントのユーザー名を入力します。
 - **Password [パスワード]** 送信者の電子メールアカウントのパスワードを入力します。
 - **Receiver [受信者]** 通知を送信する電子メールアドレスを入力します。最大3つの電子メールアドレスを入力できます。
 - **Sender [送信者]** 送信者の電子メールアドレスを入力します。
 - **Subject [件名]** 必要に応じて、電子メールの件名を編集します。
 - **Attachment [添付ファイル]** ボックスにチェックを入れると、電子メールでスナップショット添付ファイルを送信できるようになります。
 - **Encrypt Type [暗号化の種類]** 暗号化の種類（None [なし]、SSL、またはTLS）を選択します。
 - **Interval [間隔]** これは電子メールを送信する間隔です。0～3600秒の値を入力します。0は、間隔がないことを意味します。
 - **Health Enable [ヘルス有効]** ヘルスチェックを有効化するにはボックスにチェックを入れます。システムはテスト電子メールを送信して接続を確認します。
 - **Interval [間隔]** イベントが検出された後に電子メール通知を送信するまでにDVRが待機する間隔です。0～1440分の時間を入力します。0は間隔がないことを意味します。
4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。テスト電子メールを送信するには**Test [テスト]**をクリックします。

FTP設定の構成

FTP接続を設定すると、リモートストレージ用のFTPサーバーに一定の間隔で画像をアップロードすることができます。

FTP設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > FTPに移動します。



2. **Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れると、画像をFTPサーバーにアップロードできます。

3. 以下の設定を行います。

- **Host IP [ホストIP]** FTPサーバーアドレスを入力します。
- **Port [ポート]** FTPサーバーポートを入力します。
- **User Name [ユーザー名]** FTPサーバーにログオンするためのユーザー名を入力します。
- **Password [パスワード]** FTPサーバーにログオンするためのパスワードを入力します。
- **Anonymous [匿名]** ボックスにチェックを入れると、FTPサーバーにログオンしたときにユーザー名を非表示にします。
- **Remote Directory [リモートディレクトリ]** リモートディレクトリの名前を入力します。空白のままにすると、DVRは自動的にフォルダ名を作成します。
- **File Length [ファイル長]** FTPサーバーにアップロードされる画像ファイルの最大サイズです。0~65535MBの値を入力します。
- **Image Upload Interval [画像アップロード間隔]** FTPサーバーに画像をアップロードする間隔です。0~3600秒の値を入力します。
- **Channel [チャンネル]** 画像をアップロードする特定のチャンネルを選択するか、または、全てのチャンネルを選択するには**All[全て]**を選択してください。
- **Week Day [曜日]** 画像をアップロードする曜日を選択するか、毎日画像をアップロードするには**All [すべて]**を選択します。
- **Period 1/Period 2 [期間1/期間2]** 画像のアップロードには最大2つの期間を設定できます。それぞれの期間で**Alarm [アラーム]**、**Intel [スマート]**、**Motion [動作]**、または**Regular [通常]**画像を選択します。

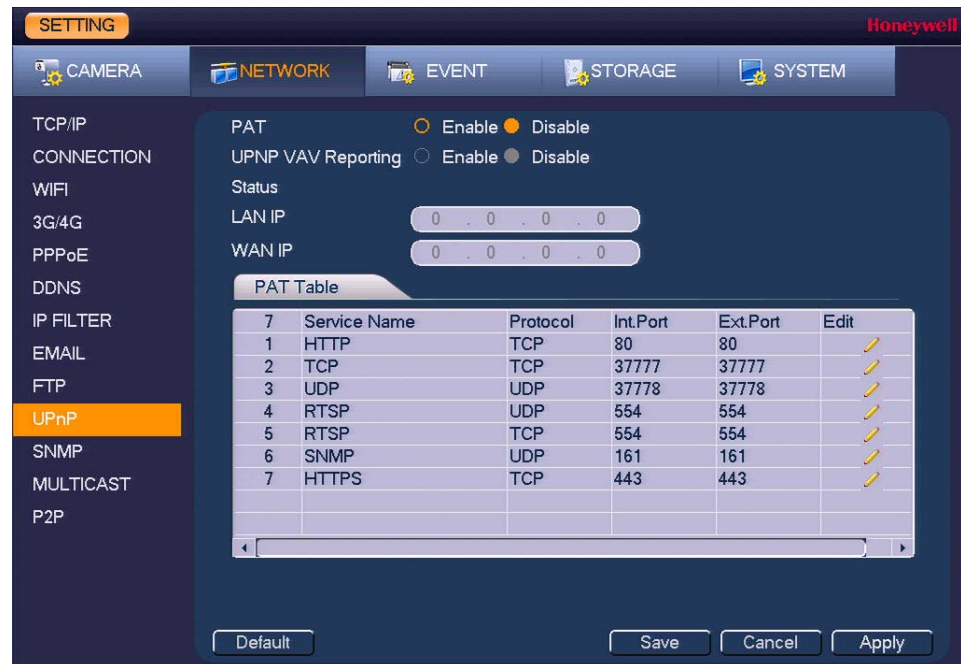
4. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。FTP接続をテストするには、**Test[テスト]**をクリックします。

UPnP設定の構成

UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を使用して、ルータに自動的にポートを転送し、I-View Now™セントラルステーションと通信するようにDVRを設定できます。

UPnP設定を構成するには下記に従ってください。

1. ルータでUPnPポート転送が有効になっていることを確認します。
2. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Network [ネットワーク]** > **UPnP**に移動します。



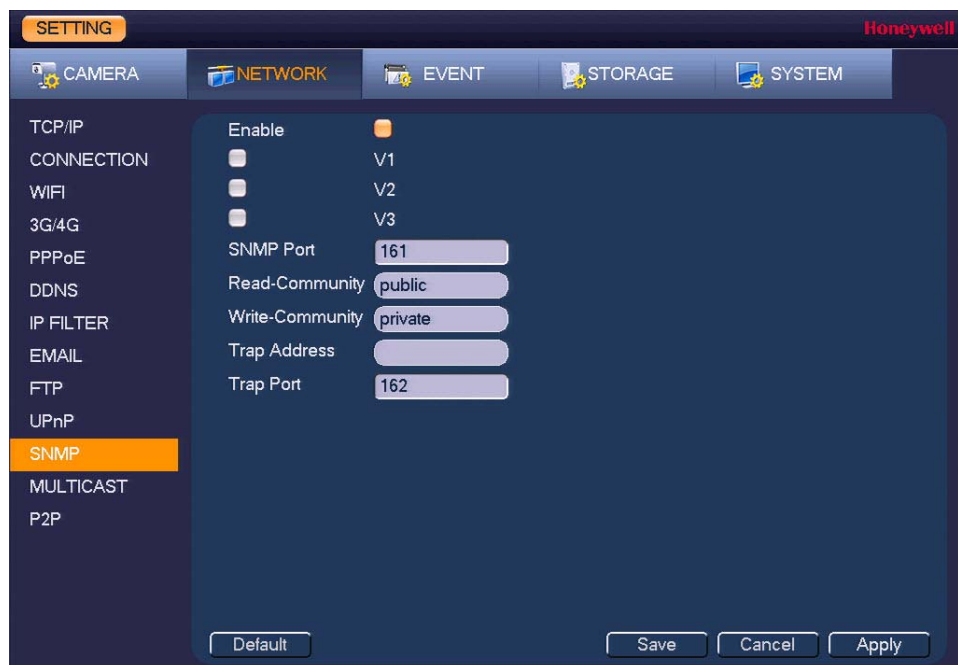
3. **PAT Table [PAT テーブル]** のポート設定がルータおよび DVR のポート設定と一致していることを確認します。内部ポートはルータでマッピングされます。外部ポートは DVR でローカルにマッピングされます（[ポート設定の構成](#) ページ 69 参照）。外部ポート設定を編集するには、ポート名をダブルクリックするか、または をクリックします。
4. UPnPポート転送は、デフォルトで無効になっています。有効にするには、**PAT**を**Enable [有効化]**に設定します。
5. UPnPI-ViewNowレポートは、デフォルトで無効になっています。有効にするには、**UPNP VAV Reporting [UPNP VAVレポート]**を**Enable [有効化]**に設定して、I-View Nowパスワードを入力し、**OK**をクリックします。
6. **TCP/IP**ページのDVR IPアドレスを**LAN IP**フィールドに入力します。
7. ルータIPアドレスを**WAN IP**フィールドに入力します。
8. **Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックして設定を保存します。
9. **Network [ネットワーク]**画面に再び入って、**Status [ステータス]**の横に“Success”（正常）が表示されていることを確認します。これはUPnPが有効であることを示します。

SNMP設定の構成

PCにSNMP (Simple Network Management Protocol) 管理ソフトウェアがインストールされている場合は、SNMP経由でDVRから遠隔的に情報を受信できます。詳細な設定手順については、ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

SNMP設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Network [ネットワーク] > SNMPに移動します。



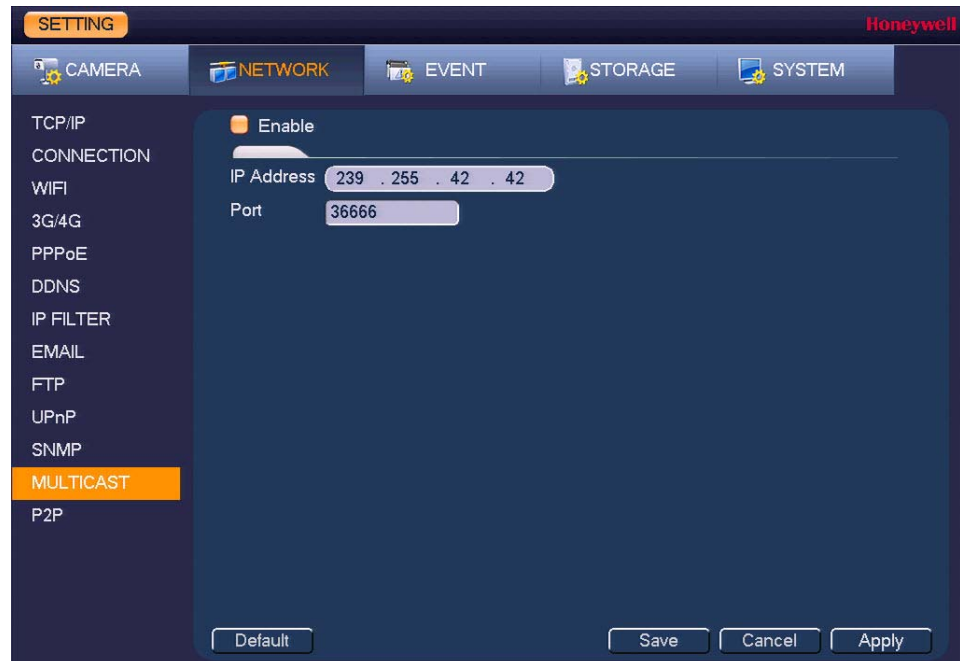
2. SNMPを有効化するには、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. 以下の設定を行います。
 - **V1/V2/V3** 使用するSNMPバージョンのボックスにチェックを入れます。
 - **SNMP Port [SNMPポート]** デフォルト設定は**161**です。SNMPポートとトラップポートは同じにすることはできません。
 - **Read-Community [読み取りコミュニティ]** デフォルト設定は**public[パブリック]**です。
 - **Write-Community [書き込みコミュニティ]** デフォルト設定は**private[プライベート]**です。
 - **Trap Address [トラップアドレス]** SNMPソフトウェアを実行しているコンピュータのIPアドレスを入力します。
 - **Trap Port [トラップポート]** デフォルト設定は**162**です。トラップポートとSNMPポートは同じにすることはできません。
4. **Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックして設定を保存します。

マルチキャスト設定の構成

マルチキャストは、ネットワーク上の複数の遠隔地にあるDVRからのライブビデオの同時リアルタイムモニタリングを可能にします。

マルチキャスト設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Network [ネットワーク]** > **Multicast [マルチキャスト]** に移動します。



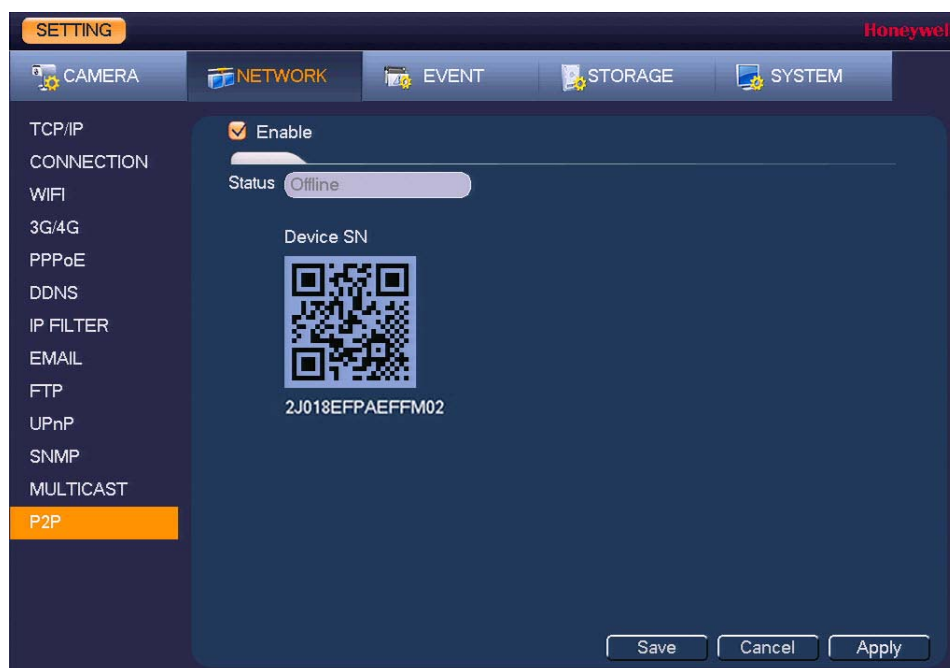
2. マルチキャストを有効化するには、**Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **IP Address [IPアドレス]**ボックスに、マルチキャストIPアドレスを入力します。アドレスはマルチキャストに有効で、IPv4の場合は224.0.0.0～239.255.255.255の範囲内にあるか、または頭にff00::/8がつくアドレスである必要があります。239.252.0.0～239.255.255.255範囲内のアドレスが推奨されます。
4. **Port**ボックスで、使用するマルチキャストポート番号を入力するかデフォルト設定(**36666**)を使用します。
5. **Apply [適用]**をクリックしてから**Save [保存]**をクリックして設定を保存します。




DVRへの遠隔接続

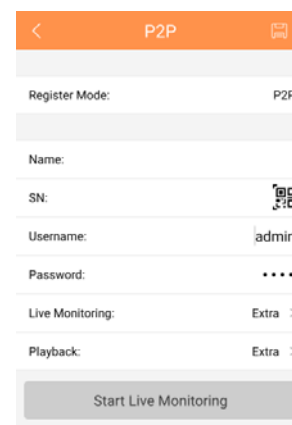
HonView Touchモバイルアプリを使用するとDVRに遠隔接続できます。このアプリのiOS版はAppleのApp Storeで、Android版はGoogle Playで入手できます。

HonView Touchアプリを使ってDVRに遠隔接続するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Network [ネットワーク]** > **TCP/IP**に移動し、**Mode [モード]**が**DHCP**に設定されていることを確認します。（違う場合は、**DHCP**をクリックして**Apply [適用]**をクリックし、**Save [保存]**をクリックします。）
2. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Network [ネットワーク]** > **P2P**に移動します。



3. **Enable [有効化]**ボックスにチェックを入れて**Apply [適用]**をクリックし、**Save [保存]**をクリックします。
4. **Network [ネットワーク]**画面に再び入って、**Status [ステータス]**が**Online [オンライン]**に変わったことを確認します。
5. スマートフォンまたはタブレットデバイスでHonView Touchアプリを開きます。
6.  をタップしてメニューを開きます。
7. **Device Manager [デバイスマネージャ]**をタップしてプラス記号 **+**（または**Add Device [デバイスを追加]**）をタップし、**P2P**をタップします。
8. QRコードシンボル  をアプリの**P2P**画面でタップし、DVRの**P2P**ページでQRコードをスキャンします。QRコードのデバイスシリアル番号 (SN) は、アプリの**SN**フィールドに自動的に入力されます。
9. アプリの**Name [名前]**フィールドにDVRの名前を入力してDVRの管理者**Username [ユーザー名]**と**Password [パスワード]**を入力し、 をタップして設定を保存します。
10. **Start Live Monitoring [ライブモニタリングを開始]**（または**Start Live Preview [ライブプレビューを開始]**）をタップしてDVRからのライブビデオを表示します。



7

ネットワークイベント設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- [モーション検出設定の構成、ページ82](#)
- [ビデオロス設定の構成、ページ87](#)
- [ビデオタンパリング設定の構成、ページ89](#)
- [診断設定の構成、ページ91](#)
- [顔検出設定の構成、ページ93](#)
- [アラームの設定、ページ94](#)
- [システムイベント設定の構成、ページ104](#)
- [アラーム出力設定の構成、ページ108](#)

モーション検出設定の構成

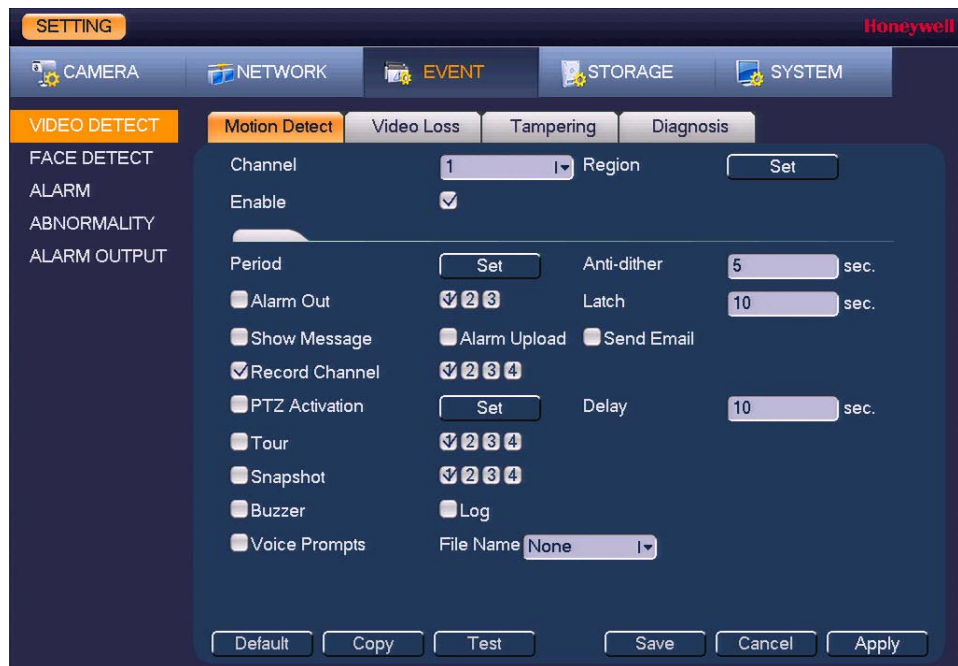
シーンの定義された範囲内のモーションが設定したパラメータを超えた場合にアラーム応答を生成するように DVR を設定できます。

モーション検出の設定には、次の 3 つの部分があります。

- **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール]** ページでのモーション検出スケジュールの設定
- **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Record [録画]** ページでの特定のカメラへのスケジュールの適用
- **Setting [設定] > Event [イベント] > Video Detect [動画の検出] > Motion Detect [モーション検出]** ページでのモーション検出設定の構成

モーション検出を設定するには以下に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting [設定] > Event [イベント] > Video Detect [動画の検出] > Motion Detect [モーション検出]** に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、モーション検出を設定したいチャンネル (カメラ) を選択します。
3. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルのモーション検出を有効化します。

4. **Region [領域]**の横にある **Set [設定]** をクリックしてモーション検出の領域を定義します。ライブビュー画面にグリッドが表示され、以下のダイアログボックスが表示されます。



5. **Region1 [領域 1]** の **Sensitivity [感度]** レベル (0-100) と **Threshold [閾値]** レベル (0-100) を設定します。

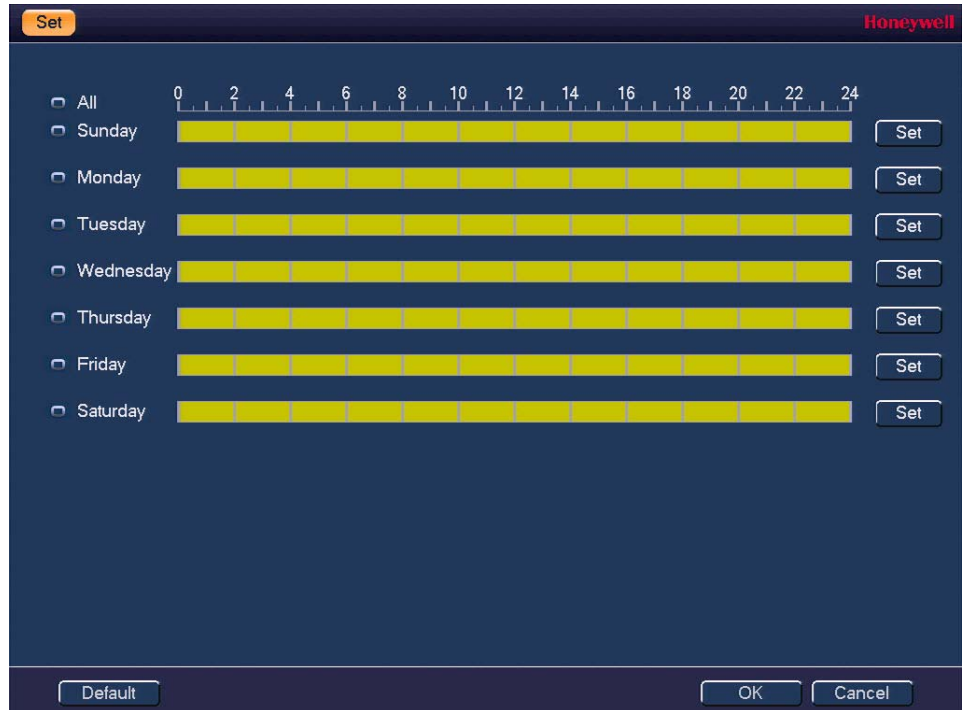
感度とは、フレーム間の画像ピクセルの変化量 (パーセンテージ) を指します。**Sensitivity [感度]** スライダーを左に移動すると、モーション検出の感度が低下し、イベントをトリガーするためにはより多くの動きが必要になります。閾値は、イベントをトリガーするのに必要なモーションの量です。

注 モーション検出を設定する最も良い方法は、誰かがカメラの前を歩いている間に、**感度と閾値**の設定を試すことです。

6. モーション検出 **Region1 [領域 1]** はデフォルトでは、画面全体をカバーします。
- 画像の一部でモーション検出を無効にするには、除外する画像の領域にマウスをドラッグします。赤い枠で囲まれていない領域はモーションに敏感 **ではありません**。
 - 画像の一部の閾値レベルを変更するには、別のモーション検出領域 (**Region2 [領域 2]**、**Region3 [領域 3]** または **Region4 [領域 4]**) を選択し、その領域の **Threshold [閾値]** レベルを設定してマウスをドラッグして領域を定義します。
7. 右クリックすると、**Setting [設定]** メニューに戻ります。
8. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

モーション検出期間を設定するには以下に従ってください。

1. **Period [期間]** の横にある **Motion Detect [モーション検出]** タブで、**Set [設定]** をクリックします。**Set [設定]** ウィンドウが開きます。



2. デフォルトでは、モーション検出は、有効になっているときは常にアクティブになっています。選択したチャンネルのモーション検出が有効になっている期間を変更するには、各一日のタイムラインでモーション検出を **無効**にする 30 分ブロックをクリックします。

3. または、構成する曜日で **Set [設定]** をクリックします。 **Period [期間]** ウィンドウが開きます。

Period

Honeywell

Current Date: Sunday

Period 1 00: 00 - 24: 00

Period 2 00: 00 - 24: 00

Period 3 00: 00 - 24: 00

Period 4 00: 00 - 24: 00

Period 5 00: 00 - 24: 00

Period 6 00: 00 - 24: 00

Copy

All Sunday Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday

OK

- 選択したチャンネルのモーション検出設定をアクティブにしたい場合は、その日に最大6つの期間を設定します。
 - 設定された各期間の横にあるボックスにチェックを入れて有効にします。
 - 追加の日に設定を複製するには、**Copy [複製]** の下にある適切なボックスにチェックを入れます。
 - OK** をクリックして前のウィンドウに戻ります。
4. モーション検出期間の設定が終了したら、**OK** をクリックします。

モーション検出イベントアラームを設定するには以下に従ってください。

1. モーション検出イベントが発生したときに、システムによって開始させたいアラームアクションを選択します。

- **Anti-dither [アンチディザ]** 0 ~ 600 秒の値を入力します。アンチディザが 10 秒に設定されている場合、その期間内に検出されたすべての動作は同じイベントの一部として扱われます。これは、同じイベントによって複数のアラームや電子メール通知などが生成されないようにするためです。アンチディザ期間が終了した後、追加の動作は新しいイベントとして扱われ、新しいアラーム応答が生成されます。
- **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
- **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいモーションの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
- **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
- **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。
- **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
- **録画チャンネル** 録画するチャンネルを選択します。

注 **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール]** でも、モーション検出 (MD) の録画期間を設定する必要があります。[動画の録画スケジュール](#) (ページ 47) を参照してください。

- **PTZ Activation [PTZ 有効化]** ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set [設定]** をクリックします。**PTZ Activation [PTZ 有効化]** ウィンドウが表示されます。

CAM	Mode	Delay	Active
CAM 1	None	0	<input type="checkbox"/>
CAM 2	None	0	<input type="checkbox"/>
CAM 3	None	0	<input type="checkbox"/>
CAM 4	None	0	<input type="checkbox"/>
CAM 5	None	0	<input type="checkbox"/>
CAM 6	None	0	<input type="checkbox"/>

呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

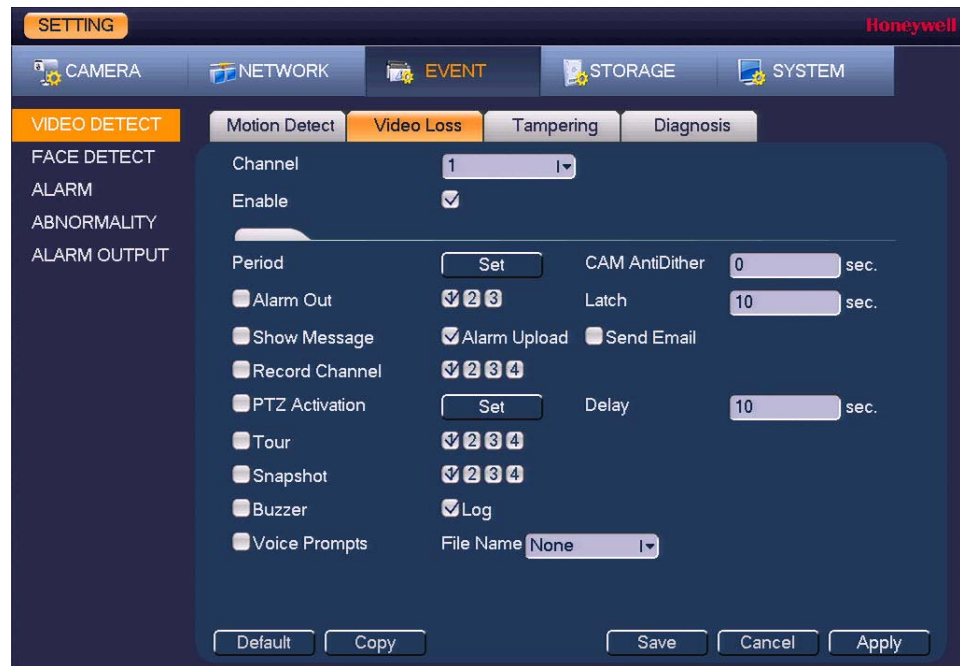
- **Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10-300) を入力します。
 - **Tour [ツアー]** 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
2. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
 3. 設定をテストするには、**Test [テスト]** をクリックします。
 4. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックして、**OK** をクリックします。

ビデオロス設定の構成

カメラからのビデオ信号が失われたときに DVR がアラーム応答を生成するように設定できます。

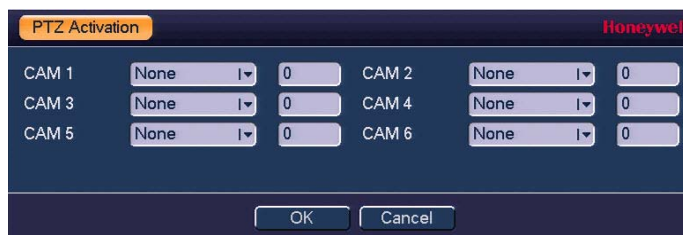
ビデオロス設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Video Detect [動画の検出] > Video Loss [ビデオロス] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、ビデオロス検出を設定したいチャンネル（カメラ）を選択します。
3. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルのビデオロス検出を有効化します。
4. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、ビデオロス検出がアクティブになる期間を設定します。
5. ビデオロス検出イベントが発生したときに、システムによって開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **CAM AntiDither [CAM アンチディザ]** 0 ~ 600 秒の値を入力します。アンチディザが 10 秒に設定されている場合、その期間内に検出されたすべての動作は同じイベントの一部として扱われます。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいモーションの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。

- **Alarm Upload** [アラームアップロード] ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク（アラームセンターやWebクライアントを含む）にアップロードできます。
- **Send Email** [電子メール送信] 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVRは電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ75を参照してください。
- **Record Channel** [録画チャンネル] 録画するチャンネルを選択します。
- **PTZ Activation** [PTZ有効化] ボックスにチェックを入れてPTZ機能を有効にし、**Set** [設定] をクリックします。**PTZ Activation** [PTZ有効化] ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンをPTZカメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

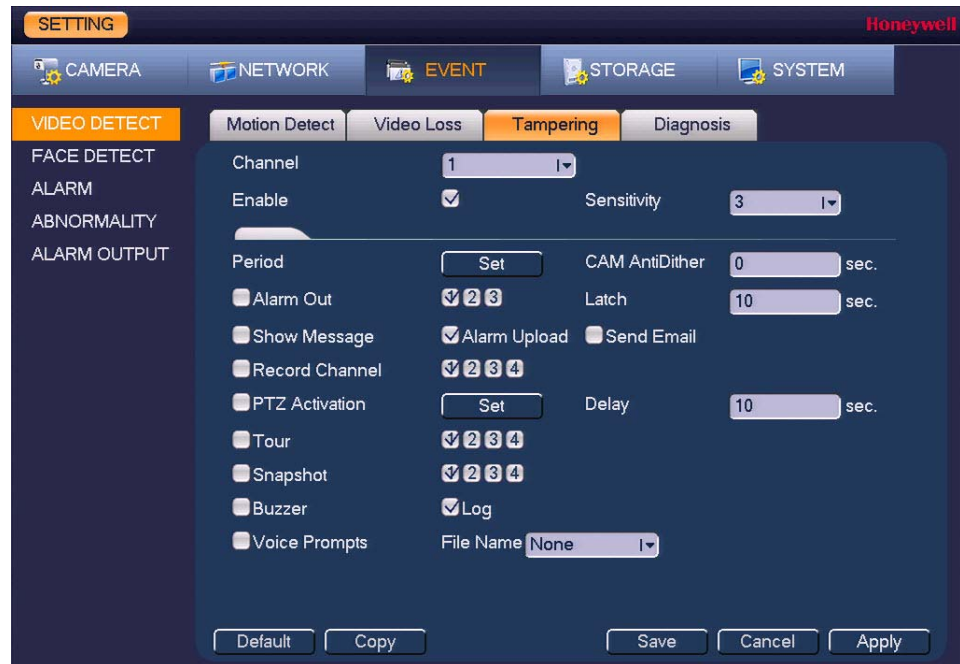
- **Delay** [遅延] イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数（10-300）を入力します。
 - **Tour** [ツアー] 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot** [スナップショット] 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer** [ブザー] DVRのブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log** [ログ] ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts** [音声プロンプト] 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name** [ファイル名] ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
6. **Apply** [適用] をクリックして設定を保存します。
 7. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy** [複製] をクリックし、設定を複製するカメラをクリックして、**OK** をクリックします。

ビデオタンパリング設定の構成

カメラが移動されたり覆われたりする、また急激な照明の変化があった場合に、アラーム応答を生成するように DVR を設定できます。

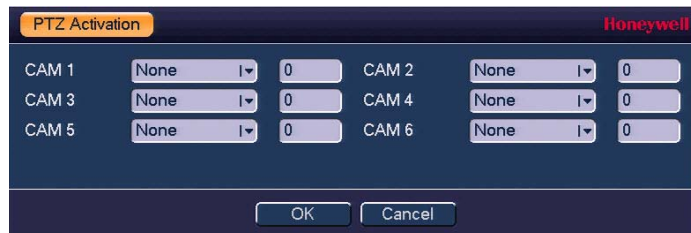
ビデオタンパリング設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Video Detect [動画の検出] > Tampering [タンパリング] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、ビデオタンパリング検出を設定したいチャンネル (カメラ) を選択します。
3. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルのビデオタンパリング検出を有効化します。
4. **Sensitivity [感度]** ボックスで感度レベルを設定します。この設定は主に輝度と関係があります。1 ~ 6 の値を選択します。6 が最高の感度です。デフォルト設定は 3 です。
5. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、ビデオタンパリング検出がアクティブになる期間を設定します。
6. ビデオタンパリング検出イベントが発生したときに、システムを開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **CAM AntiDither [CAM アンチディザ]** 0 ~ 600 秒の値を入力します。アンチディザが 10 秒に設定されている場合、期間内のビデオタンパリングインシデントはすべて同じイベントの一部として扱われます。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいタンパリングの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。

- **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
- **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。
- **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
- **Record Channel [録画チャンネル]** 録画するチャンネルを選択します。
- **PTZ Activation [PTZ 有効化]** ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set [設定]** をクリックします。**PTZ Activation [PTZ 有効化]** ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

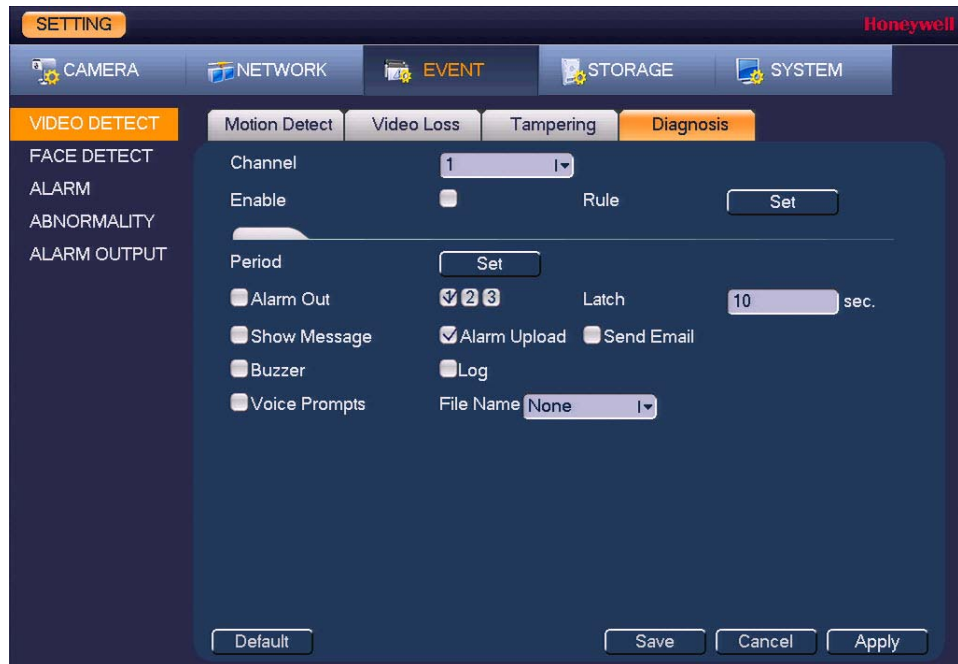
- **Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10-300) を入力します。
 - **Tour [ツアー]** 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
7. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
 8. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

診断設定の構成

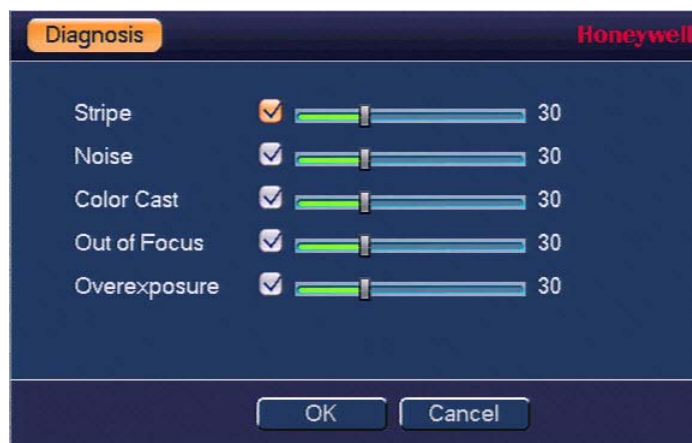
動画がぼやけたり、露出が過剰になったり、色が変わったりしたときに DVR がアラーム応答を生成するように設定できます。

診断設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Video Detect [動画の検出] > Diagnosis [診断] に移動します。



2. Channel [チャンネル] ボックスで、診断を設定したいチャンネル (カメラ) を選択します。
3. Enable [有効化] ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルの診断機能を有効化します。
4. Rule [ルール] の横の Set [設定] をクリックします。Diagnosis [診断] ウィンドウが開きます。



5. 以下の設定を行います。
 - **Stripe [ストライプ]** 動画の縦縞、横縞、または斜めの縞（電子的な干渉やデバイスの寿命のため）に対する DVR の感度を設定します。
 - **Noise [ノイズ]** ぼやけた映像や光の歪みなどのビデオノイズに対する DVR の感度を設定します。
 - **Color Cast [カラーキャスト]** 通常の RGB 表示のバリエーションに対する DVR の感度を設定します。
 - **Out of Focus [焦点ずれ]** ぼやけた映像や光の歪みなどの焦点の問題に対する DVR の感度を設定します。
 - **Overexposure [露出オーバー]** 動画の輝度に対する DVR の感度を設定します。画像全体の輝度が定義された閾値を超えると、画像は露出オーバーになります。
6. **OK** をクリックして前のウィンドウに戻ります。
7. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、診断機能がアクティブになる期間を設定します。
8. 診断イベントが発生したときに、システムに開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しい診断の検出を遅らせる秒数（0 ~ 300）を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
 - **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク（アラームセンターや Web クライアントを含む）にアップロードできます。
 - **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
9. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
10. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

顔検出設定の構成

人の顔を認識し、顔が検出されたときにアラーム応答を生成するように DVR を設定できます。

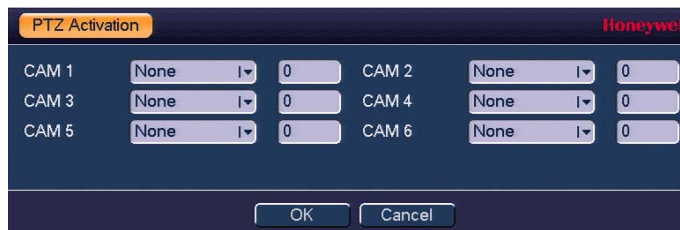
顔検出設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Face Detect [顔検出] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、顔検出を設定したいチャンネル（カメラ）を選択します。
3. **Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れて選択されたチャンネルの顔検出を有効化します。
4. **Target Filter [ターゲットフィルター]** の横の **Set [設定]** をクリックして顔検出領域を設定します。マウスを使用して、**Max Size [最大サイズ]** フレームと **Min Size [最小サイズ]** フレームを移動してサイズを変更します。
5. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、顔検出がアクティブになる期間を設定します。
6. 顔検出イベントが発生したときに、システムを開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しい顔検出を遅らせる秒数（0～300）を入力します。
 - **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。
[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。

- Record Channel [録画チャンネル]** 録画するチャンネルを選択します。
注 Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール] でも、Intel [スマート] の録画期間を設定する必要があります。動画の録画スケジュール (ページ 47) を参照してください。
- PTZ Activation [PTZ 有効化]** ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、Set [設定] をクリックします。PTZ Activation [PTZ 有効化] ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、OK をクリックします。

- Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10 ~ 300) を入力します。
 - Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、File Name [ファイル名] ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
- Apply [適用] をクリックして設定を保存します。
 - 設定を追加のカメラに複製するには、Copy [複製] をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、OK をクリックします。

アラームの設定

アラーム設定の構成を行う前に、アラームの入出力 (ライト、サイレンなど) を DVR に接続していることを確認してください。

Alarm [アラーム] 領域では 5 種類のアラームを設定できます。

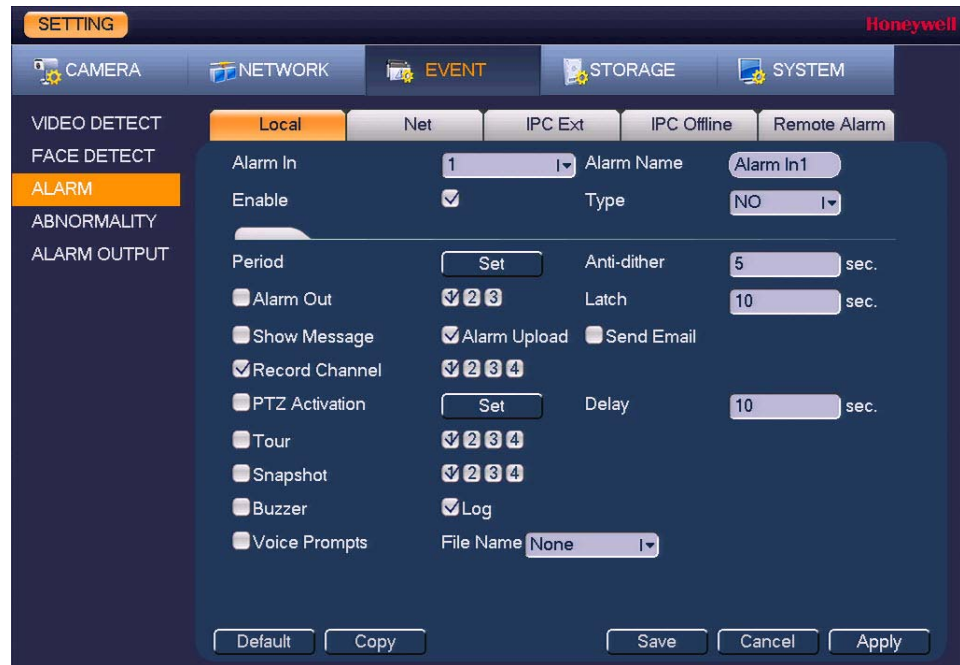
- ローカルアラーム (ローカルアラームの設定 ページ 95 参照)
- ネットワークアラーム (ネットワークアラームの設定 ページ 97 参照)
- IP カメラ外部アラーム (IP カメラ外部アラームの設定 ページ 99 参照)
- IP カメラオフラインアラーム (IP カメラオフラインアラームの設定 ページ 101 参照)
- リモートアラーム (リモートアラームの設定 ページ 103 参照)

ローカルアラームの設定

ローカルアラーム信号が受信されたときに DVR がアラーム応答を生成するように設定できます。

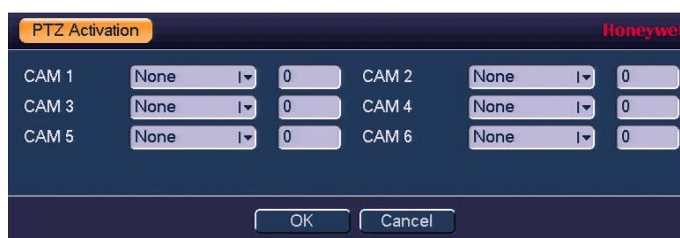
ローカルアラームの設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting [設定]** > **Event [イベント]** > **Alarm [アラーム]** > **Local [ローカル]** に移動します。



2. **Alarm In [アラーム入力]** ボックスで、設定したいローカルアラームを選択します。
3. アラームの名前を変更する場合は、**Alarm Name [アラーム名]** ボックスに新しい名前を入力します。
4. ローカルアラーム機能を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
5. **Type [種類]** ボックスでアラーム入力の種類を選択します。選択肢は **NO** (ノーマルオープン) **NC** (ノーマルクローズ) です。
6. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、ローカルアラームがアクティブになる期間を設定します。
7. ローカルアラームイベントが発生したときに、システムに開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Anti-dither [アンチディザ]** **0 ~ 600** 秒の値を入力します。アンチディザが 10 秒に設定されている場合、期間内にトリガーされたローカルアラームはすべて同じイベントの一部として扱われます。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいローカルアラームの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。

- **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク（アラームセンターやWebクライアントを含む）にアップロードできます。
- **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVRは電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ75を参照してください。
- **Record Channel [録画チャンネル]** 録画するチャンネルを選択します。
注 **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール]** でも、**Alarm [アラーム]** の録画期間を設定する必要があります。[動画の録画スケジュール](#)（ページ47）を参照してください。
- **PTZ Activation [PTZ有効化]** ボックスにチェックを入れてPTZ機能を有効にし、**Set [設定]** をクリックします。**PTZ Activation [PTZ有効化]** ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンをPTZカメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

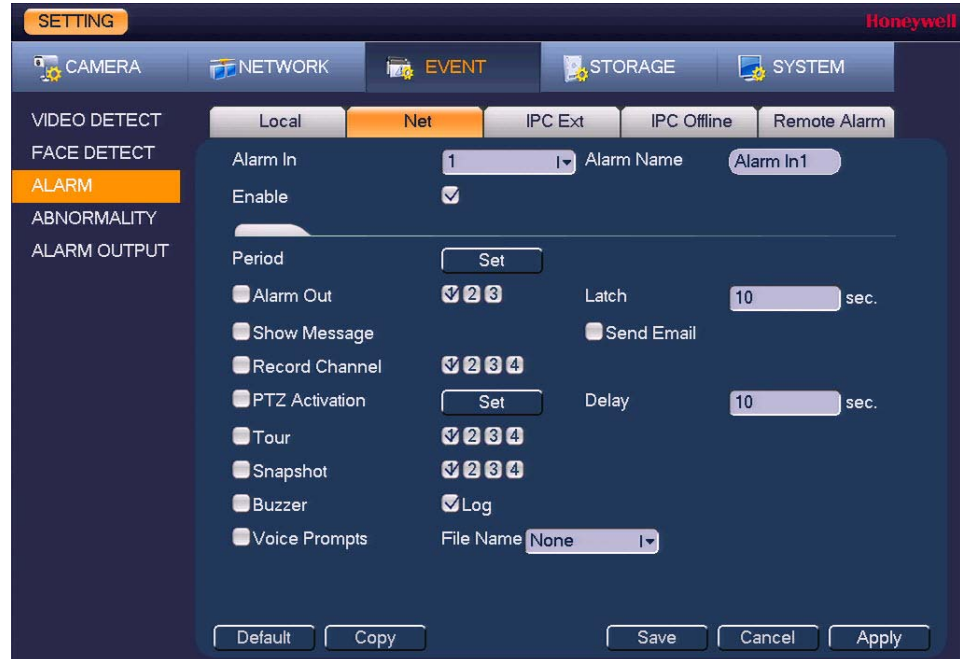
- **Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数（10～300）を入力します。
 - **Tour [ツアー]** 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVRのブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
8. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
 9. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

ネットワークアラームの設定

ネットワークアラーム信号が受信されたときに DVR がアラーム応答を生成するように設定できます。

ネットワークアラームの設定を構成するには下記に従ってください。

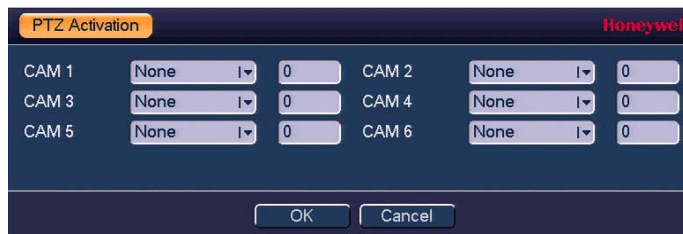
1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Alarm [アラーム] > Net [ネット] に移動します。



2. **Alarm In [アラーム入力]** ボックスで、設定したいネットワークアラームを選択します。
3. アラームの名前を変更する場合は、**Alarm Name [アラーム名]** ボックスに新しい名前を入力します。
4. ネットワークアラーム機能を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
5. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、ネットワークアラームがアクティブになる期間を設定します。
6. ネットワークアラームイベントが発生したときに、システムに開始させたいアラームアクションを選択します。

- **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
- **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいネットワークアラームの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
- **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
- **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。
[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。

- **Record Channel** [録画チャンネル]
録画するチャンネルを選択します。
 - **PTZ Activation** [PTZ 有効化]
ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set** [設定] をクリックします。**PTZ Activation** [PTZ 有効化] ウィンドウが表示されます。
- 注** **Setting** [設定] > **Storage** [ストレージ] > **Schedule** [スケジュール] でも、**Alarm** [アラーム] の録画期間を設定する必要があります。**動画の録画スケジュール** (ページ 47) を参照してください。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

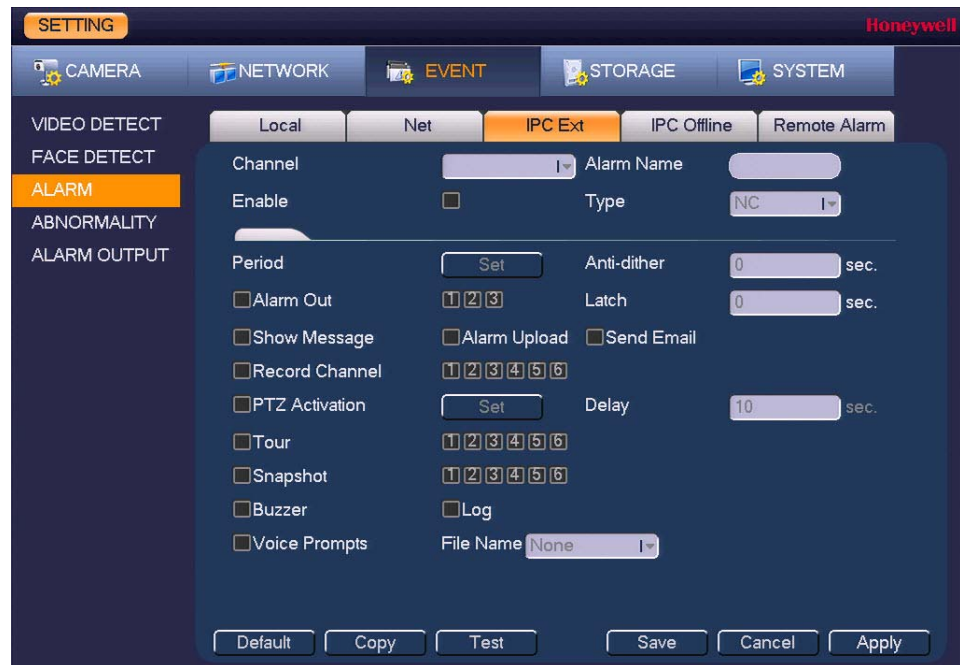
- **Delay** [遅延] イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10 ~ 300) を入力します。
 - **Tour** [ツアー] 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot** [スナップショット] 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer** [ブザー] DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log** [ログ] ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts** [音声プロンプト] 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name** [ファイル名] ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
7. **Apply** [適用] をクリックして設定を保存します。
 8. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy** [複製] をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

IP カメラ外部アラームの設定

接続された IP カメラにアラームが装備されている場合は、カメラの外部アラームからアラーム信号を受信したときにアラーム応答を生成するように DVR を設定できます。

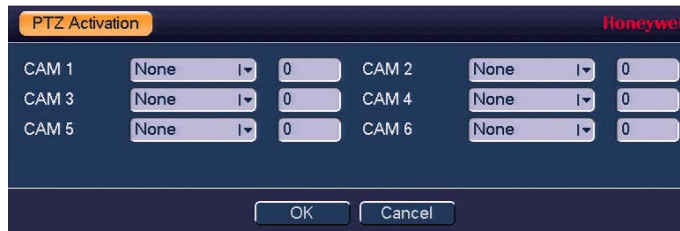
IP カメラ外部アラームを設定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Alarm [アラーム] > IPC Ext [IP カメラ外部] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、外部アラームを設定したいチャンネル (カメラ) を選択します。
3. アラームの名前を変更する場合は、**Alarm Name [アラーム名]** ボックスに新しい名前を入力します。
4. 外部アラーム機能を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
5. **Type [種類]** ボックスでアラーム入力の種類を選択します。選択肢は **NO** (ノーマルオープン) **NC** (ノーマルクローズ) です。
6. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、外部アラームがアクティブになる期間を設定します。
7. 外部アラームイベントが発生したときに、システムに開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Anti-dither [アンチディザージャー]** 0 ~ 600 秒の値を入力します。アンチディザージャーが 10 秒に設定されている場合、期間内にトリガーされた外部アラームはすべて同じイベントの一部として扱われます。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しい外部アラームの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。

- **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
- **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。
- **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
- **Record Channel [録画チャンネル]** 録画するチャンネルを選択します。
注 **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール]** でも、**Alarm [アラーム]** の録画期間を設定する必要があります。[動画の録画スケジュール](#) (ページ 47) を参照してください。
- **PTZ Activation [PTZ 有効化]** ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set [設定]** をクリックします。**PTZ Activation [PTZ 有効化]** ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

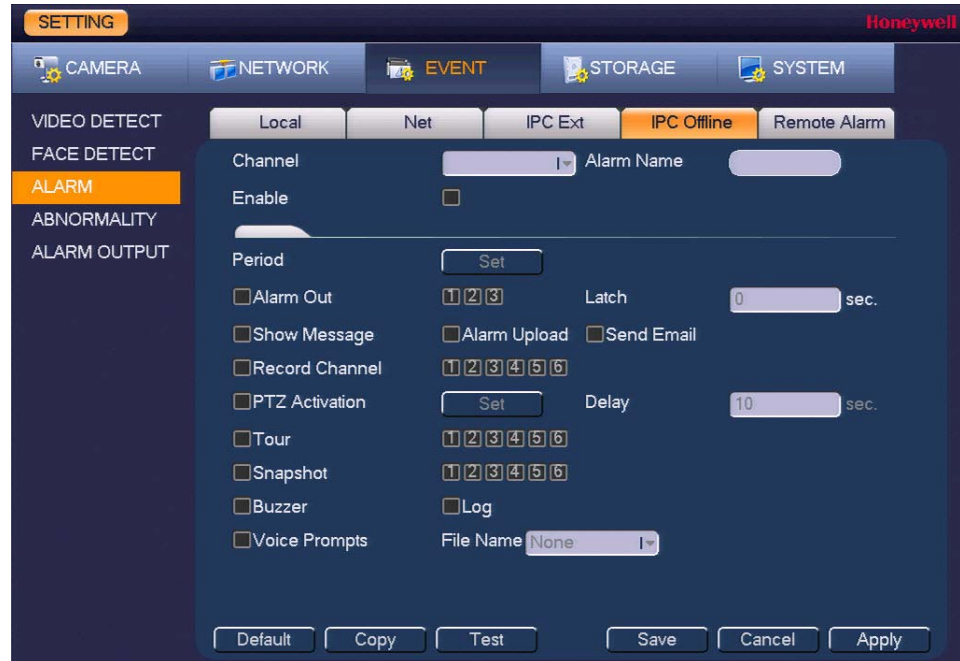
- **Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10 ~ 300) を入力します。
 - **Tour [ツアー]** 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
8. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
 9. 設定をテストするには、**Test [テスト]** をクリックします。
 10. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

IP カメラオフラインアラームの設定

オフラインアラーム信号が受信されたときに DVR がアラーム応答を生成するように設定できます。

オフラインアラームの設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Alarm [アラーム] > Offline [オフライン] に移動します。



2. **Channel [チャンネル]** ボックスで、オフラインアラームを設定したいチャンネル (カメラ) を選択します。
3. アラームの名前を変更する場合は、**Alarm Name [アラーム名]** ボックスに新しい名前を入力します。
4. オフラインアラーム機能を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
5. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、オフラインアラームがアクティブになる期間を設定します。
6. オフラインアラームイベントが発生したときに、システムに開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいオフラインアラームの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
 - **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。

- **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
- **Record Channel [録画チャンネル]** 録画するチャンネルを選択します。
注 **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール]** でも、**Alarm [アラーム]** の録画期間を設定する必要があります。[動画の録画スケジュール](#) (ページ 47) を参照してください。
- **PTZ Activation [PTZ 有効化]** ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set [設定]** をクリックします。**PTZ Activation [PTZ 有効化]** ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

- **Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10 ~ 300) を入力します。
 - **Tour [ツアー]** 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
7. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
 8. 設定をテストするには、**Test [テスト]** をクリックします。
 9. 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

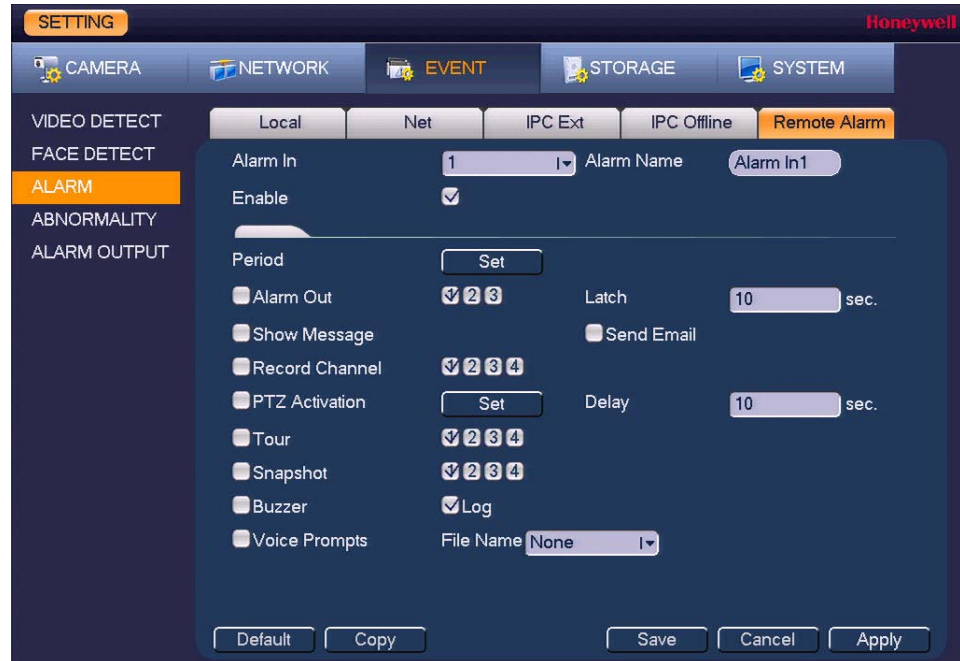
注 オフラインアラーム機能を使用するには、手動で IP カメラを追加する必要があります。場合によっては。[IP カメラの追加](#) ページ 65 を参照してください。

リモートアラームの設定

I-View Now 動画検証ソフトウェアが問題を検出したときにアラーム応答を生成するように DVR を設定できます。

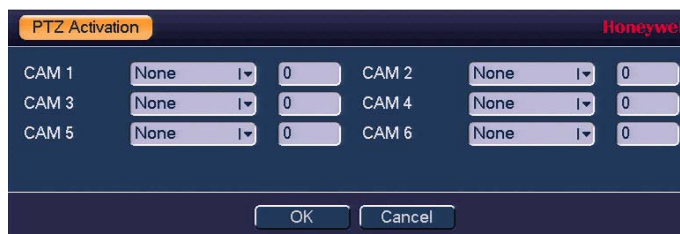
リモートアラームの設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Alarm [アラーム] > Remote Alarm [リモートアラーム] に移動します。



2. **Alarm In [アラーム入力]** ボックスで、設定したいリモートアラームを選択します。
3. アラームの名前を変更する場合は、**Alarm Name [アラーム名]** ボックスに新しい名前を入力します。
4. リモートアラーム機能を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
5. **Period [期間]** の横にある **Set [設定]** をクリックして、リモートアラームがアクティブになる期間を設定します。
6. リモートアラームイベントが発生したときに、システムに開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいリモートアラームの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
 - **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。

- Record Channel [録画チャンネル]** 録画するチャンネルを選択します。
注 **Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール]**でも、**Alarm [アラーム]**の録画期間を設定する必要があります。**動画の録画スケジュール** (ページ 47) を参照してください。
- PTZ Activation [PTZ 有効化]** ボックスにチェックを入れて PTZ 機能を有効にし、**Set [設定]** をクリックします。**PTZ Activation [PTZ 有効化]** ウィンドウが表示されます。



呼び出すプリセット、ツアー、またはパターンを PTZ カメラごとに選択し、**OK** をクリックします。

- Delay [遅延]** イベントが終了した後、システムが録画を続行する秒数 (10 ~ 300) を入力します。
 - Tour [ツアー]** 選択されたチャンネルのツアーを始めるにはボックスにチェックを入れます。
 - Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
- Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。
 - 設定を追加のカメラに複製するには、**Copy [複製]** をクリックし、設定を複製するカメラをクリックし、**OK** をクリックします。

システムイベント設定の構成

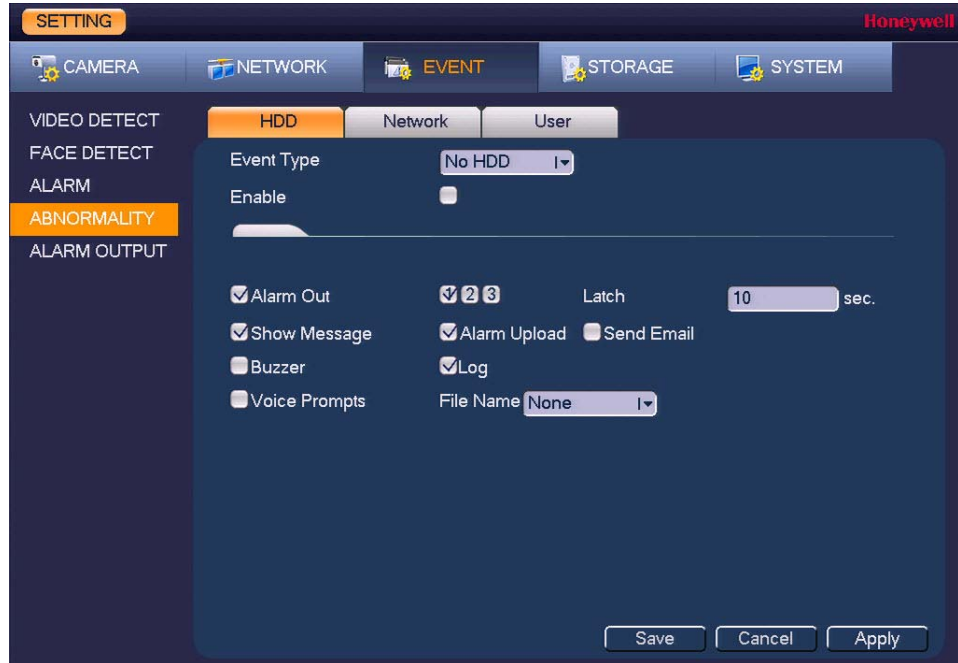
Abnormality [異常] 領域では 3 種類のシステムイベントを設定できます。

- HDD エラー ([HDD イベント設定の構成](#) ページ 105)
- ネットワークエラー ([ネットワークイベント設定の構成](#) ページ 106)
- ユーザーエラー ([ユーザーイベント設定の構成](#) ページ 107)

HDD イベント設定の構成

HDD イベント設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Abnormality [異常] > HDD に移動します。

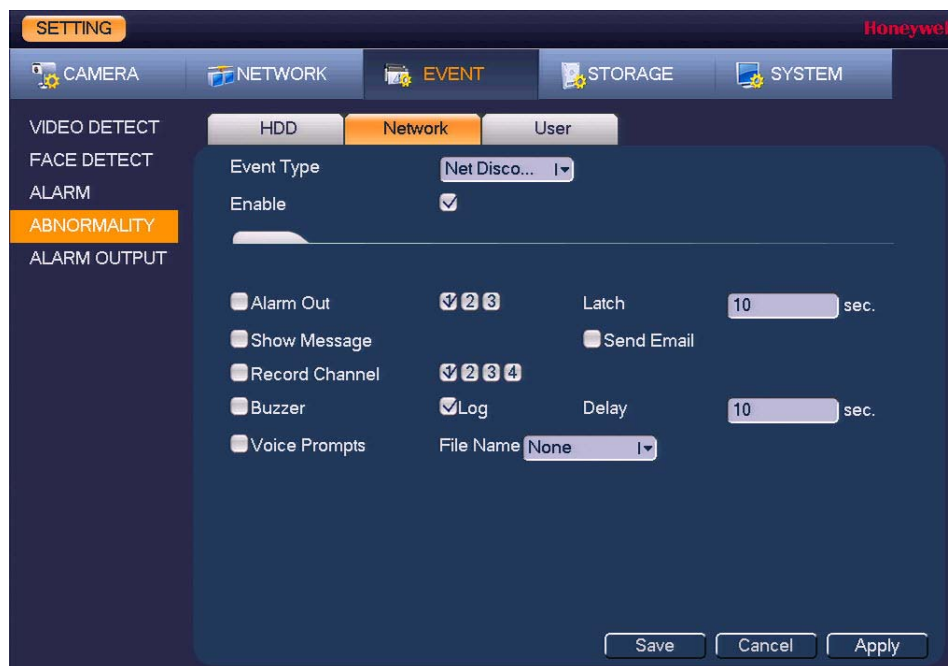


2. **Event Type [イベントの種類]** ボックスで、設定を構成したいイベントの種類を選択します。選択肢は **No HDD [HDD がない]**、**HDD Error [HDD エラー]**、または **HDD No Space [HDD に空き容量なし]** です。
3. HDD エラー検出を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
4. 選択したイベントが発生したときに、システムを開始させたいアラームアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後新しいHDDイベントの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
 - **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。
 - **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
5. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

ネットワークイベント設定の構成

ネットワークイベント設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Abnormality [異常] > Network [ネットワーク] に移動します。

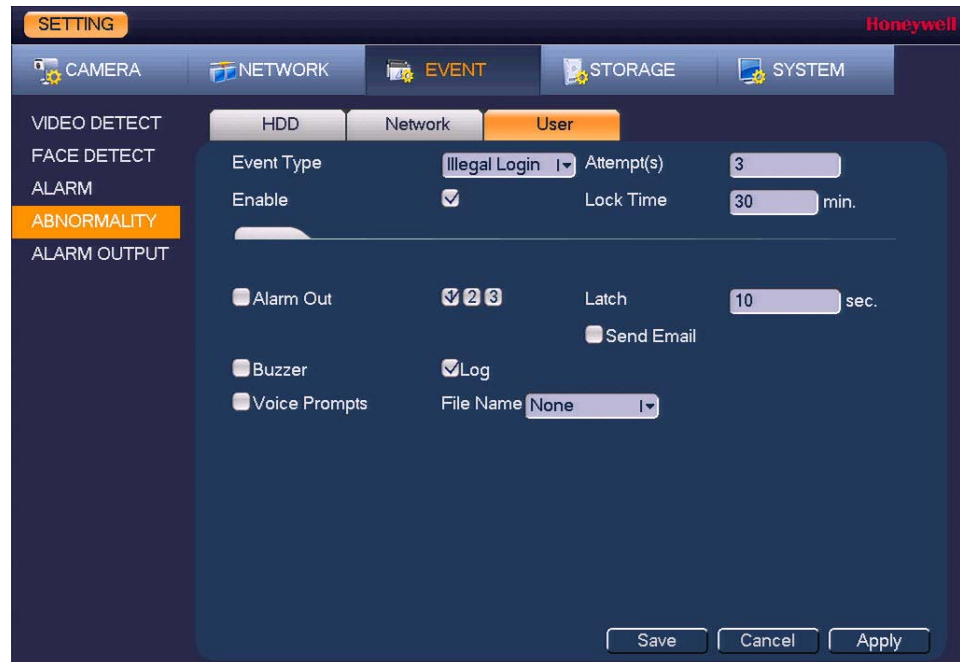


2. **Event Type [イベントの種類]** ボックスで、設定を構成したいイベントの種類を選択します。選択肢は **Net Disconnection [ネット切断]**、**IP Conflicted [IP 競合]**、または **MAC Conflicted [MAC 競合]** です。
3. ネットワークエラー検出を有効化するには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
4. 選択したイベントが発生したときにシステムが開始するアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しいネットワークイベントの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Show Message [メッセージを表示]** ローカル PC でポップアップメッセージを生成するには、このボックスにチェックを入れます。
 - **Alarm Upload [アラームアップロード]** ボックスにチェックを入れると、アラーム信号をネットワーク (アラームセンターや Web クライアントを含む) にアップロードできます。
 - **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
 - **Snapshot [スナップショット]** 選択されたチャンネルのスナップショットを撮るにはボックスにチェックを入れます。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
5. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

ユーザーイベント設定の構成

ユーザーイベント設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > AbnormalityHDD > User [ユーザー] に移動します。



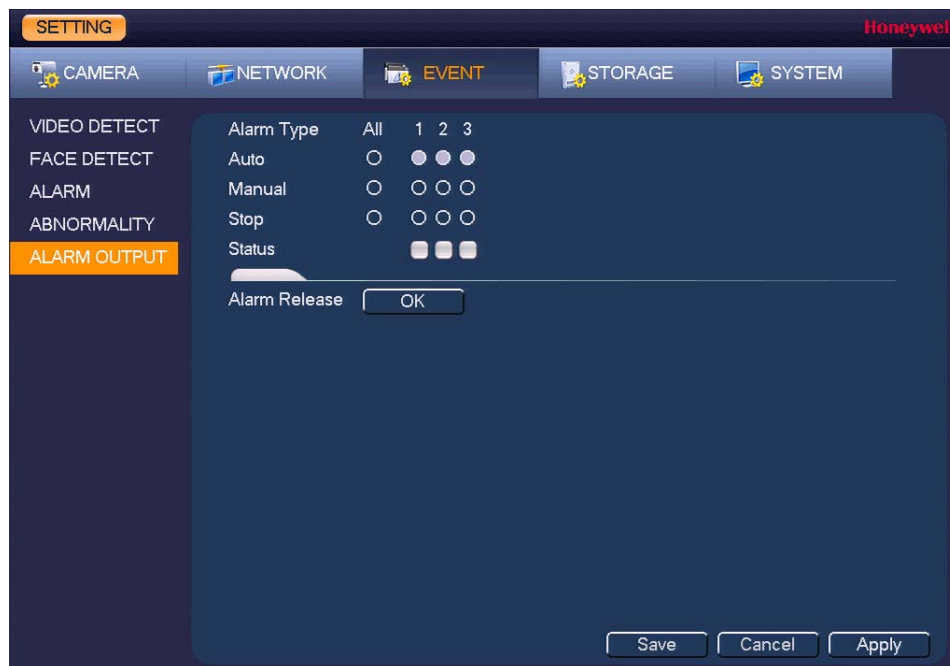
2. 不正なログイン検出を有効にするには、**Enable [有効化]** ボックスにチェックを入れます。
3. **Attempt(s) [試行回数]** ボックスに、ユーザーがロックアウトされるまでのログイン試行の失敗回数を入力します。0 ~ 255。の値を選択します。
4. **Lock Time [ロック時間]** ボックスに、ロックアウトが持続する時間を分単位で入力します。0 ~ 60。の値を選択します。
5. 選択したイベントが発生したときにシステムが開始するアクションを選択します。
 - **Alarm Out [アラーム出力]** ボックスにチェックを入れてアラーム出力信号を生成し、有効にする特定のアラーム出力を選択します。
 - **Latch [ラッチ]** システムが、直前のイベントが終了した後に新しい不正ログインイベントの検出を遅らせる秒数 (0 ~ 300) を入力します。
 - **Send Email [電子メール送信]** 電子メール通知を送信するには、ボックスにチェックを入れます。DVR は電子メールを送信するように設定する必要があります。[電子メール設定の構成](#) ページ 75 を参照してください。
 - **Buzzer [ブザー]** DVR のブザーをアクティブにするにはボックスにチェックを入れます。
 - **Log [ログ]** ログエントリを作成するにはボックスにチェックを入れます。
 - **Voice Prompts [音声プロンプト]** 音声プロンプトを有効化するにはボックスにチェックを入れます。次に、**File Name [ファイル名]** ボックスで、再生するオーディオファイルを選択します。
6. **Apply [適用]** をクリックして設定を保存します。

アラーム出力設定の構成

アラーム出力の有効化/無効化は、DVR が自動で設定することも手動で設定することもできます。

アラーム出力設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Event [イベント] > Alarm Output [アラーム出力] に移動します。



2. アラーム出力はデフォルトでは **Auto [自動]** に設定されています。イベントが発生すると、DVR は自動的にアラーム出力をアクティブにします。イベントが終了すると、DVR は自動的にアラームを取り消します。
 - 手動でアラーム出力をアクティブにするには、**Manual [手動]** を選択して **Apply [適用]** をクリックします。
 - 手動でアラームを取り消すには、**Manual [手動]** を選択して **Apply [適用]** をクリックします。
 - すべてのアラーム出力ステータスをクリアするには、**Alarm Release [アラーム解除]** の横にある **OK** をクリックし、**Apply [適用]** をクリックします。
3. **Save [保存]** をクリックして終了します。

8

ストレージ設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

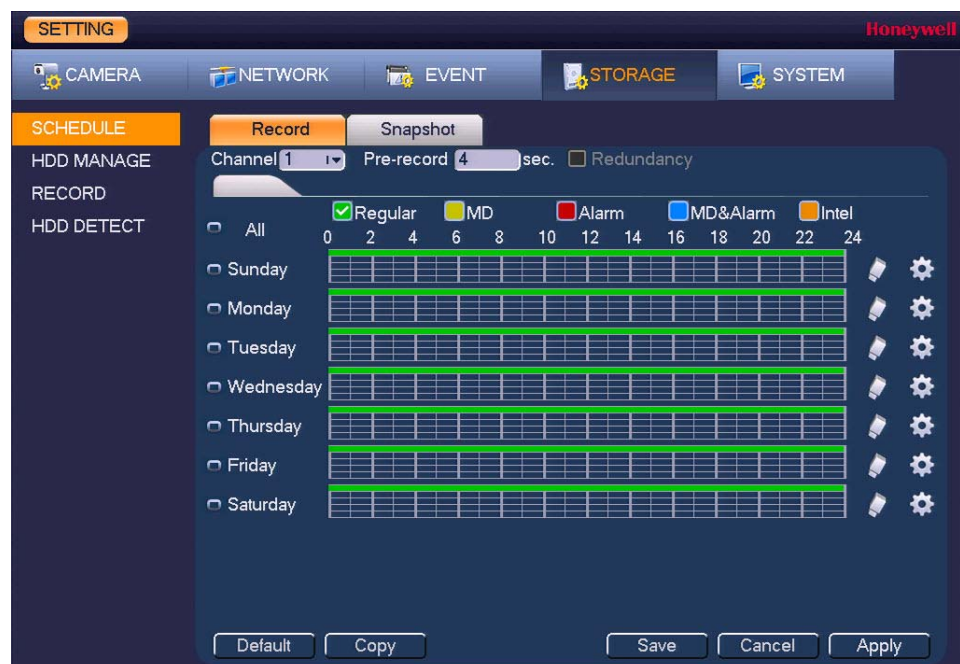
- [録画スケジュールの構成、ページ109](#)
- [HDD設定の構成、ページ111](#)
- [録画設定の構成、ページ112](#)
- [HDD診断設定の構成、ページ113](#)

録画スケジュールの構成

ハードドライブにビデオやスナップショットを常に録画するように、または特定のイベントが発生したとき（たとえば、動きが検出されたときやアラームがトリガーされたとき）にのみ録画するように、DVRを設定することができます。

動画の録画スケジュールを構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting [設定] > Storage [ストレージ] > Schedule [スケジュール] > Record [録画] に移動します。



2. **Record**[録画] タブの **Channel**[チャンネル] ボックスで、録画スケジュールを設定したいカメラを選択します。
3. **Pre-record**[事前録画] ボックスに **0 ~ 30** 秒の時間を入力します。例えば、事前録画時間が30秒に設定され、ウィンドウが破損してアラームまたはモーション検出イベントがトリガーされた場合、DVRは過去30秒間の動画を保存し、イベントの重要なコンテキストを提供することがあります。
4. DVR に 2 台の HDD がある場合は、**Redundancy**[冗長化] チェックボックスを選択して、2 台目の HDD に冗長録画を有効にします。この HDD は初めに **HDD Manage**[HDD 管理] ページ ([HDD 設定の構成](#) ページ 111 参照) で冗長化のために構成されなければなりません。
5. スケジュール表の上部で、スケジュールする録画タイプのチェックボックスをオンにします。
 - **Regular**[レギュラー] レギュラー録画スケジュールは緑色のバーで示されます。
 - **MD** モーション検出録画スケジュールは黄色のバーで示されます。
 - **Alarm**[アラーム] アラーム録画スケジュールは赤色のバーで示されます。
 - **MD&Alarm** [MD&アラーム] モーション検出とアラームのスケジュールは青色のバーで示されます。
 - **Intel**[インテリジェント] インテリジェント識別録画 (顔検出レコード) はオレンジ色のバーで示されます。
6. スケジュール表でマウスをクリックまたはドラッグして録画時間を設定します。または、表の右にある歯車アイコンをクリックし、1日6回までの録画時間を設定します。追加の日に設定をコピーするには、**Copy**[コピー]の下にある適切なチェックボックスをチェックして **Save**[保存]をクリックします。
7. 毎日の録画期間を削除するには、表の右にある消しゴムアイコンをクリックします。
8. **Apply**[適用] をクリックして設定を保存します。
9. 設定を一台または複数の追加のカメラに複製するには、**Copy**[コピー]をクリックし、設定をコピーするカメラをクリックして (または **All**[全て] をクリックしてすべてのカメラを選択して)、**OK**をクリックします。

スナップショット録画スケジュールを構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting**[設定] > **Storage**[ストレージ] > **Schedule**[スケジュール] > **Snapshot**[スナップショット]に移動します。
2. 動画の録画設定と同じ手順を実行します (上記の手順5~9を参照)。

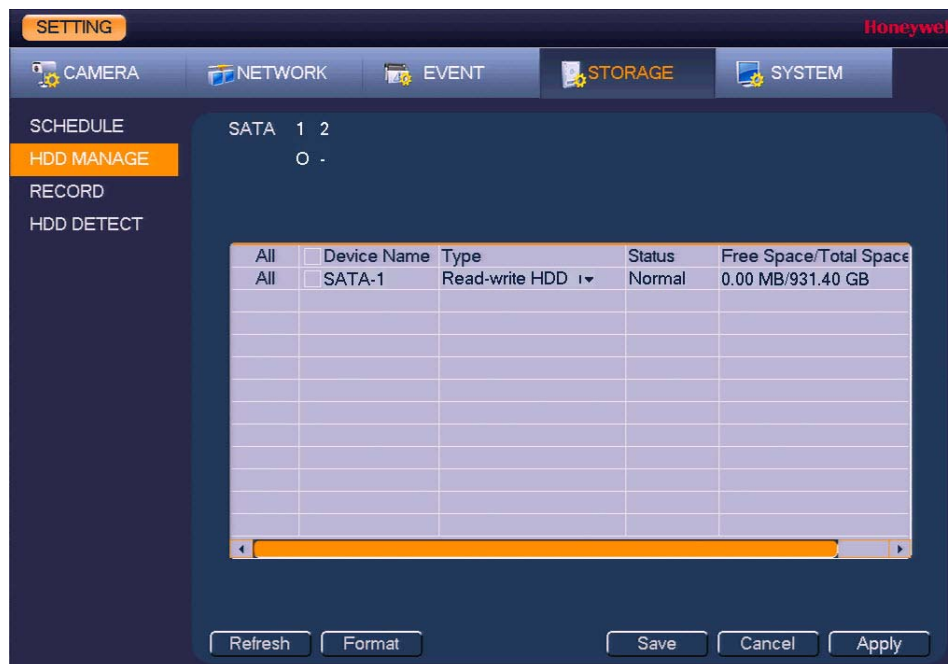
注 録画スケジュールを設定したら、**Record**[録画] ページの特定のカメラにスケジュールを適用します ([録画設定の構成](#) ページ 112 参照)。イベント録画タイプ (MD、アラーム、MD & アラーム、インテリジェント) をスケジュールしている場合は、録画する特定のイベントが有効になっていることを確認します ([ネットワークイベント設定の構成](#) ページ 81 参照)。

HDD設定の構成

HDD Manage[HDD管理] ページでは、ハードドライブに関する情報を表示したり、ドライブの種類を変更したり（読み書きまたは読み取り専用）、ドライブをフォーマットすることができます。

HDD設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > Storage[ストレージ] > HDD Manage[HDD管理]に移動します。



SATA	o は現在のHDDが正常であることを示します。 x はエラーがあることを示します。 - はHDDがないことを示します。 ? はHDDが損傷していることを示します。
------	--

Device Name[デバイス名]	HDD名。
--------------------	-------

Type[タイプ]	HDDの種類（読み取りまたは書き込み）。
-----------	----------------------

Status[ステータス]	HDDの現在の動作状態。
---------------	--------------

Free Space/ Total Space [空きスペース/全スペース]	HDDに残っている空き容量/ HDDの総容量。
---	----------------------------

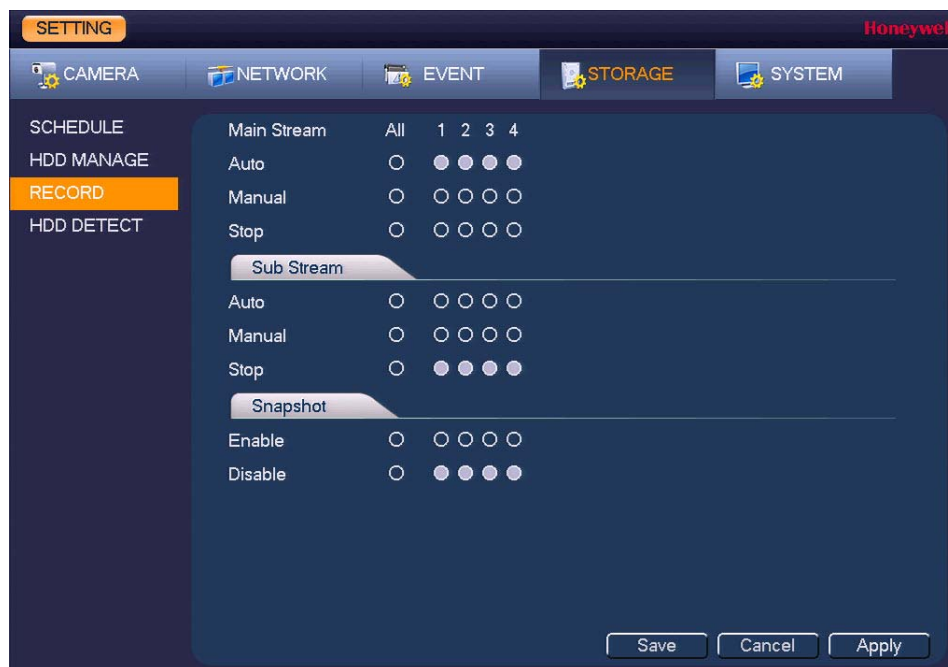
2. ドライブはデフォルトで読み書き可能に設定されています。読み取り専用に変更するには、Type[タイプ] 列で **Read-only HDD[読み取り専用HDD]** を選択します。DVRが再起動して新しい設定が適用されます。
3. ドライブからすべてのデータを消去するには **Format[フォーマット]** をクリックします（フォーマットする前にドライブを「読み書き」に設定する必要があります）。「Confirm format on the selected device?」（選択したデバイスをフォーマットしてよろしいですか?）というメッセージが表示されます。OK をクリックして続行します。

録画設定の構成

Record[録画] ページでは、特定のカメラに適用する動画の録画設定を指定できます。

録画設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > Storage[ストレージ] > Record[録画] に移動します。



2. メインストリームとセカンダリストリーム（サブストリーム）の両方に対して、各カメラで有効にする録画設定（Auto[自動]、Manual[手動]、Stop[停止]）を選択します。
3. Snapshot[スナップショット]で各チャンネルのスナップショット録画を有効または無効にします。
4. Apply[適用]をクリックしてから Save[保存] をクリックして設定を保存します。

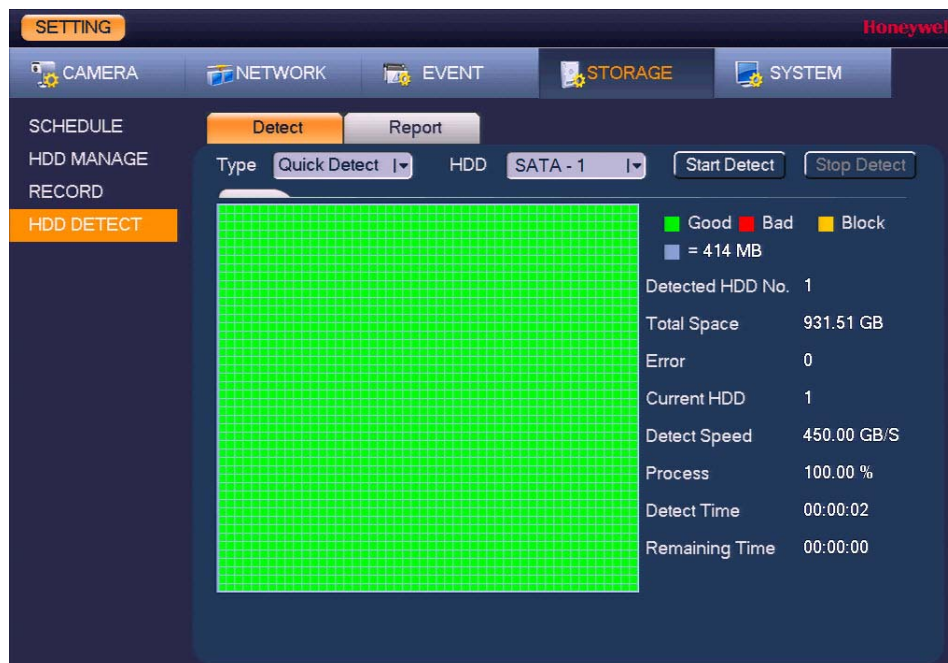
例えば、カメラ 1 の動画録画とスナップショットスケジュールを設定している場合（録画スケジュールの構成 ページ 109 参照）は、**1 列目で**、メインストリームおよび/またはサブストリームで Auto[自動]（予約録画）を選択し、Snapshot[スナップショット]を Enable[有効] に設定する必要があります。

HDD診断設定の構成

HDD Detect[HDD検出] ページでは、診断テストを実行してハードドライブのパフォーマンスを測定し、テスト結果のレポートを生成することができます。

HDDの診断テストを実行するには下記に従ってください。

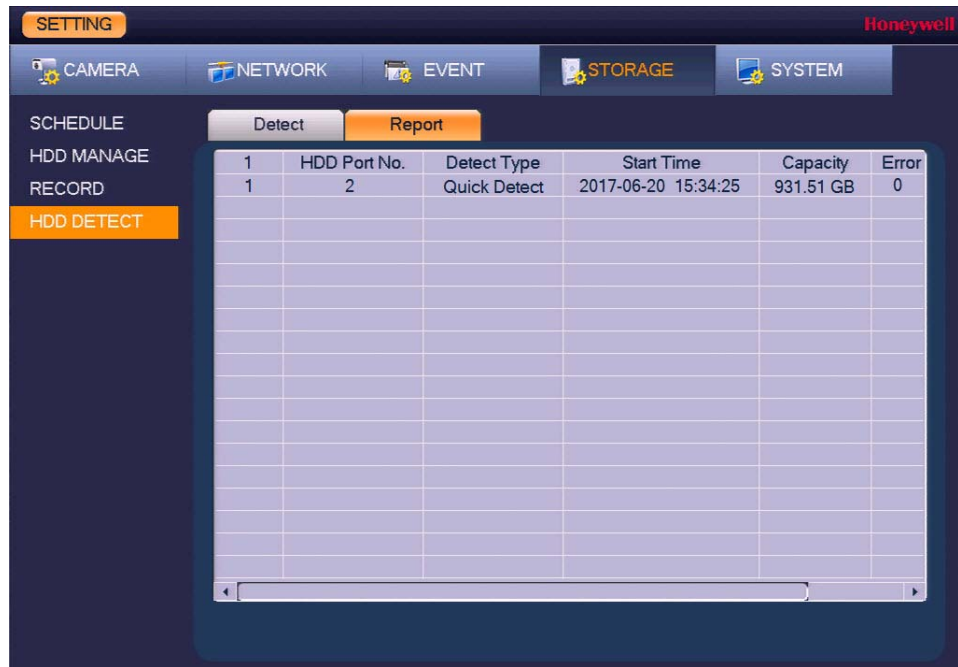
1. メインメニュー > Setting[設定] > Storage[ストレージ] > HDD Detect[HDD検出] > Detect[検出]に移動します。




2. Detect[検出] タブの Type[タイプ] ボックスで、実行したい診断テストを選択します (Quick Detect[クイック検出] または Global Detect[グローバル検出])。
3. HDD ボックスで、テストしたいHDDを選択します。
4. Start Detect[検出を開始] をクリックして診断テストを開始します。

診断テストの結果を表示および/またはバックアップするには下記に従ってください。

1. **Report**[レポート] タブをクリックします。

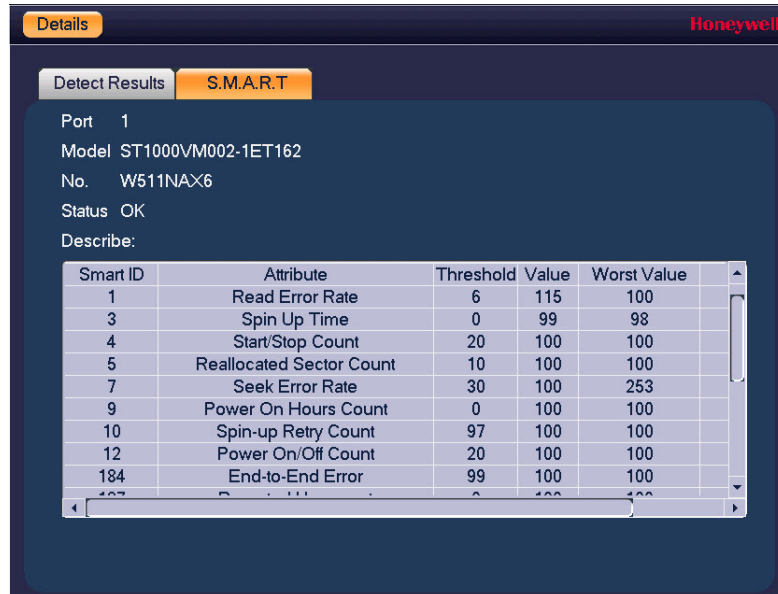


2. リストから表示するレポートを選択し、**View**[表示] ボタンをクリックします 。
(ウィンドウに **View**[表示] ボタンが表示されていない場合は、リストの一番下にあるスクロールバーを右にドラッグします。) **Details**[詳細] ウィンドウが開きます。



3. **Details**[詳細] ウィンドウの **Detect Results**[検出結果] タブでは、HDDの全体的な状態をグラフィック表示できます。不良セクターには赤色のマークが付けられます。

4. テスト結果を外部USBストレージデバイスにバックアップするには、USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）がDVRのUSBポートの1つに接続されていることを確認し、**Backup to USB Devices**[**USBデバイスにバックアップ**]をクリックします。
5. S.M.A.R.T.を表示させるには(Self-Monitoring, Analysis, and Reporting Technology、自己監視、分析、および報告技術)の詳細を表示するには **S.M.A.R.T** タブをクリックします。



9

システム設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

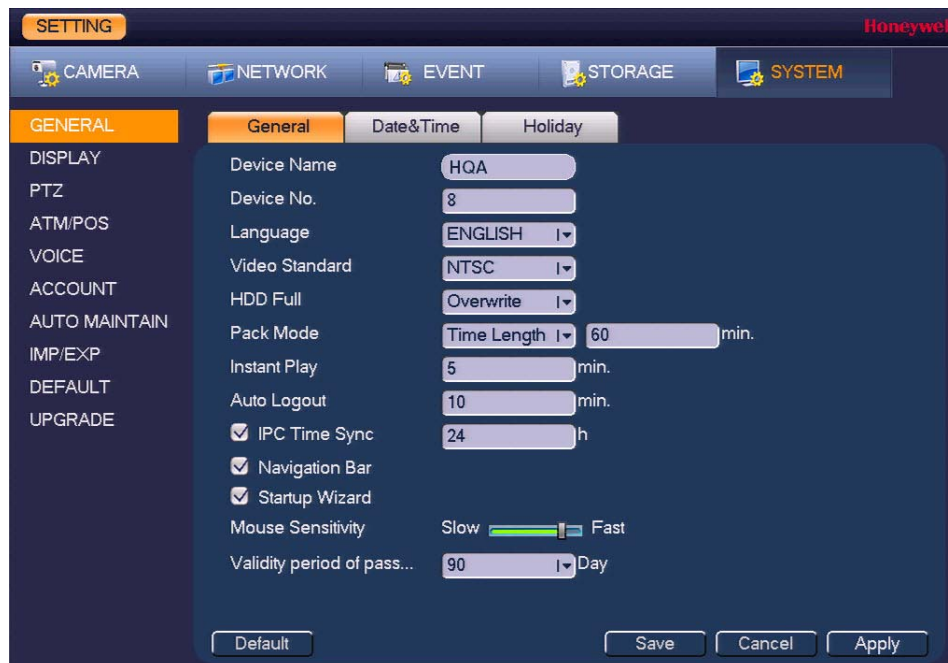
- [システム一般設定の構成、ページ118](#)
- [表示設定の構成、ページ123](#)
- [パン/チルト/ズーム設定の構成、ページ126](#)
- [ATM/POS（カードオーバーレイ）設定の構成、ページ126](#)
- [ボイス設定の構成、ページ128](#)
- [アカウント設定の構成、ページ130](#)
- [自動メンテナンス設定の構成、ページ136](#)
- [システム構成のエクスポートとインポート、ページ137](#)
- [出荷時設定の復元、ページ139](#)
- [DVRのアップグレード、ページ140](#)

システム一般設定の構成

デバイス設定の構成

一般設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > General[一般] > General[一般]に移動します。



2. **General[一般]** タブで、下記の設定を構成します。

- **Device name [デバイス名]** DVRのデバイス名を入力します。
- **Device No.[デバイス番号]** DVRのデバイス番号を入力します。
- **Language[言語]** ユーザーインターフェイスの言語を設定します。
- **Video Standard [ビデオ規格]** ビデオ規格を **NTSC** か **PAL** に設定します。
- **HDD Full [HDDフル]** HDDがいっぱいになっても録画を続行するには **Overwrite [上書き]** に設定します。HDDがいっぱいになった場合に録画を停止するには **Stop Record[録画中止]** に設定します。デフォルト設定は **Overwrite[上書き]** です。
- **Pack Mode [パックモード]** **Time Length[時間の長さ]** か **File Length[ファイル長]** を選択します。1 ~ 60 分の時間 (デフォルトは 60 分) または、ファイルサイズ (1 ~ 2048 MB) を指定します。
- **Instant Play [即時再生]** ライブビューモードでリアルタイム再生機能を使用して動画を再生する時間を設定します。5 ~ 60 分の時間を入力します。デフォルト設定は **5 min[5分]** です。
- **Auto Logout [自動ログアウト]** 非アクティブユーザをログアウトするまでにDVRが待機する時間を設定します。0 ~ 60 分の時間を入力します。デフォルト設定は **10 min[5分]** です。

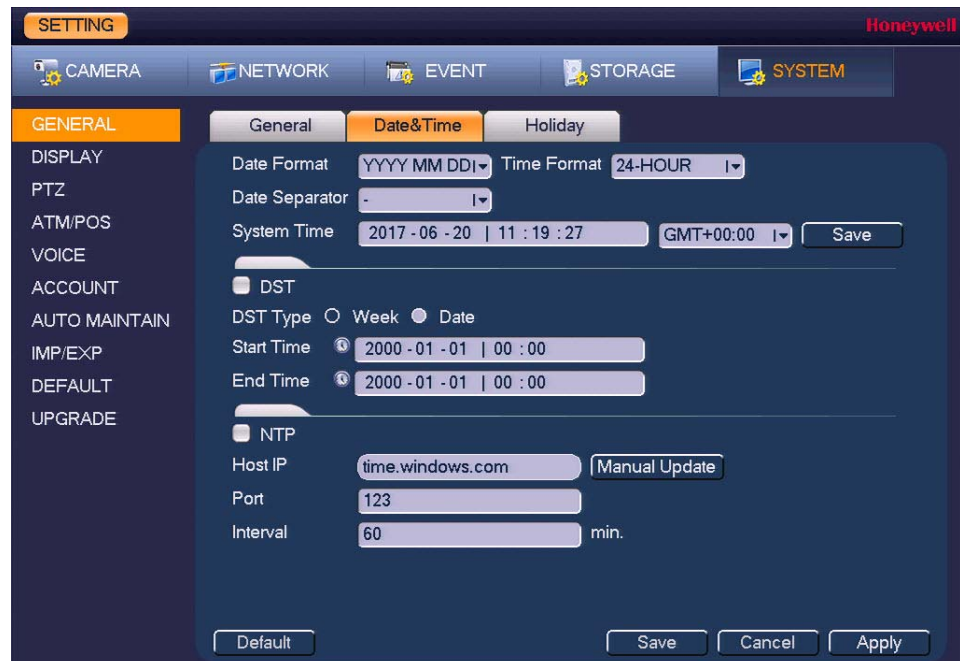
- **IPC Time Sync[IPC時刻同期]** 接続されたIPカメラの時刻が、DVRのシステム時刻と同期される間隔（時間単位）を入力します。
- **Navigation Bar[ナビゲーションバー]** ライブビュー画面にライブビューツールバーを表示するには、ボックスにチェックを入れます。ライブビューツールバーを非表示にするには、ボックスのチェックを外します。
- **Startup Wizard [スタートアップウィザード]** 起動時にスタートアップウィザードを表示するには、ボックスにチェックを入れます。起動時にスタートアップウィザードを表示しないようにするには、ボックスのチェックを外します。
- **Mouse Sensitivity [マウス感度]** スライダーを使用して、希望のマウス速度を設定します。
- **Validity period of password[パスワードの有効期間]** ログインパスワードが有効な日数を設定します。設定した日数を過ぎると変更が必要になります（**None[期限なし]**、**30日**、**60日**、**90日**）。

3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

日付&時刻設定の構成

システム時刻設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting[設定]** > **System[システム]** > **General[一般]** > **Date&Time [日付&時刻]** に移動します。



2. **Date&Time[日付&時刻]** タブで、下記の設定を構成します。

- **Date Format [日付形式]** システム時刻に使用する日付形式を **YYYY MM DD**、**MM DD YYYY**、または **DD MM YYYY** から選択します。
- **Time Format [時刻形式]** システム時刻に使用する時刻形式を **24-Hour[24時間形式]** と **12-Hour[12時間形式]** から選択します。
- **Date Separator [日付区切り文字]** システム時刻に使用する区切り文字を **ピリオド(.)**、**ハイフン(-)**、または **スラッシュ(/)** から選択します。
- **System time [システム時刻]** システム時刻とタイムゾーンを入力し、**Save[保存]** をクリックします。

3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

夏時間（DST）設定を構成するには、下記に従ってください。

1. **Date&Time[日付&時刻]** タブで、**DST** ボックスにチェックを入れます。
2. 夏時間がいつ始まっていつ終わるかを指定します。
 - a. 夏時間の日付は毎年変わるので、**Week[週]** を **DST Type[夏時間の種類]** として選択します。
 - b. **Start Time[開始時刻]** を **Mar 2nd Su 02:00**（3月の第2日曜日の2 a.m.）として設定します。
 - c. **End Time[終了時刻]** を **Nov 1st Su 02:00**（11月の第1日曜日の2a.m.）として設定します。
3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

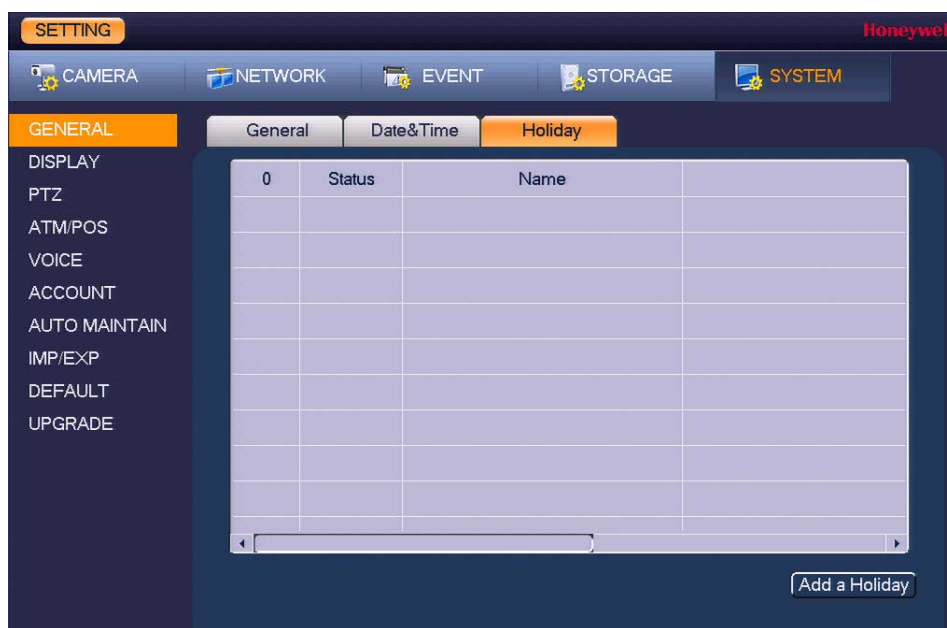
システム時刻をNTP（ネットワーク・タイム・プロトコル）と同期させるには、下記に従ってください。

1. DVRがインターネットに接続されていることを確認します。
2. **Date&Time[日付&時刻]** タブで、**NTP** ボックスにチェックを入れます。
3. **Host IP[ホストIP]** ボックスに、使用するNTPサーバのIPアドレスを入力します（例えば、time.nist.gov）。
4. **Port[ポート]** が **123** に設定されていることを確認します。
5. システム時刻がNTPサーバーと同期する頻度を変更するには、**Interval[間隔]** ボックスに新しい時間を入力します。デフォルト設定は **60 min[60分]** です。
6. **Manual Update[手動更新]** をクリックして、システム時刻をNTPサーバーと手動で同期させます。
7. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

休日設定の構成

休日を追加するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting[設定]** > **System[システム]** > **General[一般]** > **Holiday[休日]** に移動します。



2. **Holiday[休日]** タブで、**Add a Holiday[休日を追加]** をクリックします。 **Add Holiday[休日を追加]** ウィンドウが開きます。


3. 追加したい休日の名前を **Holiday Name[休日名]** ボックスに入力します。
4. **Repeat Mode[反復モード]** を **Once[一回のみ]** または **Always[常時]** に設定します。

注 DVRに特定の曜日（たとえば、毎週金曜日）を一年を通しての休日として認識させたい場合は、**Repeat Mode[反復モード]** を **Always[常時]** に設定します。

5. 1日または1週間以上を休日として指定するかどうかによって、**Holiday Range[休日範囲]** を **Date[日付]** または **Week[週]** に設定します。
 - **Date[日付]** を選択した場合、年、月、日を **Start Time [開始時刻]** 及び **End Time [終了時刻]** ボックスに入力します。
 - **Week[週]** を選択した場合、年、月、週（第1、第2、第3、第4、最終）、及び曜日を入力します。
6. 休日を追加する場合は、**Add More[更に追加]** ボックスにチェックを入れます。
7. **Add[追加]** をクリックして休日を追加します。休日は **Holiday[休日]** タブの休日リストに追加され、ステータスが **Enable[有効]** に設定されます。

休日を編集するには下記に従ってください。

1. **Holiday[休日]** タブで、休日の一覧から編集する休日を選択し、**Operation[操作]**の下にある変更アイコン  をクリックします。**Change Holiday[休日を変更]** ウィンドウが開きます。



Change Holiday

Honeywell

Holiday Name

Repeat Mode Once Always

Holiday Range Date Week

Start Time 2017 - 06 - 21

End Time 2017 - 06 - 21


OK Cancel

2. 必要な変更を入力し、**OK**をクリックします。

休日を無効にするには下記に従ってください。

- **Holiday[休日]** タブで、休日の一覧から無効にする休日を選択し、**Operation[操作]**の下で **Disable[無効化]** を選択します。

休日を削除するには下記に従ってください。

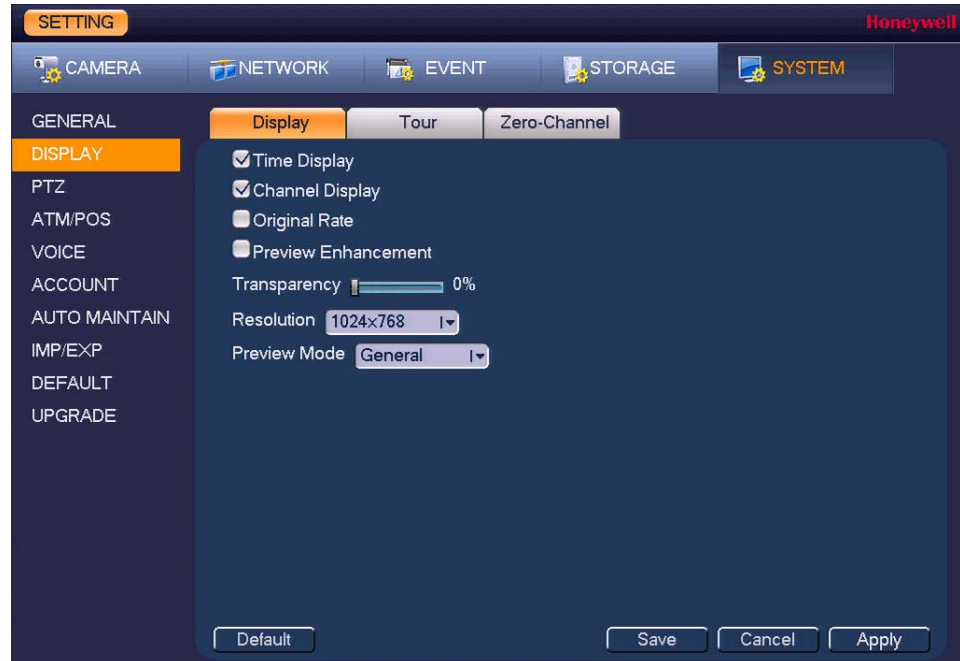
- **Holiday[休日]** タブで、休日の一覧から削除する休日を選択し、**Delete[削除]** アイコン  をクリックします。

表示設定の構成

表示設定の構成

表示設定を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Display[表示] > Display[表示]に移動します。



2. Display[表示] タブで、下記の設定を構成します。

- **Time Display [時刻表示]** ライブビューモードで各チャンネルウィンドウに現在時刻を表示するには、ボックスにチェックを入れます。時刻を非表示にするには、ボックスのチェックを外します。
- **Channel display [チャンネル表示]** 各チャンネルウィンドウにカメラ名、ステータス、チャンネル番号を表示するには、ボックスにチェックを入れます。各チャンネルウィンドウにカメラ名、ステータス、チャンネル番号を非表示にするには、ボックスのチェックを外します。
- **Original Rate[オリジナルレート]** 画像を実際のサイズ/割合で表示する場合にチェックを入れます。
- **Preview Enhancement[エンハンスをプレビュー]** 表示される画像をエンハンスするには、ボックスにチェックを入れます。デフォルト設定を使用する場合は、ボックスのチェックを外します。
- **Transparency[透明度]** グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) の透明度を 0 (完全に不透明) ~ 100 (完全に透明) の値に設定します。
- **Resolution[解像度]** 表示解像度を設定します。新しい表示解像度の設定を有効にするには、DVRを再起動する必要があります。
- **Preview Mode[プレビューモード]** 顔検出の結果として撮影されたすべてのスナップショットをライブビューモードで表示するには **Show Face List [顔リストを表示]** を選択します。

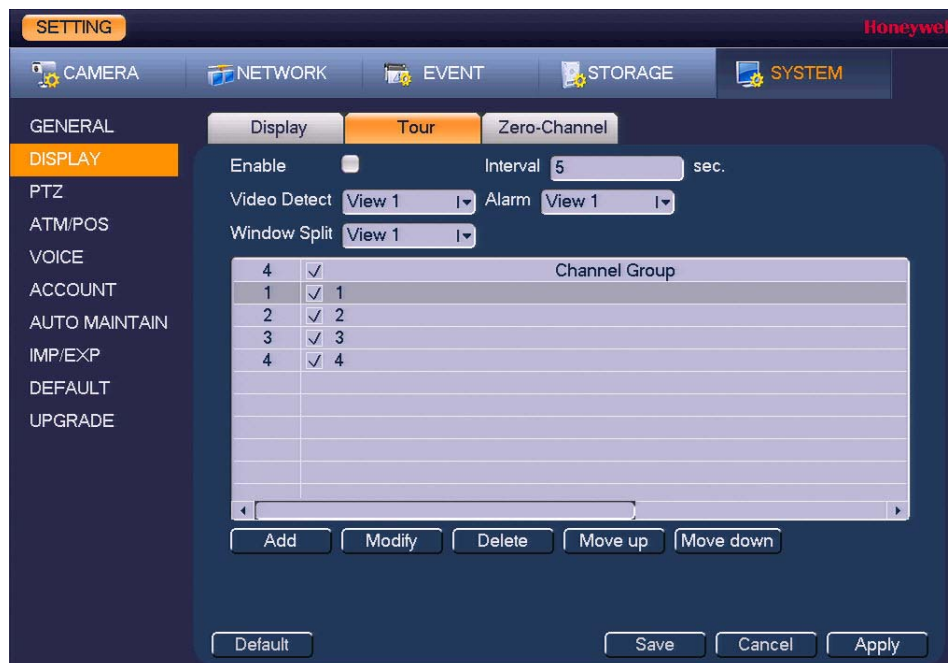
3. Apply[適用] をクリックして設定を保存します。

ツアー設定の構成

ツアーでは、DVRはいくつかのチャンネルビューを繰り返し表示します。ツアーに表示するビューとカメラを指定できます。

ツアーを設定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Display[表示] > Tour[ツアー]に移動します。



2. ツアー機能を有効にするには、**Tour[ツアー]**タブで**Enable[有効化]**ボックスにチェックを入れます。
3. **Interval[間隔]**ボックスに、各ビューを画面に表示する時間を秒単位で入力します。デフォルト設定は5秒です。
4. 次のいずれかを実行します。
 - 使用可能なすべてのカメラのすべてのビューを繰り返し表示するには、デフォルト設定を維持します。
 - カスタムツアーを作成するには、**Window Split[ウィンドウ分割]**リスト (**View 1[ビュー1]**、**View 4[ビュー4]**、...) の各ビューに対して、**Channel Group[チャンネルグループ]**リストの一番上の行のボックスのチェックを外して、そのビューのすべてのカメラの選択を解除し、ツアーに表示する各ビューのカメラを選択します。

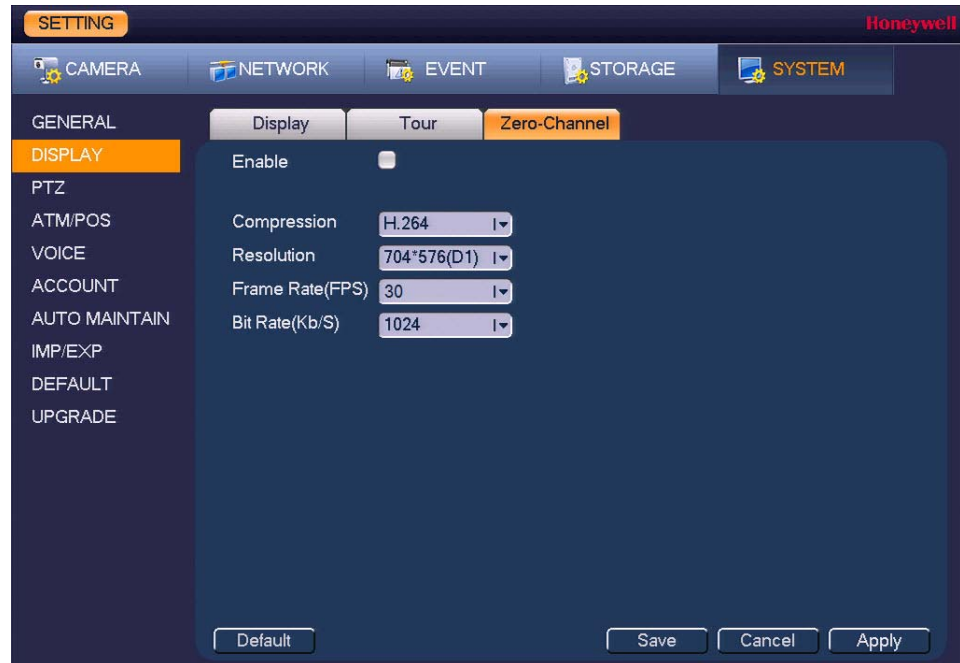
たとえば、シングルチャンネルビューでカメラ2、3、および5のみを表示するツアーを作成するには、**Window Split[ウィンドウ分割]**を**View 1[ビュー1]**に設定し、カメラ**2**、**3**、および**5**を選択します。他のカメラはビュー1でも他のビューのいずれかでも選択されていないはずで。
5. 必要に応じて、**Channel Group[チャンネルグループ]**リストからカメラを追加、変更、または削除することができます。追加できるのはリストに表示されていないカメラのみです。一部のDVRモデルでは、**Motion Tour Type[モーションツアータイプ]**と**Alarm Tour Type[アラームツアータイプ]**を**View 1[ビュー1]** (シングルチャンネルビュー) から**View 4[ビュー4]** (4チャンネルビュー) に変更できます。
6. **Apply[適用]**をクリックして設定を保存します。

ゼロチャンネル設定の構成

ゼロチャンネル機能を使用すると、Webブラウザの1つのチャンネルで複数の動画ソースを表示して帯域幅を節約し、アップロード速度を向上させることができます。

ゼロチャンネルエンコーディングを設定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Display[表示] > Zero-Channel [ゼロチャンネル]に移動します。



2. Zero-Channel[ゼロチャンネル] タブで、以下の設定を構成します。
 - **Enable[有効化]** ゼロチャンネル機能を有効化するには、ボックスにチェックを入れます。
 - **Compression[圧縮]** リストから希望の動画圧縮規格を選択します。デフォルト設定は **H.264** です。
 - **Resolution[解像度]** リストから希望の動画解像度を選択します。デフォルト設定は **D1** です。
 - **Frame Rate(FPS) [フレーム率]** **1 ~ 30** (NTSC) または **1 ~ 25** (PAL) の値を選択します。
 - **Bit Rate(Kb/S) [ビットレート]** **896 ~ 4096** の値を選択します。デフォルト設定は **1024** です。
3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。
4. Webブラウザを使用してDVRに遠隔ログインし、メイン **Preview[プレビュー]** ウィンドウの右下にある使用可能なレイアウトオプションの1つをクリックし、表示するカメラの範囲を選択します。



選択したカメラが、選択されたレイアウトでいずれかのチャンネルに表示されます。

パン/チルト/ズーム設定の構成

[PTZ機能の設定](#) ページ 39を参照してください。

ATM/POS（カードオーバーレイ）設定の構成

小売業においては、ATM/POS（カードオーバーレイ）を設定することにより、DVRでATM（現金自動預け払い機）およびPOS（販売時点管理）マシンと通信することができます。

ネット設定の構成

ATM/POSプロトコルの有無にかかわらずネットワーク設定を構成できます。

ATM/POSプロトコルでネットワーク設定を構成するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー>Setting[設定]>System[システム]>ATM/POS>Net[ネット]に移動します。



2. Net[ネット]タブで、下記の設定を構成します。

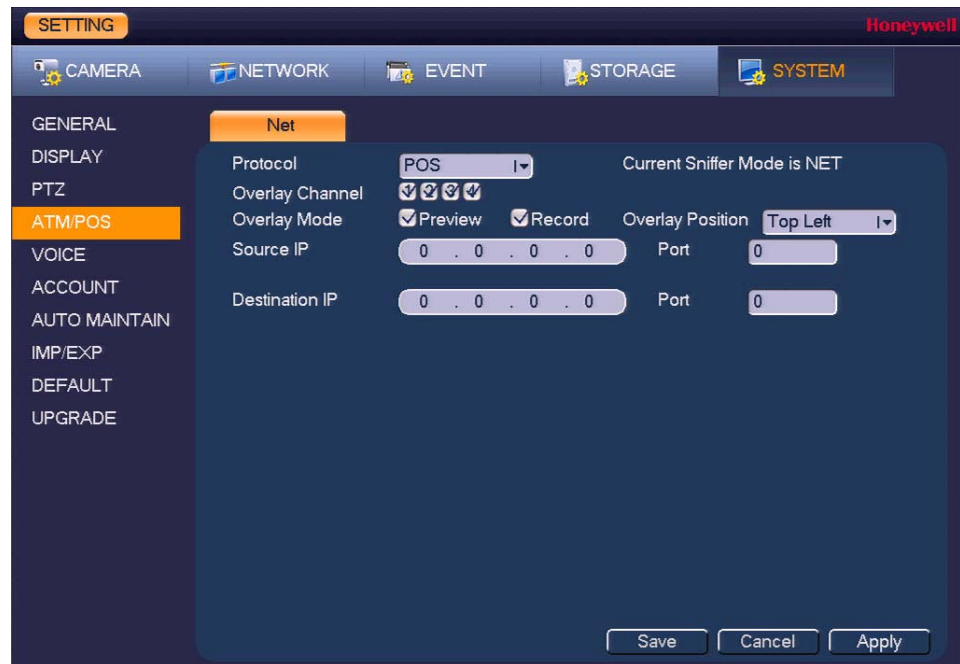
- **Protocol[プロトコル]** ATM/POSを選択します。
- **Overlay Mode [オーバーレイモード]** Preview[プレビュー] 及び Record[プレコード] オーバーレイモードはデフォルトで有効にされています。無効にする場合は、ボックスのチェックを外します。
- **Overlay Position [オーバーレイ位置]** TopLeft[左上]、BottomLeft[左下]、TopRight[右上]、または Bottom Right[右下]を選択します。
- **Data Group[データグループ]** 構成するデータグループを選択します（Data Group1 [データグループ1]、Data Group2[データグループ2]、Data Group3[データグループ3]、Data Group4[データグループ4]）。

- **Source IP/Port [ソースIP/ポート]** ソースIPとポートを入力します。ソースIPとは、情報を送信するホストのIPアドレスを指します。
- **Destination IP/Port[送信先IP/ポート]** 送信先IPとポートを入力します。送信先IPとは、情報を受信するデバイスのIPアドレスを参照します。
- **Record Channel[レコードチャンネル]** カメラを選択します。
- **Frame ID[フレームID]** 6つまでのフレームIDを設定し、有効な法的情報を保証します。
StartPosition[開始位置]、**Length[長さ]**、および **Key [キー]**に入力します。**Data[データ]**をクリックして、最大4つのフィールドの **Start Position[開始位置]**、**Length[長さ]**、および **Title[タイトル]** 情報を入力し、**Save [保存]**をクリックします。

3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

ATM/POSプロトコルなしでネットワーク設定を行うには、下記に従ってください。

1. メインメニュー>Setting[設定]>System[システム]>ATM/POS>Net[ネット]に移動します。



2. **Net[ネット]** タブで、下記の設定を構成します。

- **Protocol[プロトコル]** POSを選択します。
- **Overlay Channel[オーバーレイチャンネル]** カメラを選択します。
- **Overlay Mode [オーバーレイモード]** **Preview[プレビュー]** および **Record[レコード]** オーバーレイモードはデフォルトで有効になっています。無効にしたい場合にはボックスのチェックを外します。
- **Overlay Position [オーバーレイ位置]** **Top Left[左上]**、**Bottom Left[左下]**、**Top Right[右上]**、または **Bottom Right[右下]**を選択します。
- **Source IP/Port [ソースIP/ポート]** ソースIPとポートを入力します。ソースIPとは、情報を送信するホストのIPアドレスを意味します。
- **Destination IP/Port[送信先IP/ポート]** 送信先IPとポートを入力します。送信先IPとは、情報を受信するデバイスのIPアドレスを意味します。

3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

ボイス設定の構成

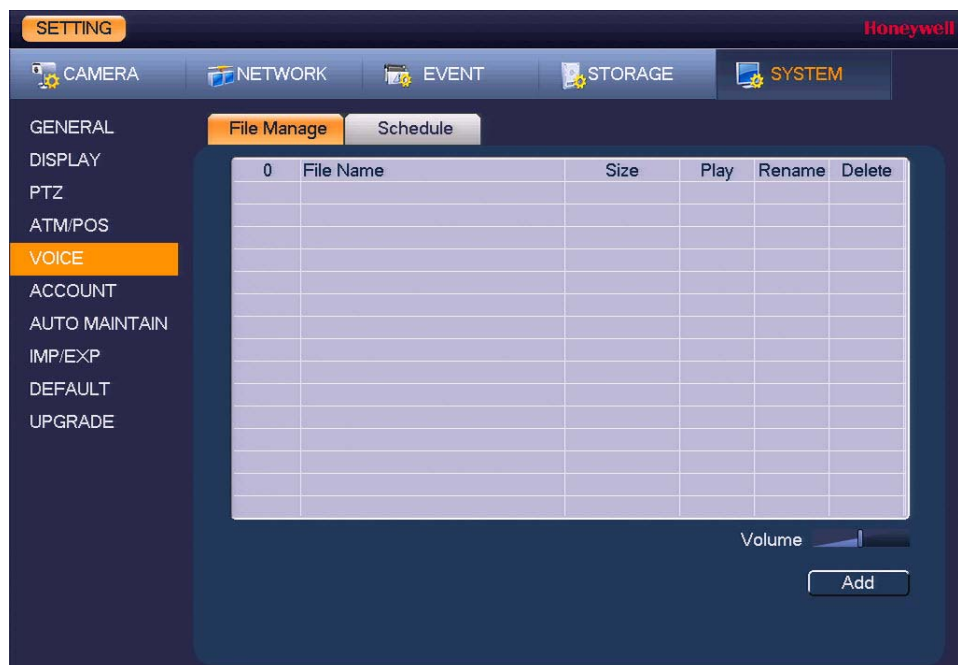
イベントによってトリガーされたときに再生されるオーディオファイルをアップロードできます。

ボイスファイル設定の構成

File Manage[ファイル管理] タブでは、HDDにオーディオファイルを追加したり、聞いたり、ファイルの名前を変更したりファイルを削除したり、オーディオボリュームを設定することができます。

オーディオファイルをDVRに追加するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting**[設定] > **System**[システム] > **Voice**[ボイス] > **File Manage** [ファイル管理]に移動します。



2. **Add**[追加] をクリックして、USBデバイスからオーディオファイルをインポートします。**Add**[追加] ウィンドウが開きます。
3. インポートしたいオーディオファイルを選択して**Import**[インポート] をクリックします。
4. **Apply**[適用] をクリックして設定を保存します。

ボイススケジュールの構成

アクティブスケジュールを設定するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Voice[ボイス] > Schedule [スケジュール]に移動します。



2. **Period[期間]** ボックスで、機能を有効にする期間を定義します。**Period[期間]** ボックスの左のボックスにチェックを入れて、アクティブにします。
3. **File Name[ファイル名]** ボックスで、再生したいオーディオファイルを選択します。
4. **Interval[間隔]** ボックスに、オーディオファイルの再生間隔を入力します。
5. **Repeat[反復]** ボックスに、オーディオファイルを繰り返す回数を入力します。
6. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

アカウント設定の構成

ユーザーアカウントの追加、変更または削除を行うことができます。デフォルトでは、DVRには管理者ユーザーアカウントとデフォルトユーザーアカウントがあります。管理者ユーザーアカウントには、DVRのすべての操作および設定機能を実行する権限があります。デフォルトのユーザーアカウントには、ライブビデオを監視する権限しかありません。

ユーザーの構成

ユーザーアカウントを追加するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > User [ユーザー]に移動します。



2. **User[ユーザー]** タブで、**Add User[ユーザーを追加]**をクリックします。 **Add User[ユーザーを追加]** ページが開きます。


3. **Add User[ユーザーを追加]** ページでは、下記の設定を構成できます。

- **User Name [ユーザー名]** アカунツのユーザー名を入力します。
- **Password [パスワード]** アカウンツのパスワードを入力します。
- **Confirm Password[パスワードを確認]** パスワードを再入力します。
- **Memo[メモ]** 必要に応じて、アカウントの簡単な説明を入力します。
- **User MAC[ユーザーMAC]** 必要に応じて、ユーザーがネットワーク上の特定のデバイスのみログインできるようにユーザーのMACアドレスを記録します。このフィールドを空白のままにすると、ネットワーク上の接続されているすべてのデバイスへのログインが可能になります。
- **Group[グループ]** ユーザーをグループに割り当てます (**admin[管理者]**、**user[ユーザー]**、または独自に定義した別のグループ)。
- **Period[期間]** **Set[設定]** をクリックして、設定する日の横にある **Set[設定]** をクリックします。アカウントをアクティブにする期間を入力して、**OK** をクリックします。 **OK** を再度クリックして終了します。
- **Authority[認証]** **System[システム]**、**Playback[再生]**、**Monitor[モニタ]** タブのチェックボックスをオンまたはオフにして、特権を割り当てます。


注 デフォルトでは、**user[ユーザー]** グループは、新しいユーザーがすべてのカメラのライブビデオを監視し、すべてのカメラで録画した動画を再生し、PTZカメラを制御し、情報を表示し、DVRを手動で制御し、ファイルをバックアップし、色の設定を調整できるように設定されています。追加の権限を割り当てるには、**user[ユーザー]** 設定を **Group[グループ]** タブで変更します。

4. **OK** をクリックして設定を保存します。

ユーザーアカウントを編集するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > User [ユーザー]に移動します。
2. User[ユーザー] タブで、編集するユーザーアカウントの **Modify [変更]** アイコン  をクリックします。 **Modify User[ユーザーを編集]** ページが開きます。
3. **Modify User[ユーザーを編集]** ページでは、下記の設定が変更できます。
 - User Name[ユーザー名]
 - Password[パスワード]
 - User Group[ユーザーグループ]
 - User MAC[ユーザーMAC]
 - Memo[メモ]
 - Authority (System, Playback, Monitor)[認証 (システム、再生、モニター)]
4. 変更が完了したら、 **Save[保存]** をクリックして設定を保存します。

ユーザーアカウントを削除するには、下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > User [ユーザー]に移動します。
2. User[ユーザー] タブで、削除するユーザーアカウントの **Delete[削除]** アイコン  をクリックします。
3. "Are you sure that you want to remove this?" (これを削除してもよろしいですか?) というメッセージが表示されます。 **OK** をクリックしてアカウントを削除します。

注 削除できるのは自分が作成したアカウントのみです。管理者およびデフォルトのユーザーアカウントは削除できません。

グループの構成

ユーザーグループを追加するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > Group [グループ]に移動します。




2. Group[グループ] タブで、Add Group[グループを追加]をクリックします。




3. **Add Group[グループを追加]** ページでは、**Group Name [グループ名]**ボックスでグループ名を入力し、**Memo[メモ]** ボックスでグループの説明を入力し、**System[システム]**、**Playback[再生]**、及び **Monitor[モニター]** タブでユーザー権限を割り当てます。
4. **OK** をクリックして設定を保存します。

ユーザーグループを編集するには下記に従ってください。

1. **メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > Group [グループ]**に移動します。
2. **Group[グループ]** タブで、編集するユーザーグループの **Modify[変更]** アイコン  をクリックします。 **Modify Group[グループを編集]** ページが開きます。
3. **Modify Group[グループを編集]** ページでは、下記の設定が変更できます。
 - **Group[グループ]**
 - **Group Name[グループ名]**
 - **Memo[メモ]**
 - **Authority (System, Playback, Monitor)[認証 (システム、再生、モニター)]**
4. 変更が完了したら、**Save[保存]** をクリックして設定を保存します。

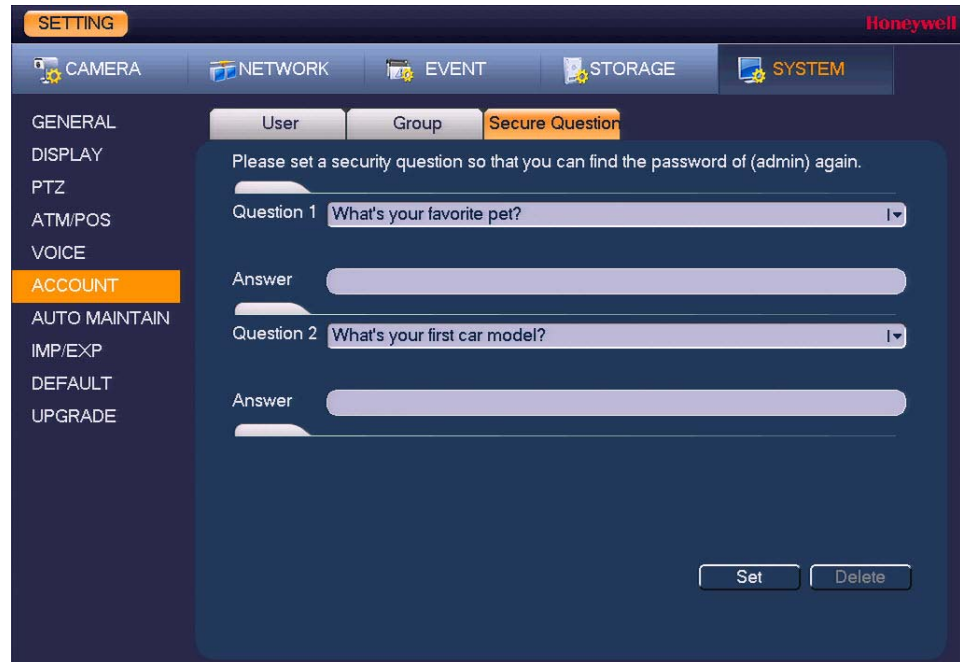
ユーザーグループを削除するには下記に従ってください。

1. **メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > Group [グループ]**に移動します。
2. **Group[グループ]** タブで、削除するユーザーグループの **Delete[削除]** アイコン  をクリックします。
3. "Are you sure that you want to remove this?" (これを削除してもよろしいですか?) というメッセージが表示されます。 **OK** をクリックしてグループを削除します。

セキュリティ質問の構成

セキュリティ質問を構成するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Account[アカウント] > Secure Question[セキュリティ質問]に移動します。



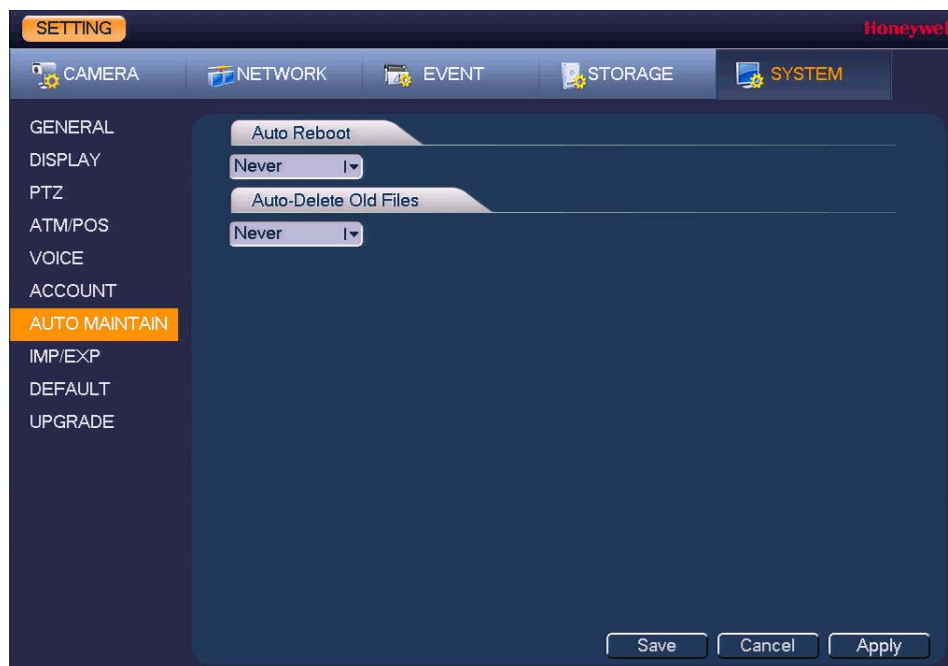
2. **Question 1[質問1]**および**Question 2[質問2]**ボックスに、リストから質問を選択するか、または**Customized[カスタム]**をクリックして新しいセキュリティ質問を作成します。
3. **Answer[答え]**ボックスに答えを入力します。
4. **Set[設定]**をクリックして設定を保存します。

自動メンテナンス設定の構成

自動的に再起動したり、古いファイルを自動的に削除するようにDVRを設定することができます。

自動リポート機能を設定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Auto Maintain[自動メンテナンス] に移動します。



2. **Auto Reboot[自動リポート]**の下で、**Never[しない]**、**Everyday[毎日]**、**Sunday[日]**、**Monday[月]**、**Tuesday[火]**、**Wednesday[水]**、**Thursday[木]**、**Friday[金]**、**Saturday[土]**のオプションの一つを選択します。
3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

古いファイルの自動削除機能を設定するには、下記に従ってください。

1. **Auto-Delete Old Files[古いファイルを自動消去]**の下で、**Never[なし]**か**Customized[カスタム]**を選択します。
2. **Customized[カスタム]** が選択された場合は、**Day(s) Ago[経過日数]** ボックスに、古いファイルが自動的に削除される前に保持される日数を入力します。
3. **Apply[適用]** をクリックして設定を保存します。

システム構成のエクスポートとインポート

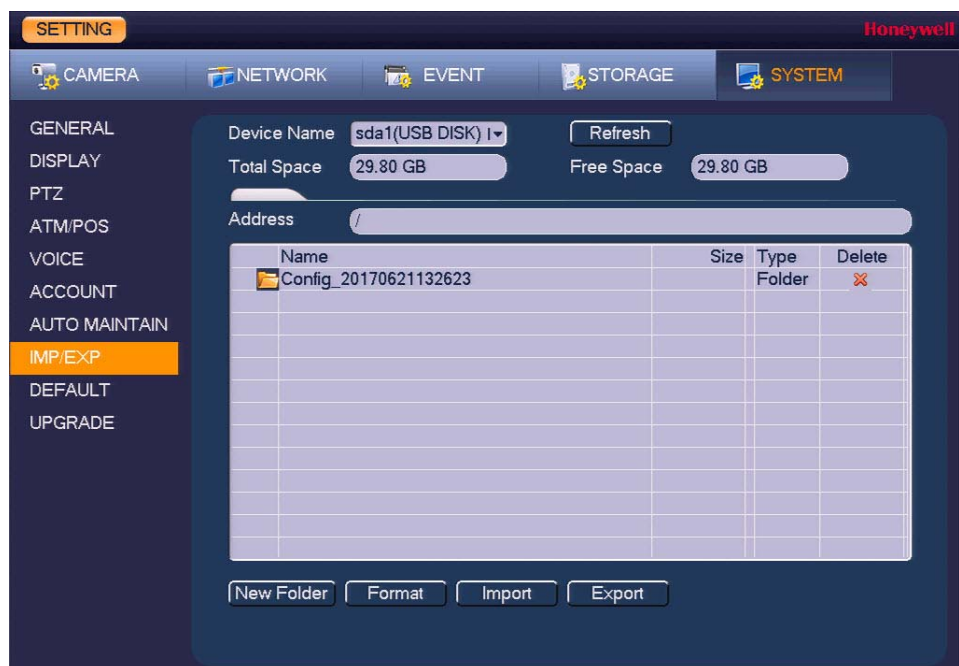
同じ設定が必要な複数のDVRをインストールする場合には、DVRシステム設定をエクスポートおよび/またはインポートできます。

システム構成をエクスポートするには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > IMP/EXP[インポート/エクスポート]に移動します。
2. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をDVRのUSBポートの1つに挿入します。Find USB device[USBデバイスを検出] ウィンドウが開きます。



3. Config Backup[設定バックアップ]をクリックします。
4. Config Backup[設定バックアップ] ページで Refresh[リフレッシュ]をクリックします。ページには、ストレージデバイスの詳細が表示されます。
5. Export[エクスポート]をクリックします。エクスポートが成功し、システム構成ファイル（Config_[YYYYMMDDhhmmss]）がファイルリストに追加されたことを確認するメッセージが表示されます。



システム構成をインポートするには下記に従ってください。

1. システム構成ファイル（別のDVRからエクスポートされたもの）を含むUSBストレージデバイスをDVRのUSBポートの1つに挿入します。 **Find USB device[USBデバイスを検出]** ウィンドウが開きます。
2. **Config Backup[設定バックアップ]** をクリックします。
3. **Config Backup[設定バックアップ]** ページで、インポートする構成ファイル (Config_[YYYYMMDDhhmmss]) をクリックし、 **Import[インポート]** をクリックします。
4. DVRを再起動して新しい設定を適用します。

外部USBストレージデバイスをフォーマットするには、下記に従ってください。

1. **メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Config Backup[設定バックアップ]** に移動します。
2. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をDVRのUSBポートの1つに挿入します。 **Find USB device[USBデバイスを検出]** ウィンドウが開きます。
3. **Config Backup[設定バックアップ]** をクリックします。
4. **Config Backup[設定バックアップ]** ページで **Refresh[リフレッシュ]** をクリックします。ページには、ストレージデバイスの詳細が表示されます。
5. **Format[フォーマット]** をクリックします。
6. "Confirm format on the selected device?"（選択したデバイスをフォーマットしてよろしいですか？）というメッセージが表示されます。ストレージデバイスをフォーマットするには **OK** をクリックします。

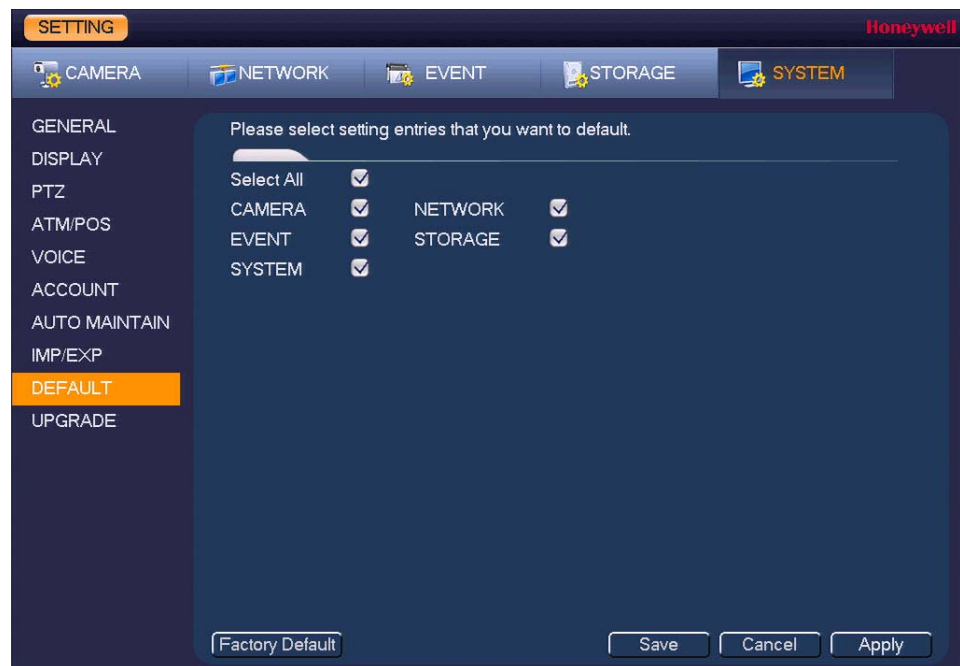
出荷時設定の復元

カメラ、ネットワーク、イベント、ストレージ、およびシステムのデフォルト設定を復元できます。

注 デフォルト設定を復元すると、システムメニューの色、言語、時刻表示モード、動画形式、IPアドレス、およびユーザーアカウントのすべての変更が失われます。

出荷時設定を復元するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > **Setting**[設定] > **System**[システム] > **Default**[デフォルト]に移動します。



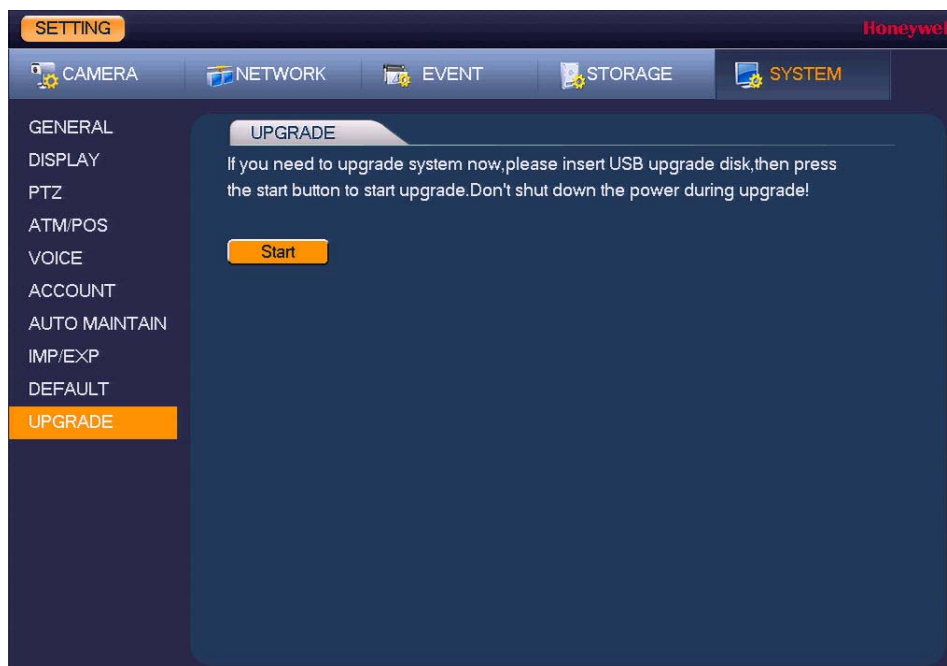
2. デフォルト設定に復元する項目のボックスにチェックを入れるか、**Select All**[全て選択]をクリックして全てをデフォルト設定に戻します。
3. **Apply**[適用]をクリックして設定を保存します。

DVRのアップグレード

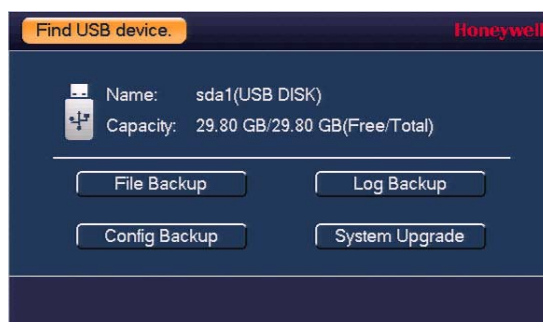
DVRのシステムファームウェアはローカルアップグレードすることができます。

ファームウェアをアップグレードするには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Setting[設定] > System[システム] > Upgrade[アップグレード]に移動します。



2. 新しいファームウェアを含むUSBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をDVRのUSBポートの1つに挿入します。 **Find USB device[USBデバイスを検出]** ウィンドウが開きます。



3. **System Upgrade[システムアップグレード]** をクリックします。
4. **Upgrade[アップグレード]** ページで **Start[開始]** をクリックします。 **System Upgrade [システムアップグレード]** ウィンドウが開きます。
5. ファイルリストからファームウェアファイルを選択し、 **Start[開始]** をクリックします。

10

情報表示

この章は以下の項で構成されています。

- システム情報の表示、ページ141
- イベント情報の表示、ページ148
- ネットワーク情報の表示、ページ148
- ログ情報の表示、ページ152


システム情報の表示

システム情報インターフェースでは、HDD情報、記録情報、ビットストリーム統計情報、チャネル情報、およびバージョンの詳細を表示できます。

HDD情報表示

HDD情報を表示するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > HDD Info[HDD情報]に移動します。



The screenshot shows the Honeywell system information interface. The top navigation bar includes 'INFO', 'SYSTEM', 'EVENT', 'NETWORK', and 'LOG'. The left sidebar lists 'HDD', 'RECORD', 'REC ESTIMATE', 'BPS', 'CHANNEL INFO', and 'VERSION'. The main content area displays 'SATA 1 2' and a table of HDD information.

All	Type	Total Space	Free Space	Status	S.M.A.R.T
All	-	931.40 GB	0.00 MB	-	-
1*	Read/Write	931.40 GB	0.00 MB	Normal	Normal

2. HDDの情報を解釈するには、次の表を参照してください。

SATA	o は現在のHDDが正常であることを示します。 x はエラーがあることを示します。 - はHDDがないことを示します。 ? はHDDが損傷していることを示します。
Type[タイプ]	HDDの種類 (例: Read/Write[読み取り/書き込み]) を示します。
Total Space [総スペース]	HDDの総容量を示します。
Free Space [空きスペース]	HDDに残っている空き容量を示します。
Status [ステータス]	HDDの現在の動作状態を示します。
S.M.A.R.T.	S.M.A.R.T (自己監視、分析、および報告技術) ステータスを示します。

3. HDDのリストで、HDDをダブルクリックして詳細を表示します。

Smart Info Honeywell

Port 1
Module WDCWD10EURX-73FH1Y0
Serial No. WD-WMC1U8912682
Status OK
Describe:

Smart ID	Attribute	Threshold	Value	Worst	Status
1	Read Error Rate	51	200	200	OK
3	Spin Up Time	21	149	135	OK
4	Start/Stop Count	0	100	100	OK
5	Reallocated Sector Count	140	200	200	OK
7	Seek Error Rate	0	200	200	OK
9	Power On Hours Count	0	94	94	OK
10	Spin-up Retry Count	0	100	253	OK
11	Calibrate Retry Count	0	100	253	OK
12	Power On/Off Count	0	100	100	OK
192	Power-Off Retract Cycle	0	200	200	OK
193	Load/Unload Cycle Count	0	200	200	OK
194	Temperature	0	107	95	OK
196	Reallocated Event Count	0	200	200	OK
197	Current Pending Sector Count	0	200	200	OK
198	Off-line Scan Uncorrectable Count	0	100	253	OK

4. 右クリックすると、前の画面に戻ります。

録画情報表示

録画情報を表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > Record[録画]に移動します。

The screenshot shows the Honeywell system interface with the 'INFO' menu selected. The 'SYSTEM' tab is active, and the 'RECORD' option is highlighted in the left sidebar. The main content area displays recording information for SATA channels 1 and 2. Channel 1 has a recording event, while channel 2 is inactive. A table lists the recording events with their start and end times.

All	Start Time	End Time
All	2017-11-13 20:07:09	2017-11-18 13:10:57
1*	2017-11-17 04:17:36	2017-11-18 13:10:57
	2017-11-13 20:07:09	2017-11-14 07:14:34
	2017-11-14 07:14:35	2017-11-15 10:47:14
	2017-11-15 10:47:07	2017-11-16 09:06:34
	2017-11-16 09:06:27	2017-11-17 04:17:44

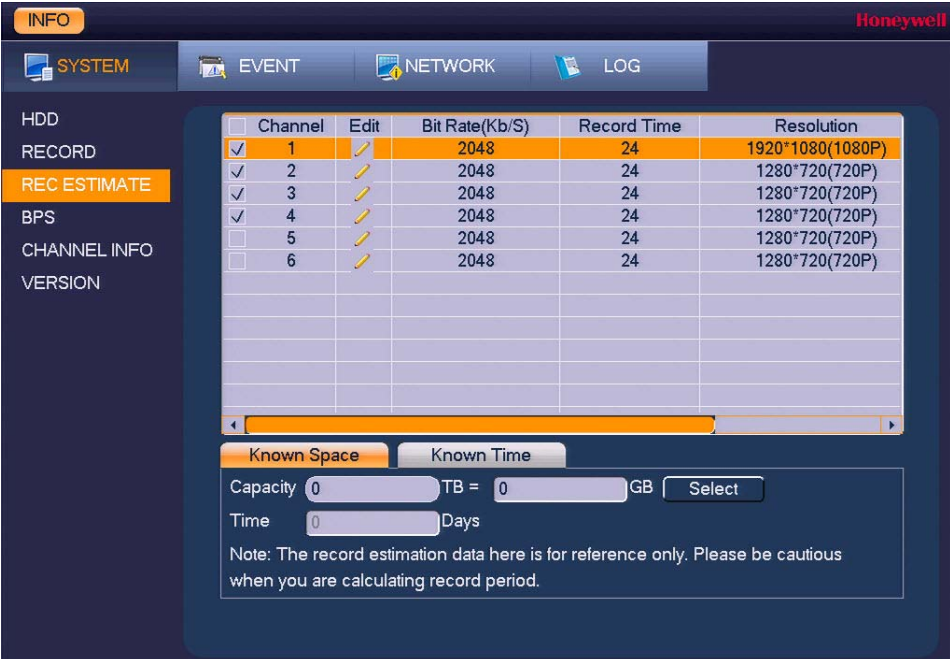
Record Info[録画情報] ページでは、録画されたビデオの開始時刻と終了時刻を表示できます。

録画時間とスペースの推定

使用可能なHDD容量に基づいた録画時間において保存可能な動画の量を計算するか、または指定の録画時間に必要なHDD容量を計算できます。

録画時間を見積もるには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > Rec Estimate[Rec推定]に移動します。



Channel	Edit	Bit Rate(Kb/S)	Record Time	Resolution
<input checked="" type="checkbox"/> 1		2048	24	1920*1080(1080P)
<input checked="" type="checkbox"/> 2		2048	24	1280*720(720P)
<input checked="" type="checkbox"/> 3		2048	24	1280*720(720P)
<input checked="" type="checkbox"/> 4		2048	24	1280*720(720P)
<input type="checkbox"/> 5		2048	24	1280*720(720P)
<input type="checkbox"/> 6		2048	24	1280*720(720P)

Known Space Known Time

Capacity 0 TB = 0 GB Select

Time 0 Days

Note: The record estimation data here is for reference only. Please be cautious when you are calculating record period.

2. 各チャンネルについて、Edit[編集] ボタンをクリックし 、Resolution[解像度]、Frame Rate[フレーム率]、Bit Rate[ビット率]、およびチャンネルの Record Time[録画時間]（日単位）を指定して、OK をクリックします。
3. KnownSpace[既知のスペース] 領域で Select[選択] をクリックし、録画するHDDを選択して OK をクリックします。

DVRは、録画された動画がHDDに何日保存できるかを推定します。これはあくまで概算値ですのでご注意ください。

録画スペースを推定するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > Rec Estimate[Rec推定]に移動します。
2. 各チャンネルについて、Edit[編集] ボタンをクリックし、Resolution[解像度]、Frame Rate[フレーム率]、Bit Rate[ビット率]、およびチャンネルの Record Time[録画時間]（日単位）を指定して、OK をクリックします。
3. Known Time[既知の時間] タブをクリックします。
4. Time[時間] ボックスに、動画を録画する日数を入力します。

HDDの容量に基づいて、DVRは、動画が録画される日数の間に必要なストレージ容量を推定します。

データストリーム情報の表示

データストリーム情報を表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > BPSに移動します。



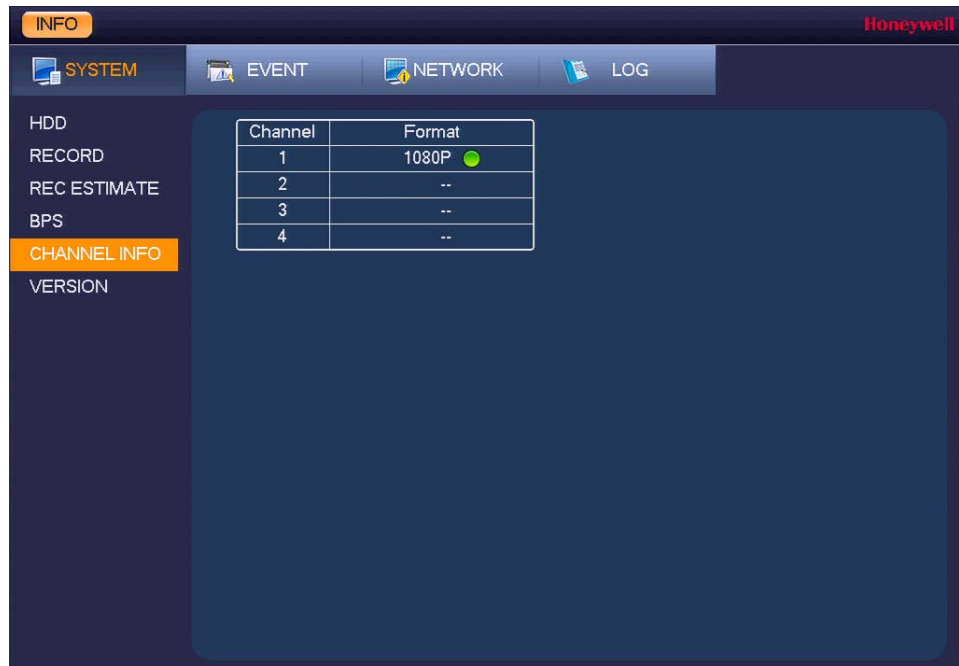
Channel	Kb/S	Resolution	Wave
1	2020	1920*1080	[Waveform]
2	72	1280*720	[Waveform]
3	71	1280*720	[Waveform]
4	70	1280*720	[Waveform]
5	0	--	[Waveform]
6	0	--	[Waveform]

BPS ページでは、各チャンネルの現在のビデオデータストリームレートと解像度を表示できます。

チャンネル情報表示

チャンネル情報を表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > Channel Info[チャンネル情報]に移動します。



Channel Info[チャンネル情報] ページでは、各チャンネルの解像度と、正しく動作しているかどうかを確認できます。

バージョン情報表示

バージョン情報を表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > System[システム] > Version[バージョン]に移動します。



Item	Value
Device Model	HRHQ104*
Record Channel	6
Alarm In	8
Alarm Out	3
Hardware Version	V1.0
System Version	1.000.HW00.0
Build Date	2017-6-9
Web	3.2.7.76382
SN	00000000000000000000
Onvif Server Version	2.42(V1.1.0.404030)
Onvif Client Version	2.4.1

Version[バージョン] ページでは、DVRのモデルタイプ、チャンネル数、アラーム入出力の数、ハードウェアバージョン、ファームウェアバージョン、ビルド日付、Webクライアントバージョン、シリアル番号、およびONVIFバージョンを表示できます。

イベント情報の表示

イベント情報を表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > Event[イベント]に移動します。



Event[イベント] ページでは、デバイスレベルとチャンネルレベルでイベント情報を表示できます。最新情報を表示するには、**Refresh[リフレッシュ]** をクリックします。

ネットワーク情報の表示

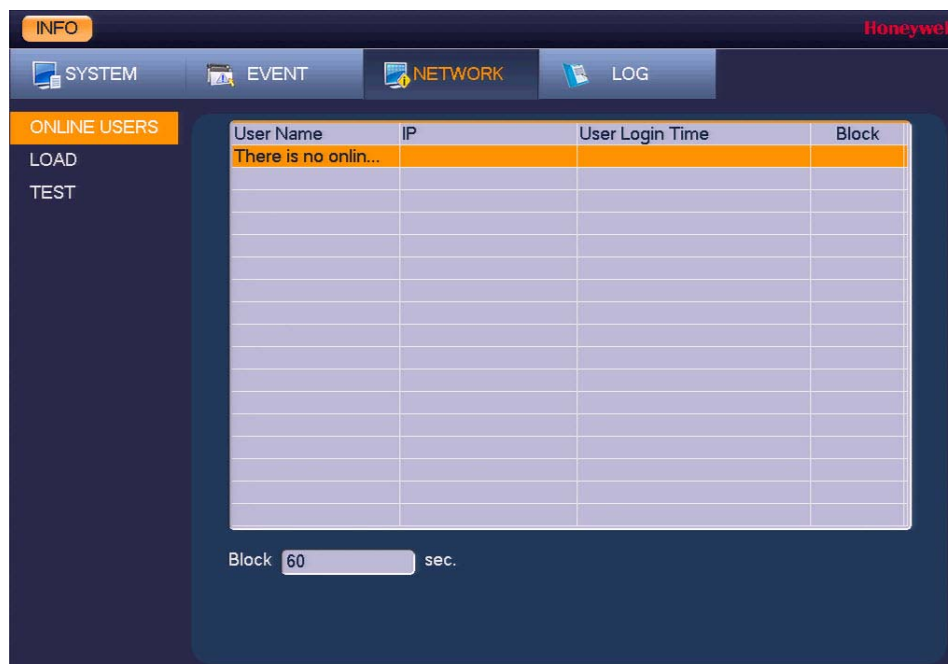
ネットワーク情報インターフェースでは、オンラインユーザーを表示および/またはブロックしたり、ネットワークデータ送信の詳細を表示したり、ネットワークテストを実行したりすることができます。

オンラインユーザーの表示

すべてのオンラインユーザーのユーザー名、IPアドレス、ログイン時刻を表示できます。オンラインユーザーを指定した期間ブロックすることもできます。

オンラインユーザーを表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > Network[ネットワーク] > Online Users[オンラインユーザー]に移動します。



注 5秒ごとに、DVRシステムは新たに追加または削除されたユーザーを検出し、オンラインユーザーのリストを更新します。

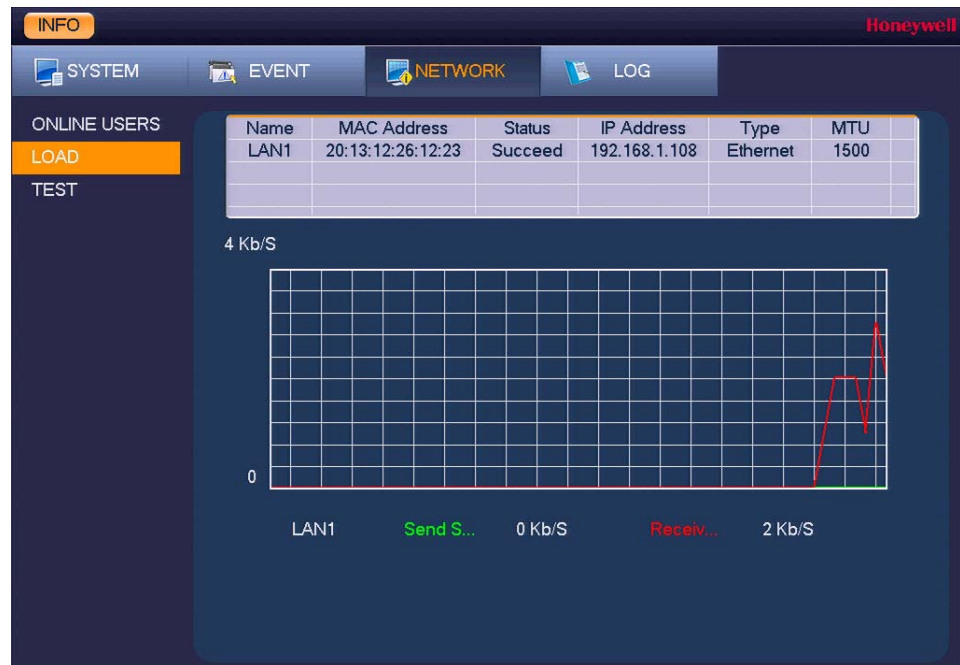
オンラインユーザーを一時的にブロックするには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Info[情報] > Network[ネットワーク] > Online Users[オンラインユーザー]に移動します。
2. ユーザーリストの **Block[ブロック]** アイコンをクリックし、画面の下部にある **Block[ブロック]** ボックスに、ユーザーをブロックする時間を入力します。最大 **65535 秒** (18.2時間) を入力できます。

ネットワークロード情報の表示

ネットワークロード情報を表示するには下記に従ってください。

- メインメニュー > Info[情報] > Network[ネットワーク] > Load[ロード]に移動します。



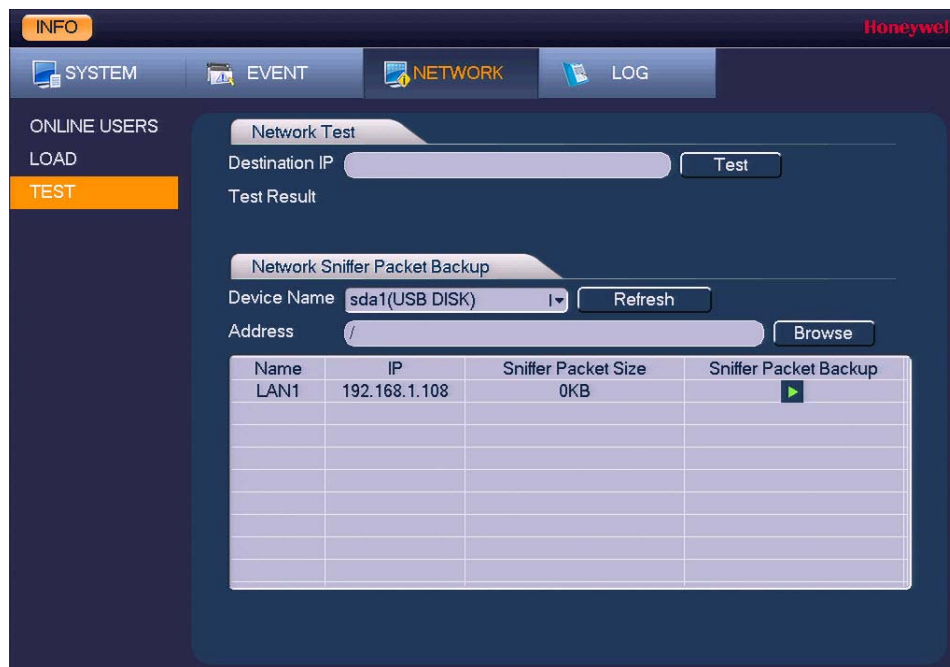
Load[ロード] ページでは、ネットワークアダプタ名、MACアドレス、ステータス (**Succeed[正常]** または **Failed[エラー]**)、デバイスのIPアドレス、ネットワークの種類、最大伝送ユニット (MTU) の値を表示できます。

ネットワークアダプタ (LAN1) を選択して、送受信速度を監視します。

ネットワークテスト情報の表示

ネットワークをテストするには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Info[情報] > Network[ネットワーク] > Test[テスト]に移動します。



2. Test[テスト] ページの Network Test[ネットワークテスト]に有効なIPv4アドレスを入力するか Destination Address ボックスにドメイン名を入力し、Test[テスト]をクリックします。

テスト結果には平均遅延とパケット損失率が表示されます。また、ネットワークステータスが OK、Bad[テスト]、または No Connection[接続なし]であるかどうかを示します。

ネットワークパケットデータを外部USBストレージデバイスにバックアップするには、下記に従ってください。

1. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をDVRのUSBポートの1つに挿入します。
2. Test[テスト] ページの Network Sniffer Packet Backup [ネットワークスニファパケットバックアップ]で、Refresh[リフレッシュ]をクリックします。接続されたUSBストレージデバイスが Device Name[デバイス名] ボックスに表示されます。
3. 必要に応じて、Browse[閲覧] をクリックして保存パスを設定します。
4. ネットワークデバイスリストの Sniffer Packet Backup[Snifferパケットバックアップ]列で、緑の矢印ボタンをクリックしてデータのキャプチャを開始します。もう一度ボタンをクリックすると、データのキャプチャが停止します。

ログ情報の表示

ログ情報を表示するには下記に従ってください。

1. メインメニュー > Info[情報] > Log[ログ]に移動します。

Log ID	Log Time	Event
58	2017-06-20 04:33:07	HDD Amount<0>, Current Working HDD<->
59	2017-06-20 04:34:01	User logged in.<admin>
60	2017-06-20 08:18:47	Shutdown [17-06-19 16:39:08]
61	2017-06-20 08:18:47	Reboot with Flag [0x01]
62	2017-06-20 08:18:53	<Video Loss : 2>
63	2017-06-20 08:18:53	<Video Loss : 3>
64	2017-06-20 08:18:53	<Video Loss : 4>
65	2017-06-20 08:18:54	HDD Amount<0>, Current Working HDD<->
66	2017-06-20 08:19:28	User logged in.<admin>
67	2017-06-20 08:26:16	Find USB device.[2017-06-20 08:26:16]
68	2017-06-20 09:08:08	User logged out.<admin>
69	2017-06-20 09:20:15	User logged in.<admin>

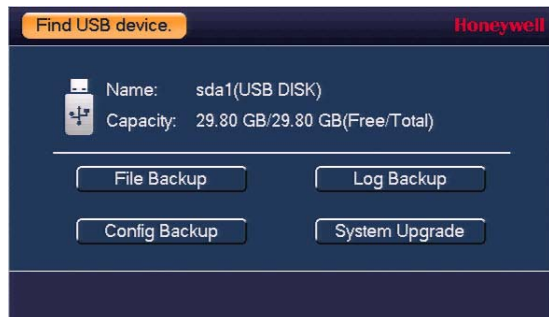
2. Type[種類] ボックスに、表示する特定のログの種類 (System[システム]、Config[設定]、Storage[ストレージ]、Alarm[アラーム]、Record[録画]、Account[アカウント]、Clear [クリア]、Playback[再生]) を選択するか、All[全て]を選択してすべてのログを表示します。
3. Start Time[開始時刻] 及び End Time[終了時刻] ボックスで、検索する期間を入力し、Search[検索]をクリックします。
検索結果は、順序付きリストに表示されます。DVRは最大 **1024** のログファイルを保存できます。
4. ログエントリの詳細を表示するには、Details[詳細]をクリックします。

Event Type	Video Loss
Event Action	Event Begin
Channel	<2>
Start Time	2017-06-20 08:18:53

Channel 2 | Playback

ログ情報を外部USBストレージデバイスにバックアップするには、下記に従ってください。

1. USBストレージデバイス（USBフラッシュドライブなど）をDVRのUSBポートの1つに挿入します。**Find USB device**[**USBデバイスを検出**] ウィンドウが開きます。



2. **Log Backup**[**ログバックアップ**]をクリックします。
3. **Log**[**ログ**] ページで **Backup**[**バックアップ**]をクリックします。ログファイル（FileLog.txt）は、ストレージデバイス上のLog_[YYYYMMDDhhmmss]という名前のフォルダにあります。

A

アラーム入出力の接続

この付録は以下の項で構成されています。

- [アラーム入出力を接続する前に、ページ 155](#)
- [アラーム入出力後部パネル接続、ページ 155](#)
- [アラーム入力ポート接続ガイドライン、ページ 156](#)
- [アラーム出力ポート接続ガイドライン、ページ 156](#)

アラーム入出力を接続する前に

- アラーム入力モードがアースに設定されていることを確認します。
- 信号が接地されていることを確認します。
- アラーム入力には、低レベルの電圧信号が必要です。
- アラーム入力モードは、NC（ノーマルクローズ）またはNO（ノーマルオープン）のいずれかに設定されます。
- 2つのDVR、つまりDVRと別のデバイスを接続している場合は、リレーを使用して分離します。
- アラーム出力ポートを直接高電力負荷装置に接続しないでください。損傷を避けるために、負荷は1 A未満でなければなりません。
- 接触器 を使用して、アラーム出力ポートと負荷装置を接続します。

アラーム入出力後部パネル接続

アラーム入出力チャンネルの接続は以下の通りです。

入出力	詳細
1~16	アラーム入力1~16入力は低電圧で有効になります。
NO1 C1、NO2 C2、NO3 C3	ノーマルオープンアクチベーション出力（オン/オフ）
⏚	アース

アラーム入力ポート接続ガイドライン

- アラーム入力を接地します。ノーマルオープン (NO) またはノーマルクローズ (NC) のいずれかを選択します。
- アラーム検出器のCOM端とGND端を並列に接続します。外部電源をアラーム検出器に供給します。
- DVRのアースとアラーム検出器のアースを並列に接続します。
- アラームセンサーのNCポートをDVRアラーム入力に接続します。
- アラーム装置に外部電源を供給している場合は、DVRと同じアースを使用してください。

アラーム出力ポート接続ガイドライン

- 外部電源を外部アラーム装置に供給します。
- 過負荷を防止するために、以下のリレー仕様を慎重に確認してください。

材料	金メッキを施したニッケル/銀接点	
定格 (抵抗負荷)	スイッチ定格容量	30VDC 2A、125VAC 1A
	スイッチ最大電力	125 V A、160 W
	スイッチ最大電圧	250 V AC、220 V DC
	スイッチ最大電流	1 A
絶縁	同極接点間	毎分1000 V AC
	逆極接点間	毎分1000 V AC
	接点/巻線間	毎分1000 V AC
サージ電圧	同極接点間	1500 V (10 × 160 us)
オープン時間	最長3ミリ秒	
クローズ時間	最長3ミリ秒	
寿命	機械的	50 × 10 ⁶ 回 (3 Hz)
	電氣的	200 × 10 ³ 回 (0.5 Hz)
気温	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	

B

ハードドライブの取り付け

この付録は以下の項で構成されています。

- [ハードドライブの取り付け、ページ157](#)
- [互換性のあるSATA HDDのリスト、ページ158](#)

ハードドライブの取り付け

いくつかのHRHH DVRモデルでは、追加のハードディスクドライブ (HDD) を取り付けることができます。互換性のあるHDDのリストは[互換性のあるSATA HDDのリストページ158](#)で参照できます。7200 rpm以上のHDDが推奨されます。

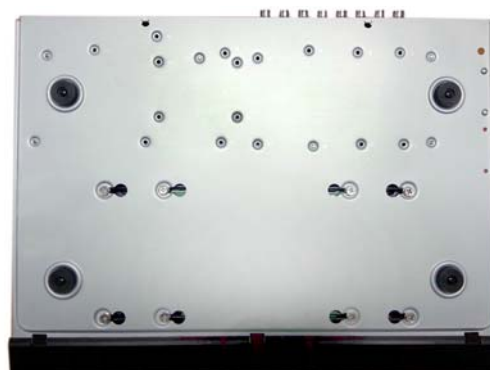
⚠ 注意 感電の危険があります。カバーを取り外す前に電源を切ってください。

追加のHDDを取り付けるには下記に従ってください。

1. DVRが電源に接続されている場合は、接続を解除してから続行してください。
- 2.ハウジングに固定している4本のネジを外し、カバーを後方にスライドさせて、DVRハウジングから上部カバーを取り外します。
3. 新しいHDDにSATAケーブルと電源ケーブルを接続します。
4. 新しいHDDを、既存のHDDの隣にあるハウジング底部の4つのネジ穴の上に置きます。



5. DVRのハウジングを裏返し、4つのHDD取り付けネジで新しいHDDをハウジングに固定します。
6. 手順4で取り外した4本のネジでHDDをハウジングに取り付けます。
7. DVRの上部カバーをDVRハウジングに取り付け、手順2で取り外した4本のネジで固定します。



互換性のあるSATA HDDのリスト

DVRは、幅広い3.5インチSATAハードドライブ（最大6 TB）と互換性があります。下記は互換性のあるハードドライブの一部の一覧です。

メーカー	シリーズ	モデル番号	容量	
シーゲイト	ビデオ 3.5 HDD	ST1000VM002	1 TB	
		ST2000VM003	2 TB	
		ST3000VM002	3 TB	
		ST4000VM000	4 TB	
	SkyHawk™		ST1000VX005	1 TB
			ST2000VX008	2 TB
			ST3000VX010	3 TB
			ST4000VX007	4 TB
			ST6000VX0023	6 TB
	SV35™		ST1000VX000	1 TB
			ST2000VX000	2 TB
			ST2000VX002	2 TB
			ST3000VX000	3 TB
ウェスタン・デジタル	WD Purple™	WD10PURZ	1 TB	
		WD20PURZ	2 TB	
		WD30PURZ	3 TB	
		WD40PURZ	4 TB	
		WD60PURZ	6 TB	
東芝	MD03ACA-V	MD03ACA200V	2 TB	
		MD03ACA300V	3 TB	
		MD03ACA400V	4 TB	
	DT01ABA-V		DT01ABA100V	1 TB
			DT01ABA200V	2 TB
			DT01ABA300V	3 TB

Honeywell Security Products Americas (Head Office)

2700 Blankenbaker Pkwy, Suite 150

Louisville, KY 40299, USA

www.honeywell.com/security

☎ +1 800 323 4576

Honeywell Security Northern Europe

Ampèrestraat 41

1446 TR Purmerend, The Netherlands

www.honeywell.com/security/nl

☎ +31 (0) 299 410 200

Honeywell Security Europe/South Africa

Aston Fields Road, Whitehouse Industrial Estate

Runcorn, WA7 3DL, United Kingdom

www.honeywell.com/security/uk

☎ +44 (0) 1928 754 028

Honeywell Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14

72458 Albstadt, Germany

www.honeywell.com/security/de

☎ +49 (0) 7431 801-0

**Honeywell Security Products Americas
Caribbean/Latin America**

9315 NW 112th Ave.

Miami, FL 33178, USA

www.honeywell.com/security/clar

☎ +1 305 805 8188

Honeywell Security France

Immeuble Lavoisier

Parc de Haute Technologie

3-7 rue Georges Besse

92160 Antony, France

www.honeywell.com/security/fr

☎ +33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Security Asia Pacific

35F Tower A, City Center, 100 Zunyi Road

Shanghai 200051, China

www.asia.security.honeywell.com

☎ +86 21 2219 6888

Honeywell Security Italia SpA

Via della Resistenza 53/59

20090 Buccinasco

Milan, Italy

www.honeywell.com/security/it

☎ +39 (0) 2 4888 051

Honeywell Security Middle East/N. Africa

Emaar Business Park, Sheikh Zayed Road

Building No. 2, Office No. 301

Post Office Box 232362

Dubai, United Arab Emirates

www.honeywell.com/security/me

☎ +971 (0) 4 450 5800

Honeywell Security España

Avenida de Italia, nº 7, 2ª planta

C.T. Coslada

28821 Coslada, Madrid, Spain

www.honeywell.com/security/es

☎ +34 902 667 800

Honeywell Security Россия и СНГ

121059 Moscow, Ul, Kiev 7

Russia

www.honeywell.com/security/ru

☎ +7 (495) 797-93-71

Honeywell

www.honeywell.com/security

ハネウェルジャパン株式会社

ホーム&ビルディング・テクノロジーズ

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー20F

+1 800 323 4576 (北米のみ)

<https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html>

文書 800-23287 – 改訂 A – 2017年8月

© 2017 Honeywell International Inc. 無断複写・転載を禁ず。Honeywellの書面による許諾なく本書のいかなる部分も転載することはできません。本書の情報は、あらゆる点で正確であると考えられますが、Honeywellは、その使用に起因するいかなる結果についても責任を負いかねます。ここに記載されている情報は予告無く変更されることがあります。そのような変更を記載するために、本書の改訂または新版が発行されることがあります。